

函館市医師会健診検査センター 健康診断事業報告書

平成22年度



公益社団法人 函館市医師会

平成24年3月15日発行

目 次

■ ご挨拶	所 長 伊藤丈雄
■ 発刊にあたって	運営委員長 恩村宏樹
■ 健診の集積データについて	学 術 部 長 久保田達也

I. 特定健康診査

1. 概要・対象者	1
2. 実施体制	2
3. 特定健康診査項目	4
4. 特定健診検査項目の判定基準	5
5. 保健指導対象者の選定と階層化	5
6. 健診検査項目の各判定基準	6
7. 実施医療機関数	7
8. 実施場所・実施回数	9
9. 広報状況	10
10. 特定健康診査実績	11
11. 平成22年度 特定健診 詳細実績	
1) 保険者別・性別・年齢別 受診者数	13
2) 健診項目別 検査結果	
① 腹 囲	19
② BMI	21
③ 血圧検査	23
④ 尿検査	25
⑤ 赤血球数・血色素検査	27
⑥ 肝機能検査	29
⑦ 脂質検査	31
⑧ 糖尿検査	33
⑨ 腎機能検査	35
⑩ 尿酸(痛風)検査	37
⑪ 心電図検査	39
⑫ メタボリックシンドローム	41
⑬ 保健指導	43
⑭ 函館市国保・後期高齢 検査別異常値(要精密)率一覧	46

II. 肝炎ウイルス検診・H I V検診・結核検診・がん検診

1. C型肝炎ウイルス検診	47
2. B型肝炎ウイルス検診	48
3. H I V検診	49
4. 結核検診	50
5. 胃がん検診	51
6. 肺がん検診	52
7. 大腸がん検診	53

8. 前立腺がん検診	54
9. ペプシノーゲン検診	55
10. 骨粗しょう症検診	56
Ⅲ. 学童・生徒・学生検診	
1. 尿検査	57
2. 心電図検査	59
3. 貧血検査	61
4. 結核検診	63
5. 園児・児童 寄生虫卵検査	65
Ⅳ. 職域健診（労働安全衛生規則による健康診断）	
1. 概要・受付方法	66
2. 実施方法	66
3. 健康診断の種類	
1) 一般健康診断	
① 雇入時健康診断	66
② 定期健康診断	67
③ 海外派遣労働者の健康診断	67
2) 特殊健康診断	
① 有機溶剤健康診断	68
4. 職域健康診断実績	69
5. 平成22年度 職域健診 詳細実績	
1) 年齢別・性別 受診者数	69
2) 健診項目別 検査結果	
① 総合判定	70
② 腹 囲	71
③ BMI	73
④ 血圧検査	74
⑤ 尿検査	76
⑥ 赤血球数・血色素量検査	77
⑦ 肝機能検査	79
⑧ 脂質検査	80
⑨ 糖尿検査	82
⑩ 腎機能検査	83
⑪ 尿酸(痛風)検査	85
⑫ 心電図検査	86
⑬ メタボリックシンドローム	88
⑭ 保健指導	89
⑮ 職域健診 検査別異常値率・要精密検査率 一覧	92
V. 診断書発行健診	93

ご挨拶

函館市医師会は、地域の保健・医療・福祉への貢献を目的に、医師会病院、健診検査センター、夜間急病センター、看護学校など諸事業を行っております。

平成23年4月には、その長年にわたる業績が高く評価され、公益社団法人としての認定を受けることとなりました。

そのひとつである健診検査センターは、昭和47年に会員への診療支援と地域住民の方の健康保持向上を図ることを目的に設立され、道南地域住民の健康管理の拠点として活動し、地域住民の方より信頼を得るところとなっております。

今回、公益法人移行を機に、地域住民の方の健康管理の一助になるようデータの解析等に加え、『健康診断事業報告書』を発刊する運びとなりました。ご供覧戴きますようお願い申し上げます。

これからも、道南唯一の公益社団法人として「精度の医師会・信頼の医師会」を目指し、地域の医療・保健に積極的に取り組んでまいります。

より一層のご愛顧を賜われますようお願い申し上げます。

平成24年3月

公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター

所長 伊藤丈雄

発刊にあたって

この度、『健康診断事業報告書』を発刊するにあたり、一言、ご挨拶申し上げます。

函館市医師会健診検査センター（以下、センター）は、昭和47年に、南北海道保健センターという名称で設立され、現在に至るまで40年に渡り、道南での健診・検査事業の中心的役割を果たしてきました。平成22年11月には、長年に渡る地域医療への貢献が認められ、北海道社会貢献賞を受賞しました。その40年の歴史の中で、センターの運営に携わり、ご尽力いただきました多くの先生方に、心より深い感謝の意を表したいと思います。

センターは、特定健康診査をはじめとして、様々な健診業務を行っています。特に、特定健康診査は、“平成27年には、平成20年と比較して、糖尿病などの生活習慣病有病者及び予備軍を25%減少させる”という目標を掲げ、国が始める一大プロジェクトで、センターも力をいれております。当初は、受診者の数が予想を大幅に下回りましたが、函館市と連携して、市民への啓蒙・広報に力を入れ、健診内容の充実を図ることにより、徐々に受診率も上昇してきています。今回は、平成22年度の各健診のデータをまとめてみましたので、ご供覧いただければ幸いに存じます。

函館市医師会は、平成23年4月より公益社団法人となり、今後、更に公益性が重視されてきます。スタッフ一同、それを肝に銘じ、「正確」「迅速」をモットーに、より一層努力していく所存でありますので、会員の皆様には、今までと変わりなく、ご指導・ご鞭撻・ご支援の程、何卒、よろしくお願い申し上げます。

平成24年3月

公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター

運営委員長 恩村宏樹

健診の集積データについて

この度、函館市医師会健診検査センター『平成22年度健康診断事業報告書』がまとめられました。当センターによる本格的な資料集の発刊は初めてと聞いております。今回の報告書では、健康診断受診者の背景や、年齢・性別毎の詳細に亘るデータの収載に努め、今後毎年発刊される報告書との比較検討に資するように努めたつもりであります。また、出来るだけ各データ毎に簡単な概略を付しました。

しかし健康診断という性格上、全人口に対する標準化された標本抽出は不可能と考えます。たとえば、特定健診では40～54歳までの受診者が少なく、男性よりも女性の受診者が多いという偏った背景があります。また、職域検診では60歳までの受診者が多いのですが、それ以降の年齢では急激に減少し、特定健診とは逆に女性よりも男性が多い傾向があります。偏った受診者背景による結果から、全体の評価へ外挿する事は統計学的に妥当ではありません。ですから、上記の受診者背景を留意した上でのデータの評価が必要と考えます。また、男性で特に高い喫煙率や飲酒率との関連や、加齢に伴い漸増し70歳で50%以上の方が病気で治療を受けているなど、医療との関連（治療による改善）などもかなり大きな影響を受けていると推察されます。しかし、今回のデータはそこまで詳細に統計学的な解析は加えておりません。今後の課題としたいと思います。

健康診断は、メタボリックシンドロームをはじめ様々な身体の異常を早期に発見し、生活習慣の改善や早期治療によって健康を回復し維持する良い機会と考えられます。人は誰でも、年をとってもQOLを維持し元気に働く事が出来るように望んでいるはずです。健康診断結果を持参して皆さんの病医院を受診される方を診療する上で、本報告書の情報が少しでもお役に立てることが出来るように願ってやみません。

平成24年3月

公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター
学術部長 久保田達也

平成22年度 健康診断事業報告

I. 特定健康診査

糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病は、肥満による内臓脂肪の蓄積が原因であるといわれており、肥満に加えて高血糖、高血圧といった状態が重複した場合には、脳血管発症リスクが高くなるなど、死亡原因の約6割を占めるまでとなっています。

こうした内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）は、生活習慣を起因とするため、食生活の見直しや適度な運動により生活改善すれば予防できるものであるとされています。

こうしたことから、平成20年4月から、生活習慣病の予防を図るため、医療保険者（国民保険・社会保険・組合健保等）に対し、40歳以上の被保険者または被扶養者を対象にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した「特定健康診査・特定保健指導」が義務付けられました。

函館市では、函館市医師会が実施医療機関を取りまとめ、函館市や北海道医師会と契約を締結実施し、近隣町村の健診に関しましては、函館市医師会健診検査センターが集団健診を実施しています。

健診方式は、個別健診と集団健診の併用で、個別は函館市医師会が取りまとめた医療機関が実施し、集団健診は医師会健診検査センターが実施しています。

また、特定健診と併せて、「生活機能評価」、「がん検診」、「結核検診」、「骨粗しょう症検診」を同時に実施し、住民の方への利便性を図っています。

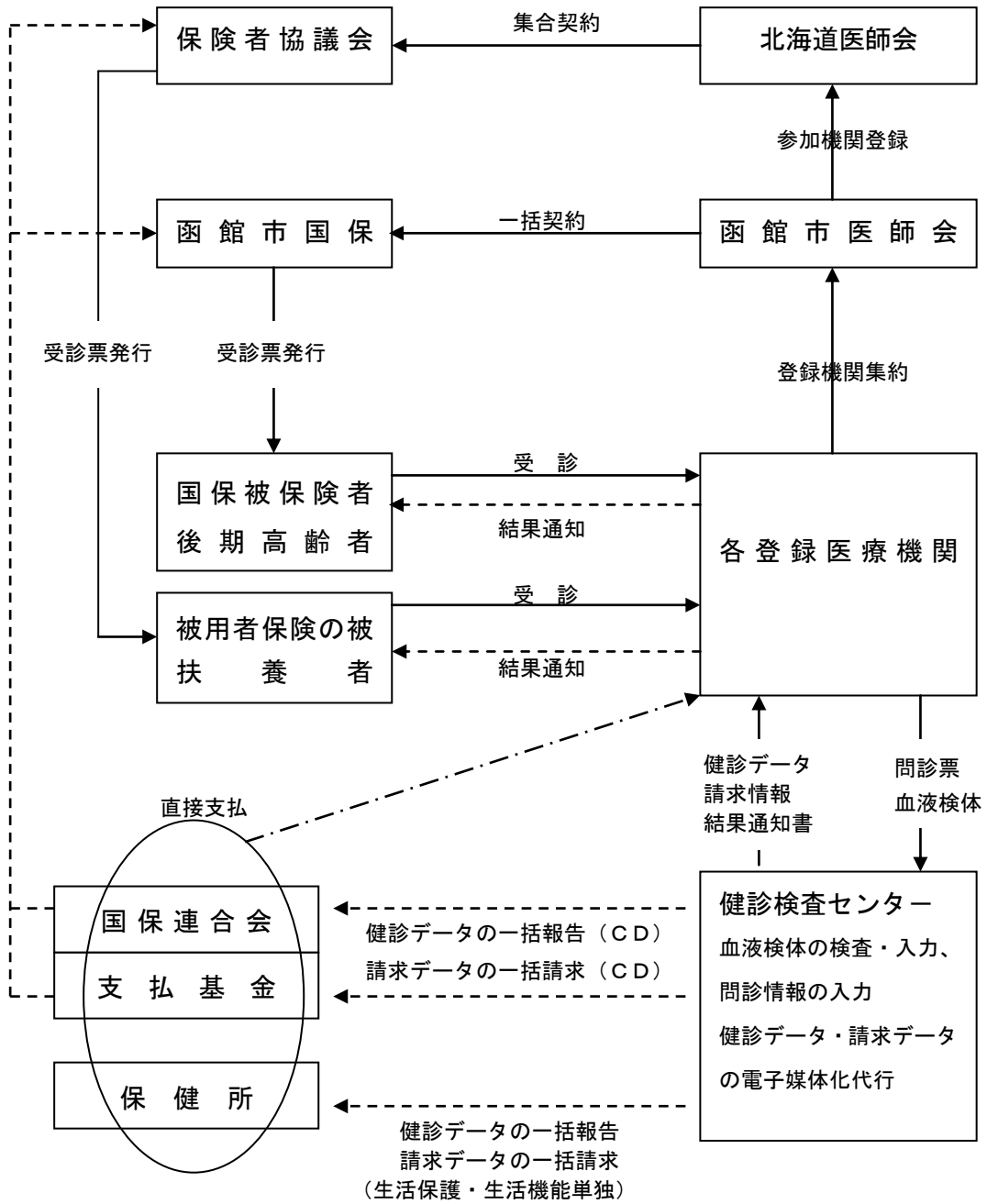
1. 対象者

- 1) 国民健康保険に加入する満40歳以上75歳未満の者
- 2) 後期高齢者医療保険被保険者で75歳以上の者
- 3) 生活保護受給者で満40歳以上の者
- 4) 生活機能評価対象者、函館市民で満65歳以上の者（要支援、要介護者を除く）
- 5) 社会保険、共済組合、組合健保等の被扶養者で満40歳以上75歳未満の者

2. 実施体制

	函館市国保 被保険者	生活保護受給者健康 診査	後期高齢者 健康診査	被用者保険等 被扶養者
契 約	函館市医師会が函館市と一括契約			北海道医師会が B集合契約
実施医 療機関	函館市医師会が集約登録			函館市医師会が 集約、北海道医 師会に登録
健 診 種 別	個別健診（各医療機関が個別に実施） 集団健診（医師会健診検査センターが実施）			個別健診
実 施 方 法	生活機能評価、がん検診、骨粗しょう症検診、結核検診、肝炎検診等を同時実施			
実 施 項 目	基本＋クレアチニン、尿酸、貧血（21年度より全員実施） 糖尿はHbA1C選択 詳細項目（貧血、心電図、眼底） 65歳以上で腹囲・血圧が異常の場合、医師の判断で心電図を追加（21年度より実施）			基本のみ 血糖とHbA1C併用 詳細項目
他検診	生活機能評価、胃がん、大腸がん検診は、集団・個別にて同時実施 肺がん、結核、肝炎、骨粗、エキノコックス検診は、集団にて同時実施			
保 健 指 導	市立函館保健所が実施			登録医療機関が 実施
開 始 時 期	5月に受診券発行、6月から開始			4月受診券発行、 4月より開始
実 施 期 間	通 年			
デ-タ 報 告	医師会健診検査センターが代行入力 → 国保連合会、支払基金、保健所			
請 求	医師会健診検査センターが代行入力 → 国保連合会、支払基金、保健所			
結 果 通 知	医師会健診検査センター → 医療機関 → 受診者			
支 払	国保連合会 → 各医療機関（特定健診、後期高齢、生活機能同時実施） 支払基金 → 各医療機関（特定健診） 保健所 → 各医療機関（生活保護、生活機能単独実施）			

特定健診実施フロー



3. 特定健康診査項目

健 診 項 目		函館市国保	被用者保険	生活機能	
問 診	服薬歴、既往歴、生活習慣等		○	○	
	自覚症状等		○	○	○
	生活機能評価に関する項目		○	○	○
計 測	身長・体重・BMI・血圧・腹囲		○	○	○
診 察	理学的 所 見	身体計測	○	○	○
		視診	○	○	口腔内
		触診（関節可動域含む）			○
	反復唾液嚥下テスト				機能検査
脂 質	中性脂肪		○	○	
	HDLコレステロール		○	○	
	LDLコレステロール		○	○	
肝機能	GOT（AST）		○	○	
	GPT（ALT）		○	○	
	γ-GTP		○	○	
血 糖	空腹時血糖			空腹時○	
	HbA1c		○	空腹外○	
尿検査	尿糖		○	○	
	尿蛋白		○	○	
追 加 項 目	尿酸、クレアチン	国保：20年度より全員追加	○		
	アミラーゼ、CK	国保：23年度より全員追加	○		
血 液 一 般	血色素量	国保：21年度より全員追加	○ 追加検査	詳細検査	機能検査
	赤血球数				
	ヘマトクリット				
心機能	心電図	国保： ・21年度、65歳以上で腹囲・血圧が異常の場合、医師の判断で追加 ・22年度、65歳以上医師の判断で追加 ・23年度、年齢制限なく医師の判断で追加	詳細検査 追加検査	詳細検査	機能検査
眼 底	眼底検査		詳細検査	詳細検査	
栄 養	血清アルブミン	国保：23年度より全員追加	追加検査		機能検査

4. 特定健診検査項目の判定基準

項目名	保健指導判定値	受診勧奨判定値	単位	測定方法
血圧(収縮前)	130	140	mmHg	
血圧(収縮後)	85	90	mmHg	
中性脂肪	150	300	mg/dl	酵素法 遊離グリセロール消去
HDLコレステロール	39	34	mg/dl	直接法
LDLコレステロール	120	140	mg/dl	直接法
空腹時血糖	100	126	mg/dl	ヘキソキナーゼ法
HbA1c	5.2	6.1	%	ラテックス凝集法
AST(GOT)	31	61	U/l	JSCC 標準化対応法
ALT(GPT)	31	61	U/l	JSCC 標準化対応法
γ-GT(γ-GTP)	51	101	U/l	JSCC 標準化対応法
血色素量	男 13.0 女 12.0	男 12.0 女 11.0	g/dl	電気抵抗検出法(自動化法)

5. 保健指導対象者の選定と階層化

ステップ - 1 腹囲とBMIで内臓脂肪蓄積のリスクを判定

- ・腹囲 男性 85 cm以上 女性 90 cm以上 -----> A
- ・腹囲 男性 85 cm未満 女性 90 cm未満 かつ BMI 25以上 → B

ステップ - 2

- ・検査結果、質問票より追加リスクをカウント
- ・①～③はメタボリックシンドロームの判定項目、④はその他の関連リスク、④は喫煙歴について①～③のリスクが1つ以上の場合にのみカウント

① 血糖	空腹時血糖 100 mg/dl 以上 又は HbA1c 5.2%以上 又は 薬剤治療を受けている場合(質問票より)
② 脂質	中性脂肪 150 mg/dl 以上 又は HDLコレステロール 40 mg/dl 未満 又は 薬剤治療を受けている場合(質問票より)
③ 血圧	収縮期 130mmHg 以上 又は 拡張期 85mmHg 以上 又は 薬剤治療を受けている場合(質問票より)
④ 質問票	喫煙歴あり

ステップ - 3 ステップ-1, 2から保健指導レベルをグループ分け

	Aの場合	Bの場合
積極的支援	①～④リスクが2以上	①～④リスクが3以上
動機づけ支援	①～④リスクが1	①～④リスクが1又は2
情報提供	①～④リスクが0	①～④リスクが1又は0

※前期高齢者(65歳以上75歳未満)は、積極支援でも動機づけ支援にグループ分け

6. 健診検査項目の各判定基準（正常値・僅かな異常・要観察・要精検）

項目名	A:正常値	B:僅かな異常	C:要観察	D:要精検
血圧(収縮前)	90~139	140~159	160~179	180以上
血圧(収縮後)	89以下	90~94	95~99	100以上
中性脂肪	40~150	30~39	20~29 151~300	19以下 300以上
HDLコレステロール	40~80	35~39 81~90	30~34 91~100	29以下 101以上
LDLコレステロール	70~139	—	140~169	170以上
空腹時血糖	70~109	60~69 110~115	50~59 116~125	49以下 126以上
HbA1c	4.3~5.8	4.2以下	5.9~6.0	6.1以上
AST(GOT)	35以下	36~60	61~70	71以上
ALT(GPT)	32以下	33~60	41~100	101以上
γ-GT(γ-GTP)	男 60以下 女 30以下	男 61~120 女 31~100	男 120~200 女 100~200	201以上
赤血球数	男 410~530 女 380~480	男 385~409 531~600 女 355~379 481~555	男 300~384 601~650 女 300~354 556~650	299以下 651以上
血色素量	男 13.0~17.0 女 12.0~16.0	男 12.0~12.9 17.1~17.5 女 11.0~11.9 16.1~17.0	男 10.0~11.9 17.6~18.0 女 10.0~10.9 17.1~18.0	18.1以上
尿酸	男 3.5~7.0 女 2.5~7.0	男 3.4以下 7.1~8.0 女 2.4以下 6.1~8.0	8.1~9.0	9.1以上
クレアチニン	男 0.61~1.04 女 0.47~0.79	男 1.05~1.20 女 0.80~1.00	男 1.21~1.99 女 1.01~1.99	2.00以上
アミラーゼ	37~125	15~36 126~169	10~14以下 170~257	9以下 258以上
CK	男 190以下 女 170以下	男 191~285 女 171~255	男 286以上 女 256以上	— —
アルブミン	3.9~5.1	3.6~3.8 5.2~5.4	2.9~3.5 5.5~6.4	2.8以下 6.7以上

7. 実施医療機関

1) 個別健診

年 度	実 施 登 録 医 療 機 関 数	
	函館市国保、後期高齢者、生活保護受給者等（函館市医師会 一括契約）	社会保険、共済組合組合健保等（北海道医師会 集合契約）
20 年度	132	132
21 年度	124	125
22 年度	115	114

平成 22 年度実施医療機関一覧

SQ	医療機関名称	函館市医師会 一括契約	北海道医師会 集合契約
1	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院	×	○
2	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	○	○
3	函館赤十字病院	○	○
4	社会医療法人 函館渡辺病院	○	○
5	医療法人 富田病院	○	○
6	社会福祉法人函館共愛会 共愛会病院	○	○
7	宮腰内科医院	○	○
8	伊藤外科医院	○	○
9	医療法人尚仁会 竹田病院	○	○
10	医療法人 亀田病院	○	○
11	久保田内科胃腸科医院	○	○
12	鈴木内科医院	○	○
13	佐野内科胃腸科医院	○	○
14	仲屋内科胃腸科医院	○	○
15	川添外科・内科クリニック	○	○
16	長野内科胃腸科医院	○	○
17	盛山内科医院	○	○
18	広瀬医院	○	○
19	医療法人道南勤医協 函館稜北病院	○	○
20	陳内科クリニック	○	○
21	医療法人敬仁会 函館おしま病院	○	○
22	医療法人鴻仁会 深瀬病院	○	○
23	函館市医師会病院	○	○
24	あらし循環器科内科クリニック	○	○
25	高野内科小児科	○	○
26	医療法人社団 佐藤皮膚科・循環器内科医院	○	○
27	医療法人社団 今内科消化器科医院	○	○
28	医療法人社団 函館脳神経外科病院	○	○
29	ひでしま内科胃腸科クリニック	○	×
30	医療法人社団 あしの内科医院	○	○
31	医療法人社団慶六会 葛西内科小児科医院	○	○
32	医療法人社団健和会 大村病院	○	○
33	山本内科小児科皮膚科泌尿器科クリニック	○	○
34	医療法人社団 宮本整形外科	○	○
35	医療法人社団 やま内科胃腸科医院	○	○
36	佐藤内科小児科医院	○	○
37	中川内科クリニック	○	○

SQ	医療機関名称	函館市医師会 一括契約	北海道医師会 集合契約
38	柳谷内科	○	○
39	第一内科医院	○	○
40	医療法人函館循環器科内科病院	○	○
41	医療法人社団 古河内科	○	○
42	医療法人社団 五十嵐内科医院	○	○
43	医療法人社団 金井内科クリニック	○	○
44	医療法人社団 ほたてクリニック	○	○
45	医療法人雄心会 函館新都市病院	○	○
46	医療法人社団 多田内科医院	○	○
47	五稜郭ウイメンズクリニック	○	○
48	医療法人社団 たけうち内科胃腸科医院	○	○
49	医療法人社団 協立消化器循環器病院	○	○
50	医療法人聖仁会 森内科	○	○
51	富岡町森内科クリニック	○	○
52	医療法人社団 おいた内科クリニック	○	○
53	三浦レディースクリニック	○	○
54	医療法人社団 中島孝内科・循環器科医院	○	○
55	医療法人社団 恩村内科医院	○	○
56	医療法人社団 高野外科・整形外科	○	○
57	渡部外科クリニック	○	○
58	医療法人社団 さとう内科クリニック	○	○
59	医療法人社団 本間眼科医院	○	○
60	小笹内科医院	○	○
61	医療法人社団 えんどう桔梗こどもクリニック	○	○
62	中島内科循環器科メンタルクリニック	○	○
63	医療法人社団 藤松産婦人科医院	○	○
64	医療法人神交会 鈴木内科外科クリニック	○	○
65	医療法人函館友愛会 千葉医院	○	○
66	西部大山医院	○	○
67	医療法人社団 鹿目内科医院	○	○
68	しもの循環器・内科クリニック	○	○
69	市立函館病院	×	○
70	医療法人社団藤紀会 斉藤内科消化器科医院	○	○
71	医療法人社団 早坂内科クリニック	○	○
72	斉藤内科クリニック	○	○
73	柳川内科胃腸科	○	○
74	医療法人社団 アリエス循環器科内科クリニック	○	○
75	医療法人社団イースト かたやま内科消化器科	○	○
76	医療法人社団 こが整形外科クリニック	○	○
77	医療法人社団社の風 五稜郭みやざき勢内科クリニック	○	○
78	医療法人社団 山城消化器科内科クリニック	○	○
79	医療法人社団 飯田内科クリニック	○	○
80	医療法人社団誠仁会 美馬産婦人科	○	○
81	はら内科クリニック	○	○
82	みなと内科脳外科医院	○	○
83	医療法人社団 かみゆのかわ医院	○	○
84	医療法人社団函館敬愛会 好和会クリニック	○	○
85	医療法人社団 函館呼吸器内科クリニック	○	○
86	医療法人道南勤医協 稜北内科・小児科クリニック	○	○
87	市立函館南茅部病院	○	○
88	医療法人社団 杉山クリニック	○	○
89	市立函館恵山病院	○	○

SQ	医療機関名称	函館市医師会 一括契約	北海道医師会 集合契約
90	ケアプラザ新函館・たけだクリニック	○	○
91	医療法人社団 東野内科消化器科クリニック	○	○
92	医療法人社団清邑会 楳法華クリニック	○	○
93	医療法人社団山樹会 平山医院	○	○
94	函館西部脳神経クリニック	○	○
95	たかひろクリニック	○	○
96	医療法人社団 ごとう内科胃腸科	○	○
97	医療法人社団 くまくら柏木クリニック	○	○
98	医療法人社団守一会 北美原クリニック	○	○
99	ゆのかわ温泉整形外科	○	○
100	医療法人社団 やなづめ医院	○	○
101	医療法人社団 福德整形外科・外科	○	○
102	社会福祉法人北海道社会事業協会 函館病院	○	○
103	はらだ内科消化器科クリニック	○	×
104	医療法人社団大裕会 竹中内科消化器科	○	○
105	医療法人社団 榊原循環器科内科クリニック	○	○
106	医療法人社団光信会 麦倉内科クリニック	○	○
107	医療法人社団 関口内科医院	○	○
108	平野内科胃腸科	○	○
109	山の手整形外科クリニック	○	×
110	菅原内科クリニック	○	○
111	医療法人雄心会 函館おおてまちクリニック	○	○
112	弥生坂消化器内科クリニック	○	○
113	長谷川循環器内科クリニック	○	○
114	みはら内科クリニック	○	○
115	医療法人道南勤医協 函館診療所	○	○
116	医療法人社団 黒田クリニック	○	○
117	独立行政法人 国立病院機構 函館病院	○	×
118	函館市医師会健診検査センター	×	○
	合計	115	114

2) 集団健診 : 函館市医師会健診検査センター

8. 実施場所・実施回数

年 度	集団健診			個別健診
	総合保健 センター	医師会健診検査セ ンター	巡回健診	
20年度	6月～3月 年156回	6月～3月 年20回	市内78箇所 6月～10月 年82回	市内132箇所 6月～3月
21年度	6月～3月 年138回	6月～3月 年10回	市内71箇所 6月～10月 年73回	市内124箇所 6月～3月
22年度	6月～3月 年129回	6月～3月 年18回	市内76箇所 6月～10月 年111回	市内115箇所 6月～3月

9. 広報状況 (函館市国保課資料より)

1) 20年度

- ・「特定健康診査のお知らせ」を町会へ個別配布依頼(5月)
- ・「健康診査を受けましょう!」受診勧奨チラシを町内会回覧(11月)
- ・「市政ホームページ」に掲載(継続中)
- ・「市政はこだて」に特定健康診査について毎月掲載(継続中)
- ・各支所窓口に特定健診のパンフレット・実施日程を配布(継続中)
- ・実施医療機関にポスター配布
- ・市広報番組「市民の時間(市政パトロール)」HBCラジオで放送(継続中)
- ・市広報番組「市政ニュース」STVで放送(継続中)
- ・保健所健康まつりでパンフレット・勧奨チラシを配布(継続中)

2) 平成21年度 新規分

- ・40~44歳の未受診者へ受診勧奨案内・アンケート実施(9月~11月約3,500名)
- ・20年6~9月受診者中11月現在未受診者への受診勧奨案内(12月約2,500名)
- ・市電車内に広告(12月下旬より)(継続中)
- ・ケーブルテレビによる広報(1月)
- ・20年度受診者中未受診者への電話勧奨(3月約250件)
- ・広報課を通じ、各報道機関への報道依頼(市内報道機関20社)
- ・保健所で実施している各講座の開催時に勧奨チラシを配布(継続中)

3) 平成22年度 新規分

- ・「がん検診・特定健診カレンダー」を市内全戸に配布(5月)
- ・PRポスター作成(5月)
- ・高齢者大学講座でのPR(3大学約540名)(5~6月)
- ・がん検診同時実施会場の増設(5会場→17会場)
- ・夜間健診の時間延長(終了時間18:30→19:00)
- ・未受診者へ受診勧奨ハガキを送付(10月5万通)
- ・保険料納付確認書へ受診勧奨案内を同封(1月3万世帯)

4) 平成23年度 新規分

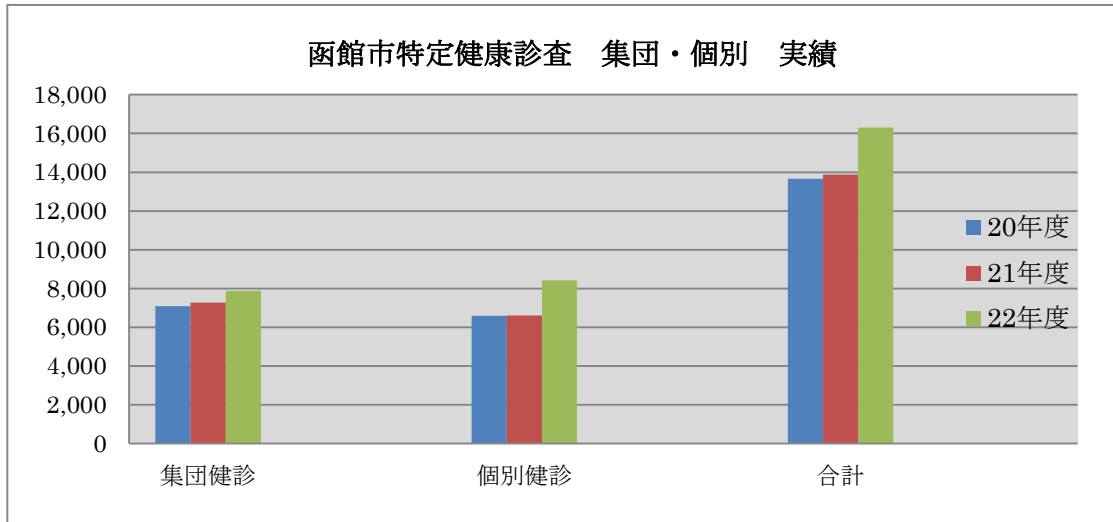
- ・40歳到達者への受診勧奨文書・パンフレットの個別郵送(5月819人)
- ・カラー電車広告(6月1日より)
- ・啓発のぼりの掲示(町会館 巡回健診会場)
- ・未受診者へ電話勧奨(8月より 約9,600件)
- ・未受診者へ受診勧奨ハガキを送付(9月5万通、1月予定)

10. 特定健康診査実績

《函館市 個別健診・集団健診》

	集団健診	個別健診	合計
20年度	7,081	6,585	13,666
21年度	7,262	6,607	13,869
22年度	7,873	8,431	16,304

1. 個別健診・集団健診ともに毎年増加。22年度は前年比 2,435 名の大幅な増加となった。

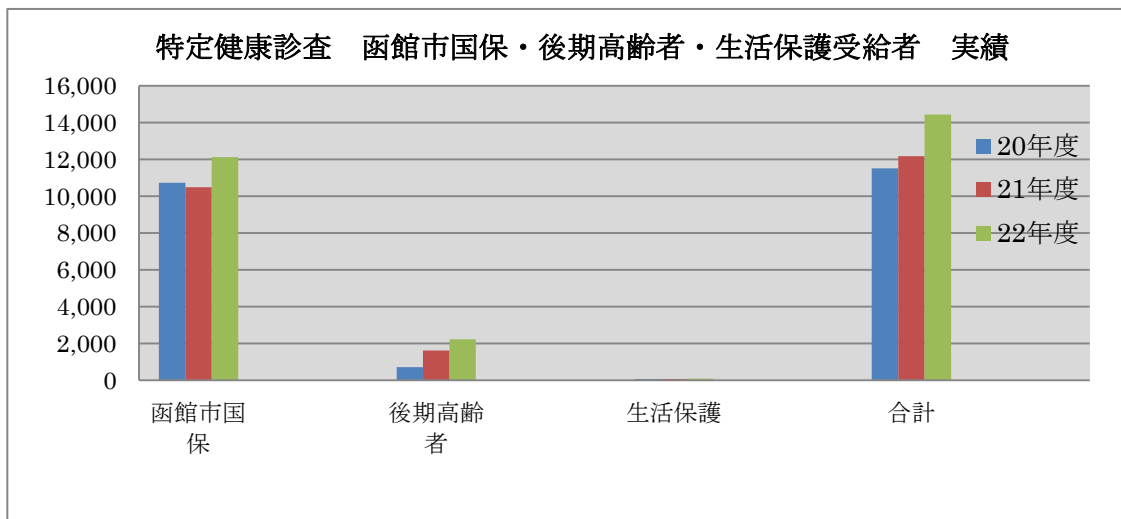


《函館市 国保・後期高齢者・生活保護受給者》

	函館市国保	後期高齢者	生活保護	合計
20年度	10,732	707	69	11,508
21年度	10,494	1,617	67	12,178
22年度	12,117	2,230	83	14,430

1. 函館市国保は、21年度で前年度割れとなるが 22年度は前年比 1,623 名の大幅な増となった。

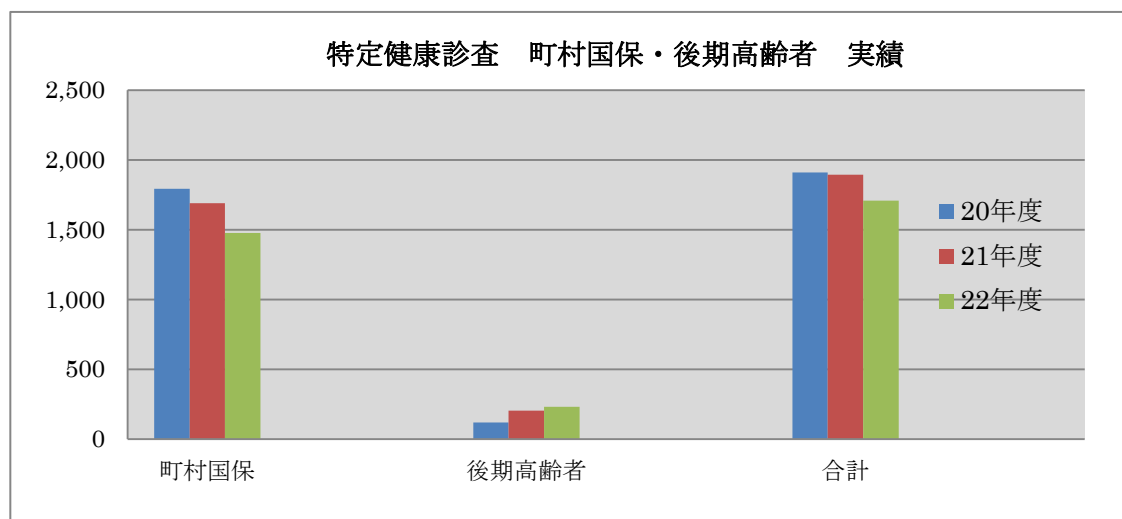
2. 後期高齢者は 21・22 年と 700 名程増加、受診券配布が申請から事前配布になったことが要因。



《町村 国保》

	町村国保	後期高齢者	合計
20年度	1,793	119	1,912
21年度	1,690	204	1,894
22年度	1,478	230	1,708

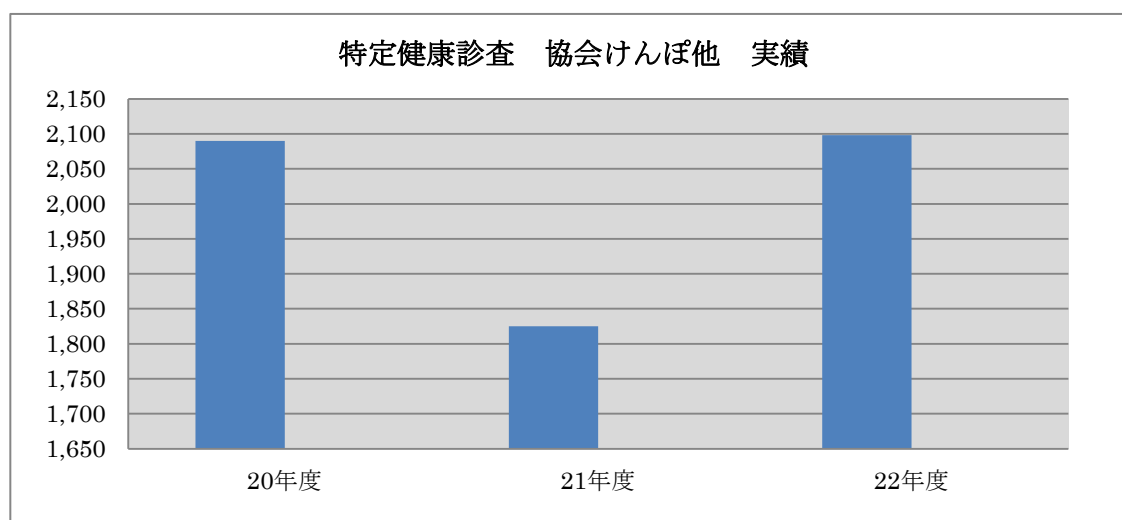
- 1.町村国保は、2年連続前年割れ。健診内容・料金等で敬遠されたと思われる。
- 2.後期高齢者は年々増加している。



《協会けんぽ他》

	協会けんぽ他
20年度	2,090
21年度	1,825
22年度	2,098

- 1.平成20年度の評判が悪く、21年度は大幅な減となった。22年度は実施方法等の周知や受診券の配布を申請方式から事前配布に変えることにより回復している。



1.1. 平成22年度 特定健診 詳細実績

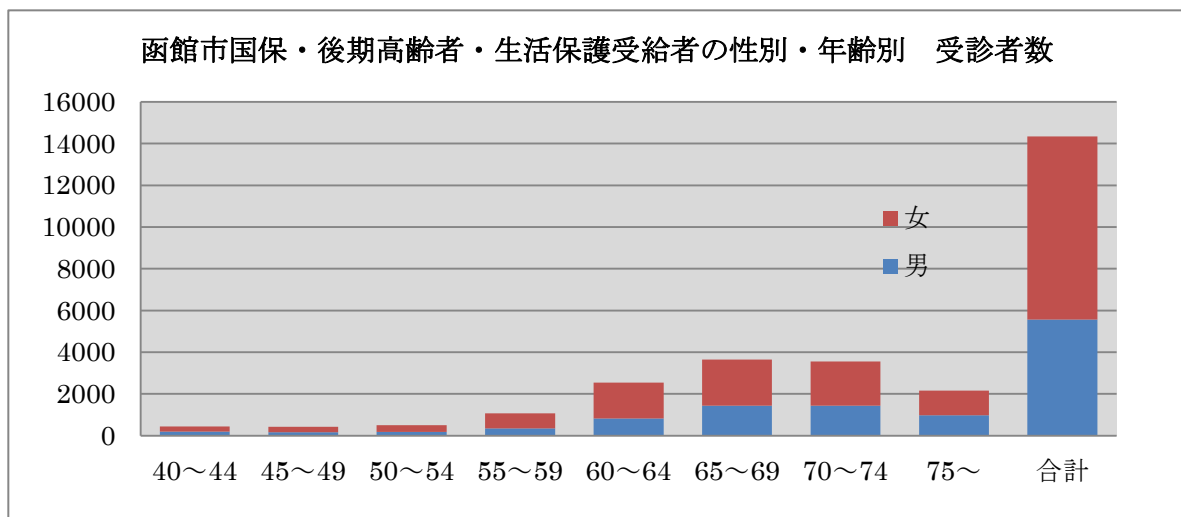
1) 保険者別・性別・年齢別 受診者数

① 函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者

《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者の性別・年齢別 受診者数》

		40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
国保 後期 高齢 生保	男	197 44.1%	168 39.5%	174 34.9%	348 32.5%	822 32.3%	1,439 39.5%	1,443 40.6%	979 45.4%	5,570 38.8%
	女	250 55.9%	257 60.5%	324 65.1%	723 67.5%	1,720 67.7%	2,205 60.5%	2,113 59.4%	1,178 54.6%	8,770 61.2%
計		447 3.1%	425 3.0%	498 3.5%	1,071 7.5%	2,542 17.7%	3,644 25.4%	3,556 24.8%	2,157 15.0%	14,340 100.0%

1. 男女比率は、合計で男性 38.8%、女性 61.2%。65 歳以上になると男性の比率が上昇している。
2. 年齢分布は、40～54 歳まで微増、55 歳からは倍増となり、65～69 歳で 25.4%のピークを示す。分布率では 60 歳～74 歳が全体の 67.9%を占めた。

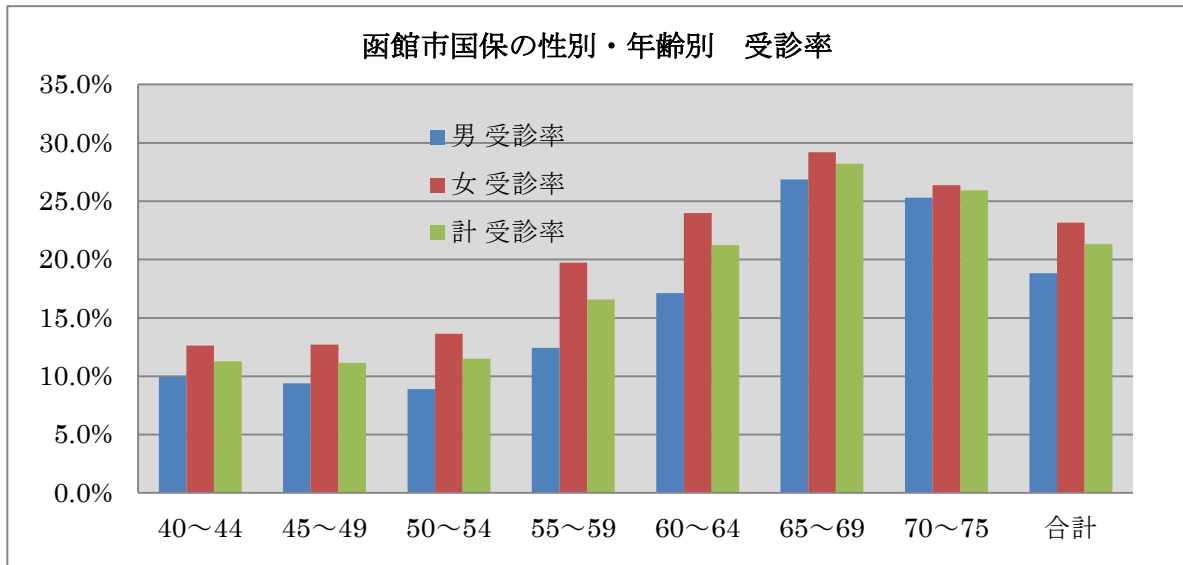


《函館市国保の受診対象者に対する性別・年齢別 受診率》

		年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
国保 生保	男	対象者	1,981	1,790	1,957	2,799	4,798	5,358	5,704	24,387
		受診者	197	168	174	348	822	1,439	1,443	4,591
		受診率	9.9%	9.4%	8.9%	12.4%	17.1%	26.9%	25.3%	18.8%
国保 生保	女	対象者	1,981	2,021	2,375	3,662	7,171	7,556	8,010	32,776
		受診者	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	7,592
		受診率	12.6%	12.7%	13.6%	19.7%	24.0%	29.2%	26.4%	23.2%
計		対象者	3,962	3,811	4,332	6,461	11,969	12,914	13,714	57,163
		受診者	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,556	12,183
		受診率	11.3%	11.2%	11.5%	16.6%	21.2%	28.2%	25.9%	21.3%

1. 年齢別受診率は、40 歳～54 歳までは 11.3～11.5%と低いが、55 歳から増加し、65～69 歳で 28.2%の受診率を示した。

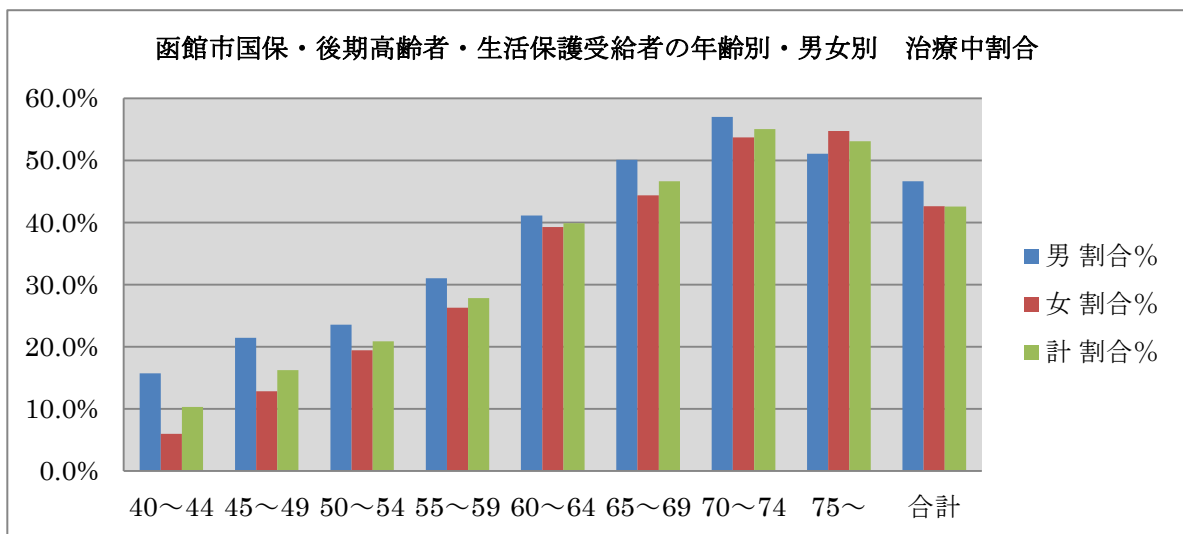
2. 男女では、女性の方が男性に比べ高い受診率を示した。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者の受診者における治療中者の割合》

			40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~	合計
			国保 後期 高齢 生保	男	受診者	197	168	174	348	822	1,439
治療中	31	36			41	108	338	721	823	500	2,598
%	15.7%	21.4%			23.6%	31.0%	41.1%	50.1%	57.0%	51.1%	46.6%
国保 後期 高齢 生保	女	受診者	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,198	8,790
		治療中	15	33	63	190	676	979	1,135	656	3,747
		%	6.0%	12.8%	19.4%	26.3%	39.3%	44.4%	53.7%	54.8%	42.6%
国保 後期 高齢 生保	計	受診者	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,556	2,177	12,183
		治療中	46	69	104	298	1,014	1,700	1,958	1,156	5,189
		%	10.3%	16.2%	20.9%	27.8%	39.9%	46.7%	55.1%	53.1%	42.6%

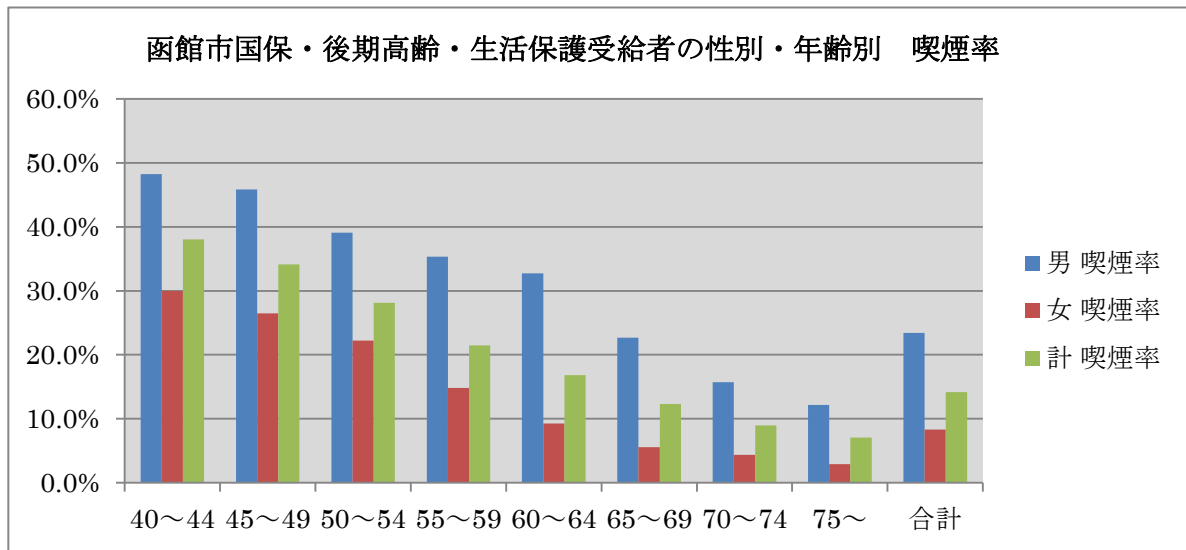
1. 男女とも加齢とともに増加し、70歳以上で55%前後のピークを示した。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者の受診者における喫煙率》

			40～	45～	50～54	55～	60～	65～	70～	75～	合計
			国保	男	受診	197	168	174	348	822	1,439
喫煙	95	77			68	123	269	326	227	119	1,304
喫煙率	48.2%	45.8%			39.1%	35.3%	32.7%	22.7%	15.7%	12.2%	23.4%
生保	女	受診	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,198	8,790
		喫煙	75	68	72	107	159	123	92	35	731
		喫煙率	30.0%	26.5%	22.2%	14.8%	9.2%	5.6%	4.4%	2.9%	8.3%
計	計	受診	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,556	2,177	14,360
		喫煙	170	145	140	230	428	449	319	154	2,035
		喫煙率	38.0%	34.1%	28.1%	21.5%	16.8%	12.3%	9.0%	7.1%	14.2%

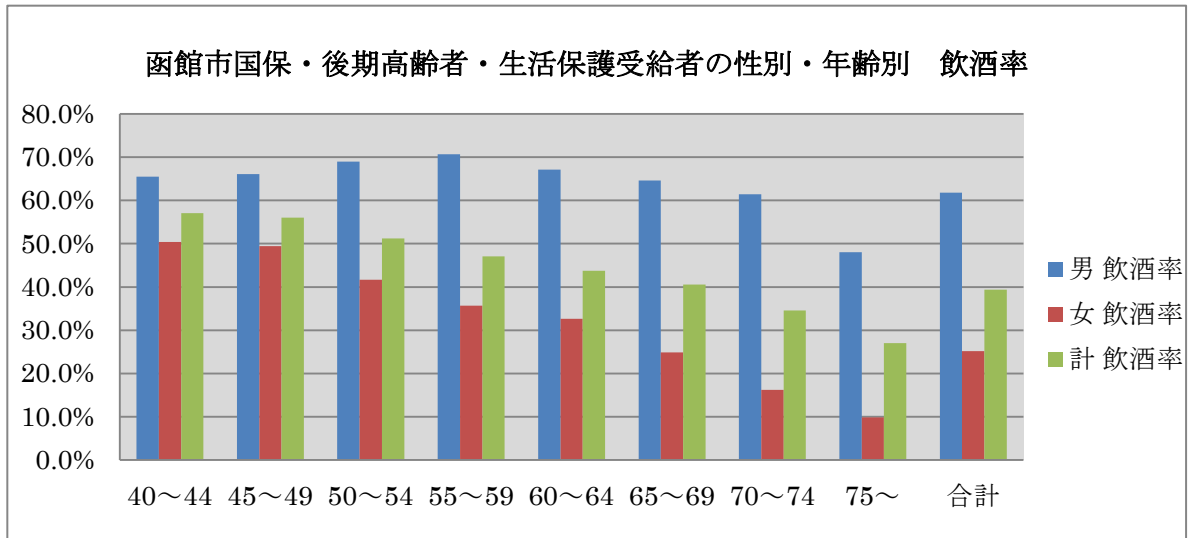
1. 喫煙率は常に男性が女性より高く、40歳から加齢とともに男女とも減少していた。



《函館国保・後期高齢者・生活保護受給者の受診者における飲酒率》

			40～	45～	50～54	55～	60～	65～	70～	75～	合計
			国保	男	受診	197	168	174	348	822	1,439
飲酒	129	111			120	246	552	930	886	470	3,444
飲酒率	65.5%	66.1%			69.0%	70.7%	67.2%	64.6%	61.4%	48.0%	61.8%
生保	女	受診	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,198	8,790
		飲酒	126	127	135	258	561	548	343	118	2,216
		飲酒率	50.4%	49.4%	41.7%	35.7%	32.6%	24.9%	16.2%	9.8%	25.2%
計	計	受診	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,556	2,177	14,360
		飲酒	255	238	255	504	1,113	1,478	1,229	588	5,660
		飲酒率	57.0%	56.0%	51.2%	47.1%	43.8%	40.6%	34.6%	27.0%	39.4%

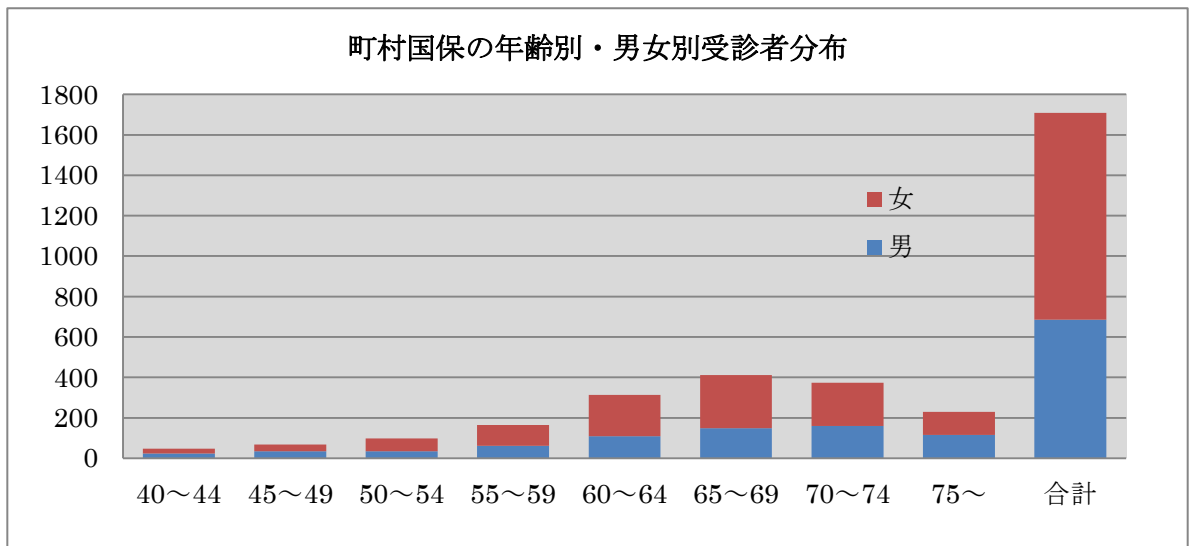
1. 飲酒率は、男性では年齢に関係なく60%前後であったが、女性は加齢とともに低下している。



② 町村国保

		40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
国保 後期 高齢	男	23	35	35	61	109	148	159	115	685
		47.9%	51.5%	35.7%	37.0%	34.8%	35.9%	42.5%	50.0%	40.1%
生保	女	25	33	63	104	204	264	215	115	1,023
		52.1%	48.5%	64.3%	63.0%	65.2%	64.1%	57.5%	50.0%	59.9%
計		48	68	98	165	313	412	374	230	1,708
		2.8%	4.0%	5.7%	9.7%	18.3%	24.1%	21.9%	13.5%	100.0%

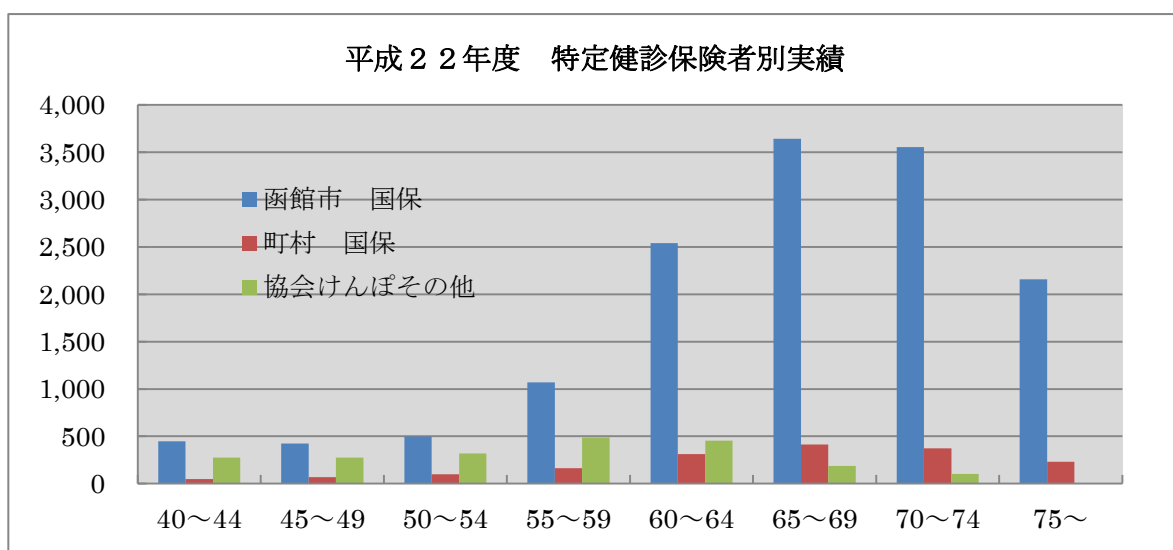
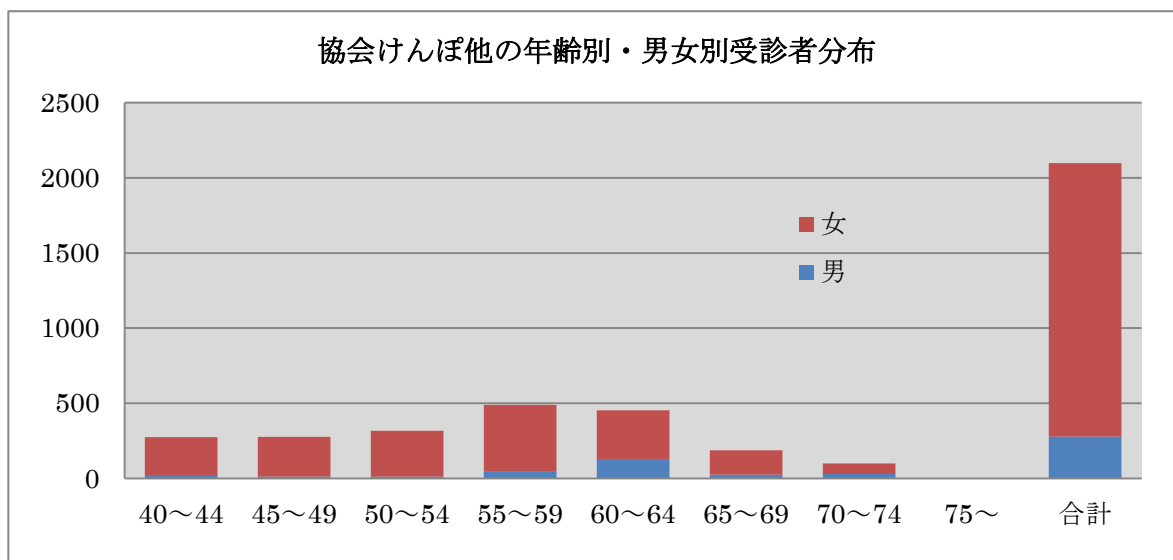
1. 男女比率は、合計で男性 40.1%、女性 59.9%。男性比率は、40 歳から 64 歳まで下がり、その後、年齢とともに上昇し 50%となった。
2. 年齢分布は、40 歳から 69 歳まで増加し、70 歳から下がる分布を示す。分布率では 60 歳～74 歳が全体の 64.3%を占めた。

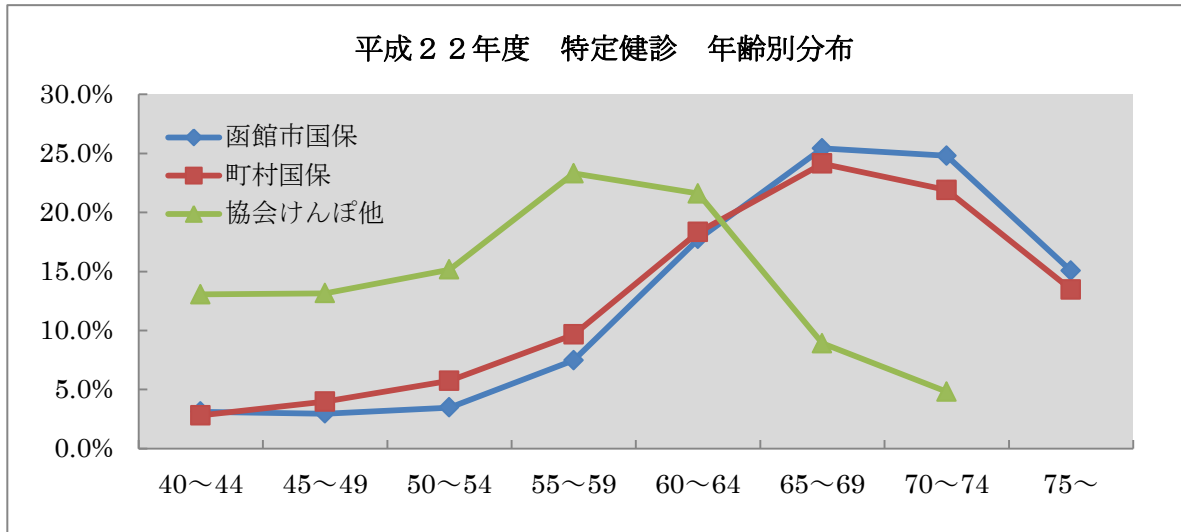


③ 協会けんぽ他

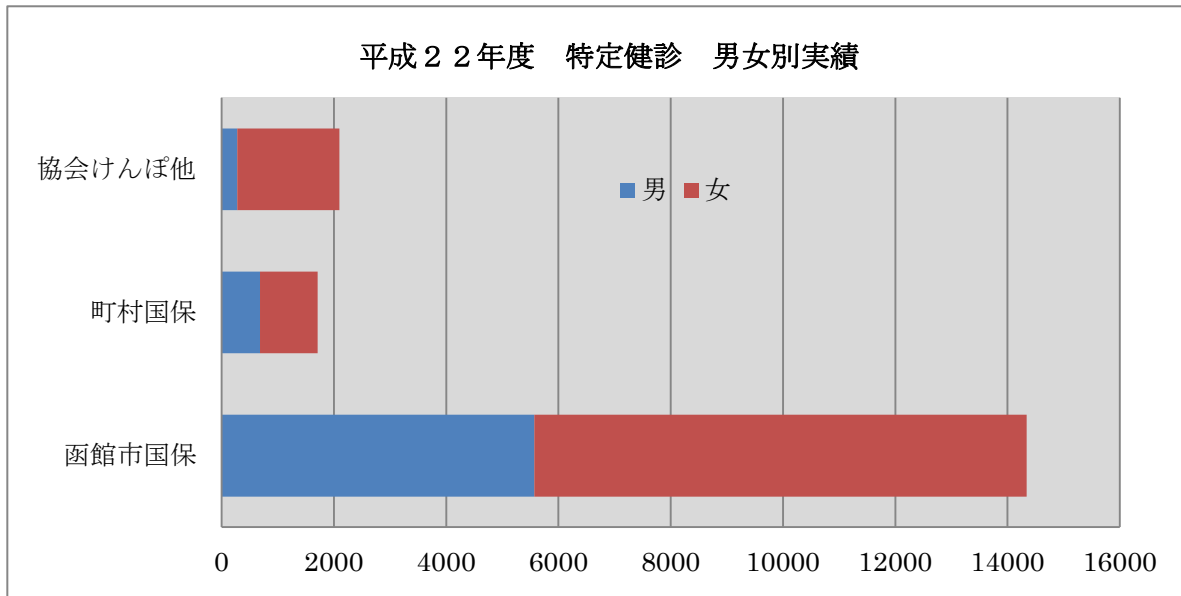
		40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
		協会けんぽ他	男	17 6.2%	13 4.7%	13 4.1%	49 10.0%	131 28.9%	26 13.9%	29 28.7%
	女	257 93.8%	263 95.3%	305 95.9%	440 90.0%	322 71.1%	161 86.1%	72 71.3%	0	1,820 86.7%
	計	274 13.1%	276 13.2%	318 15.2%	489 23.3%	453 21.6%	187 8.9%	101 4.8%	0	2,098 100.0%

1. 男女比率は、合計で男性 13.3%、女性 86.7%。加齢により男性の比率が上がり 60～64 歳で 28.9%となるが、対象が被扶養者の為、全体として女性の比率は 70%以上であった。
2. 年齢分布は、40 歳から徐々に増加し、55 歳～59 歳で 23.3%のピークを示した後は減少し、70 歳以上で 4.8%に低下した。分布率では 50 歳～64 歳が全体の 60.1%を占めた。国保と異なり低い年齢層に分布した。





1. 国保では60歳から74歳が全体の64～67%を占めるが、協会けんぽその他では50歳から64歳で60%を占め、協会けんぽその他の方が低年齢層に分布していた。



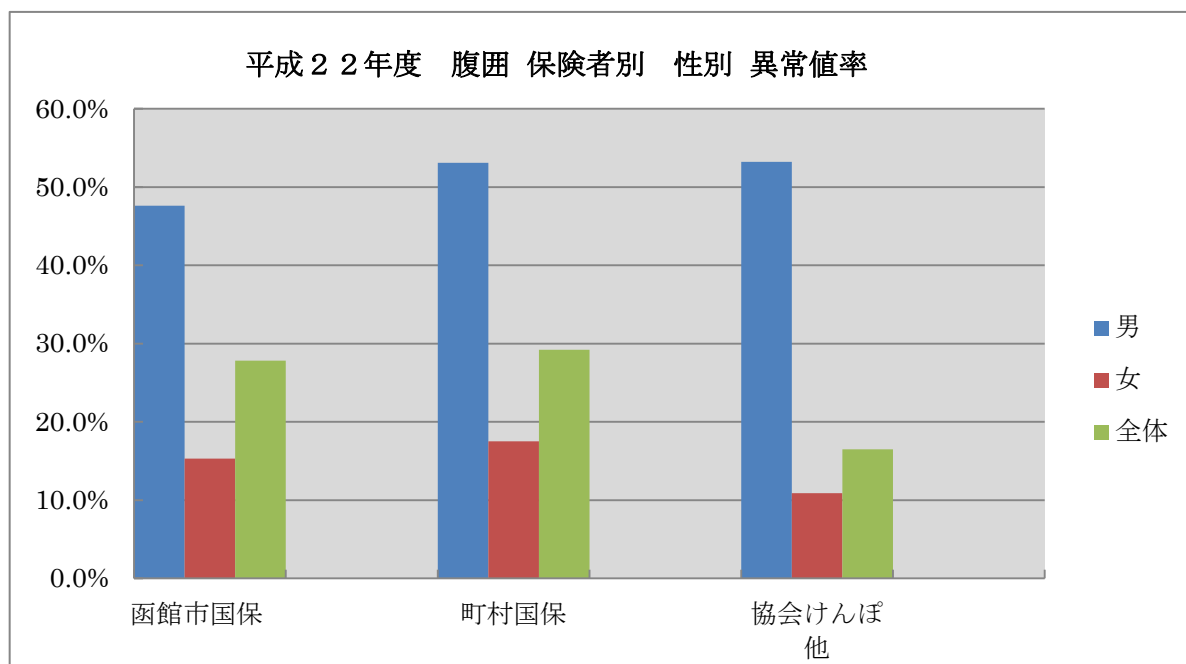
1. 国保の男女比率が男性40%、女性60%に対し、協会けんぽその他は男性13%、女性87%であった。協会けんぽその他では、主な受診対象者が被扶養者となる為、女性の比率が高いと思われる。

2) 健診項目別 検査結果

① 腹 囲

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
異常値率	男	47.6%	53.1%	53.2%
	女	15.3%	17.5%	10.9%
	全体	27.8%	29.2%	16.5%

1. 腹囲の異常値率は、保険者による違いはなく、男子 50%前後、女子 15%前後であった。男性が女性に比べ 3 倍以上高い傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	91 46.2%	90 53.6%	89 51.1%	181 52.0%	400 48.7%	782 54.3%	736 51.0%	547 55.9%	2,916 52.4%
異常値	106 53.8%	78 46.4%	85 48.9%	167 48.0%	422 51.3%	657 45.7%	707 49.0%	432 44.1%	2,654 47.6%
計	197	168	174	348	822	1439	1443	979	5,570

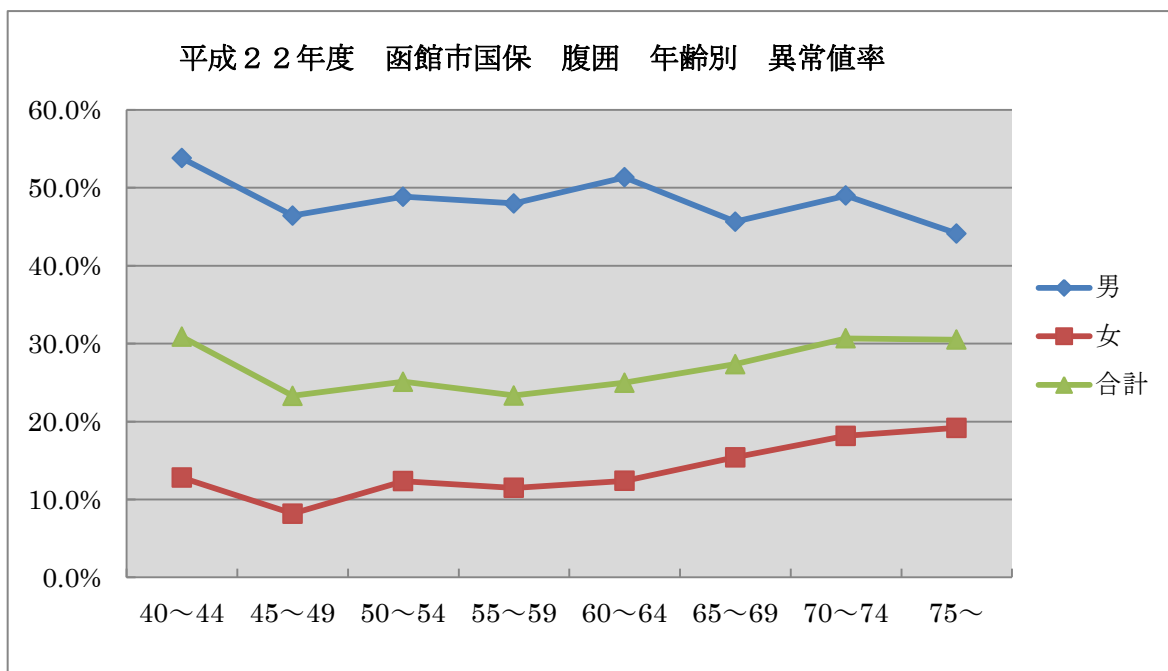
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	218 87.2%	236 91.8%	284 87.7%	640 88.5%	1,507 87.6%	1,865 84.6%	1,729 81.8%	952 80.8%	7,431 84.7%
異常値	32 12.8%	21 8.2%	40 12.3%	83 11.5%	213 12.4%	340 15.4%	384 18.2%	226 19.2%	1,339 15.3%
計	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,178	8,770

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	309 69.1%	326 76.7%	373 74.9%	821 76.7%	1,907 75.0%	2,647 72.6%	2,465 69.3%	1,499 69.5%	10,347 72.2%
異常値	138 30.9%	99 23.3%	125 25.1%	250 23.3%	635 25.0%	997 27.4%	1,091 30.7%	658 30.5%	3,993 27.8%
計	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,556	2,157	14,340

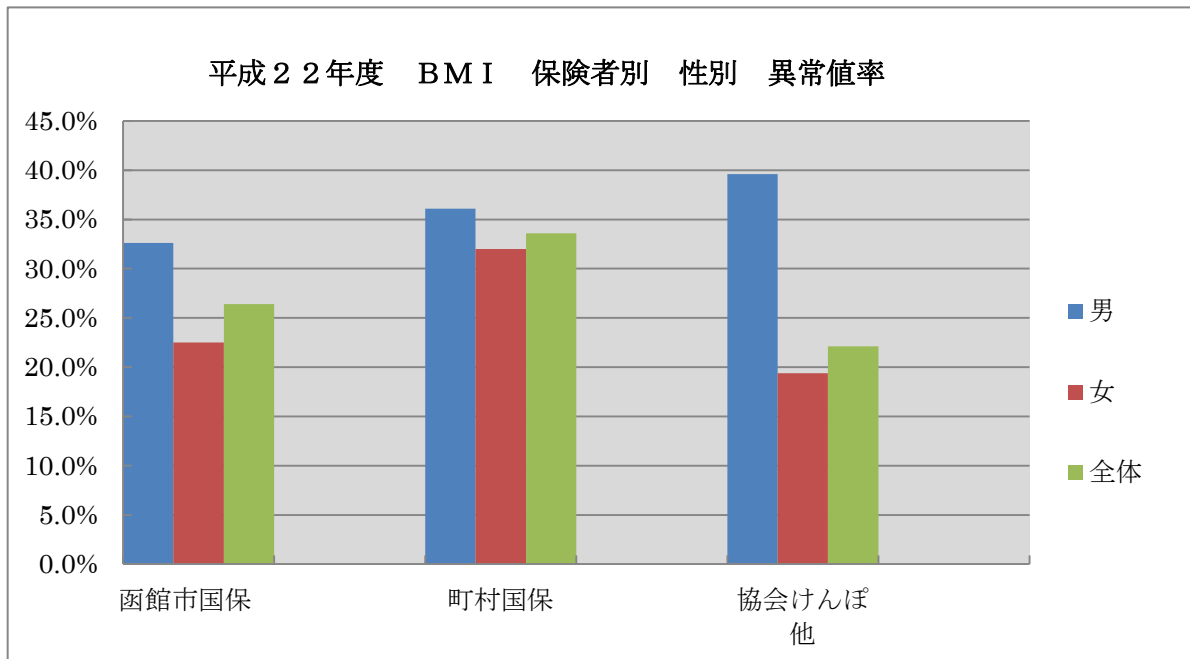
1. 腹囲の異常値率は、年齢とともに男性は低下し、女性は上昇傾向がみられた。



② BMI

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
異常値率	男	32.6%	36.1%	39.6%
	女	22.5%	32.0%	19.4%
	全体	26.4%	33.6%	22.1%

1. BMIの異常値率は、男子 32.6%～39.6%、女子 19.4%～32.0%と、女性に比べて男性が高率であった。腹囲と同じ傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	111 56.3%	100 59.5%	98 56.3%	226 64.9%	535 65.1%	973 67.6%	997 69.1%	716 73.1%	3,756 67.4%
異常値	86 43.7%	68 40.5%	76 43.7%	122 35.1%	287 34.9%	466 32.4%	446 30.9%	263 26.9%	1,814 32.6%
計	197	168	174	348	822	1,439	1,443	979	5,570

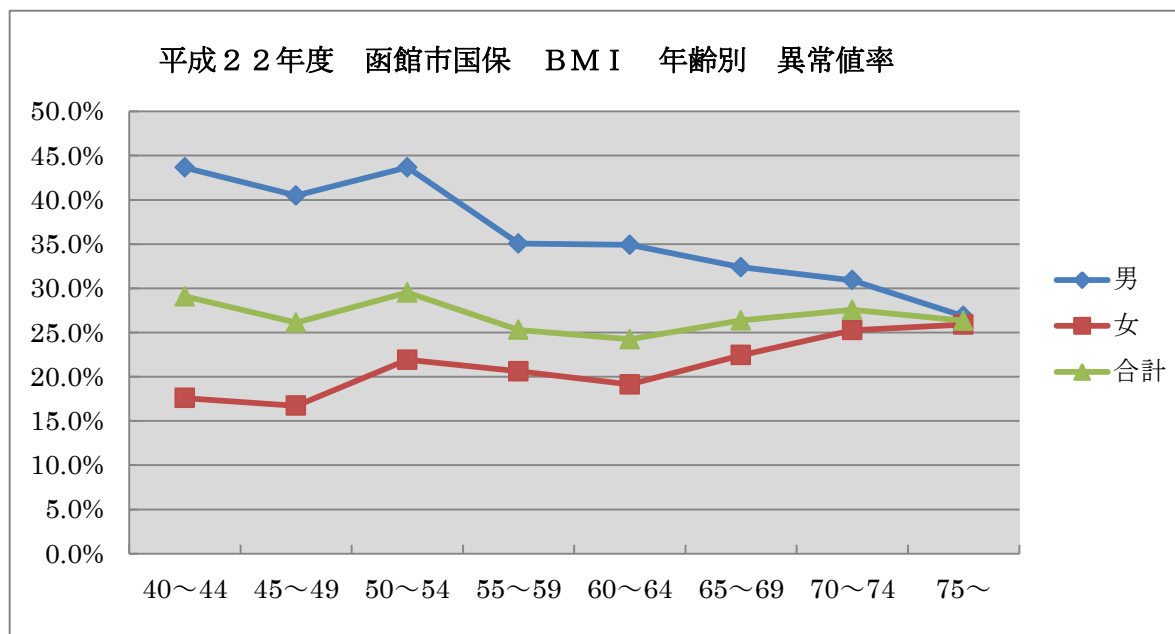
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	206 82.4%	214 83.3%	253 78.1%	574 79.4%	1,391 80.9%	1,710 77.6%	1,579 74.7%	873 74.1%	6,800 77.5%
異常値	44 17.6%	43 16.7%	71 21.9%	149 20.6%	329 19.1%	495 22.4%	534 25.3%	305 25.9%	1,970 22.5%
計	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,178	8,770

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	317 70.9%	314 73.9%	351 70.5%	800 74.7%	1,926 75.8%	2,683 73.6%	2,576 72.4%	1,589 73.7%	10,556 73.6%
異常値	130 29.1%	111 26.1%	147 29.5%	271 25.3%	616 24.2%	961 26.4%	980 27.6%	568 26.3%	3,784 26.4%
計	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,556	2,157	14,340

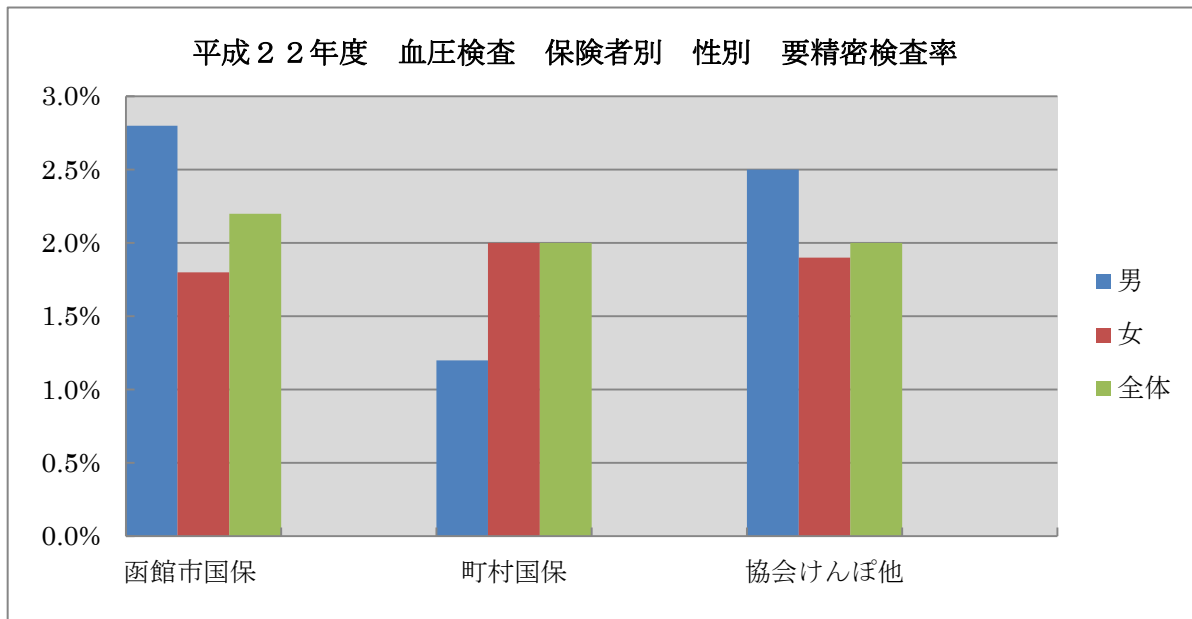
1. BMIの異常値率は、腹囲と同様に年齢とともに男性は低下し、女性は上昇していた。



③ 血圧検査

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	6.2%	6.9%	9.7%
	女	4.3%	5.0%	3.5%
	全体	5.0%	5.7%	4.3%
要精密検査	男	2.8%	1.2%	2.5%
	女	1.8%	2.0%	1.9%
	全体	2.2%	2.0%	2.0%

1. 血圧は、要精密検査が全体で2%程度で、函館市と協会けんぽ他では女性に比べて男性が1.5倍高く、町村では女性の方が高い傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	167 84.8%	125 74.4%	128 73.6%	232 66.7%	575 70.0%	972 67.5%	947 65.6%	668 68.2%	3,814 68.5%
ほぼ正常	17 8.6%	31 18.5%	27 15.5%	74 21.3%	165 20.1%	333 23.1%	366 25.4%	240 24.5%	1,253 22.5%
要経過観察	7 3.6%	7 4.2%	9 5.2%	26 7.5%	55 6.7%	95 6.6%	90 6.2%	57 5.8%	346 6.2%
要精密検査	6 3.0%	5 3.0%	10 5.7%	16 4.6%	27 3.3%	39 2.7%	40 2.8%	14 1.4%	157 2.8%
計	197	168	174	348	822	1,439	1,443	979	5,570

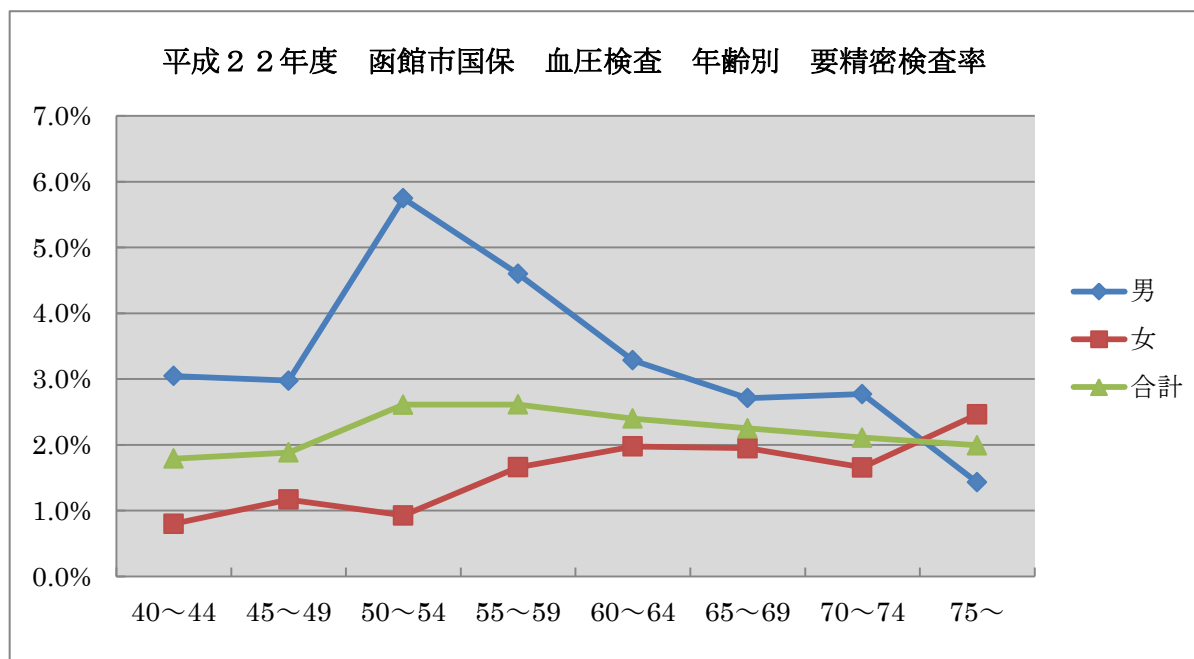
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	233 93.2%	230 89.5%	269 83.0%	575 79.5%	1,332 77.4%	1,608 72.9%	1,502 71.1%	780 66.2%	6,529 74.4%
ほぼ正常	14 5.6%	20 7.8%	46 14.2%	109 15.1%	288 16.7%	452 20.5%	481 22.8%	295 25.0%	1,705 19.4%
要経過観察	1 0.4%	4 1.6%	6 1.9%	27 3.7%	66 3.8%	102 4.6%	95 4.5%	74 6.3%	375 4.3%
要精密検査	2 0.8%	3 1.2%	3 0.9%	12 1.7%	34 2.0%	43 2.0%	35 1.7%	29 2.5%	161 1.8%
計	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,178	8,770

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	400 89.5%	355 83.5%	397 79.7%	807 75.4%	1,907 75.0%	2,580 70.8%	2,449 68.9%	1,448 67.1%	10,343 72.1%
ほぼ正常	31 6.9%	51 12.0%	73 14.7%	183 17.1%	453 17.8%	785 21.5%	847 23.8%	535 24.8%	2,958 20.6%
要経過観察	8 1.8%	11 2.6%	15 3.0%	53 4.9%	121 4.8%	197 5.4%	185 5.2%	131 6.1%	721 5.0%
要精密検査	8 1.8%	8 1.9%	13 2.6%	28 2.6%	61 2.4%	82 2.3%	75 2.1%	43 2.0%	318 2.2%
計	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,556	2,157	14,340

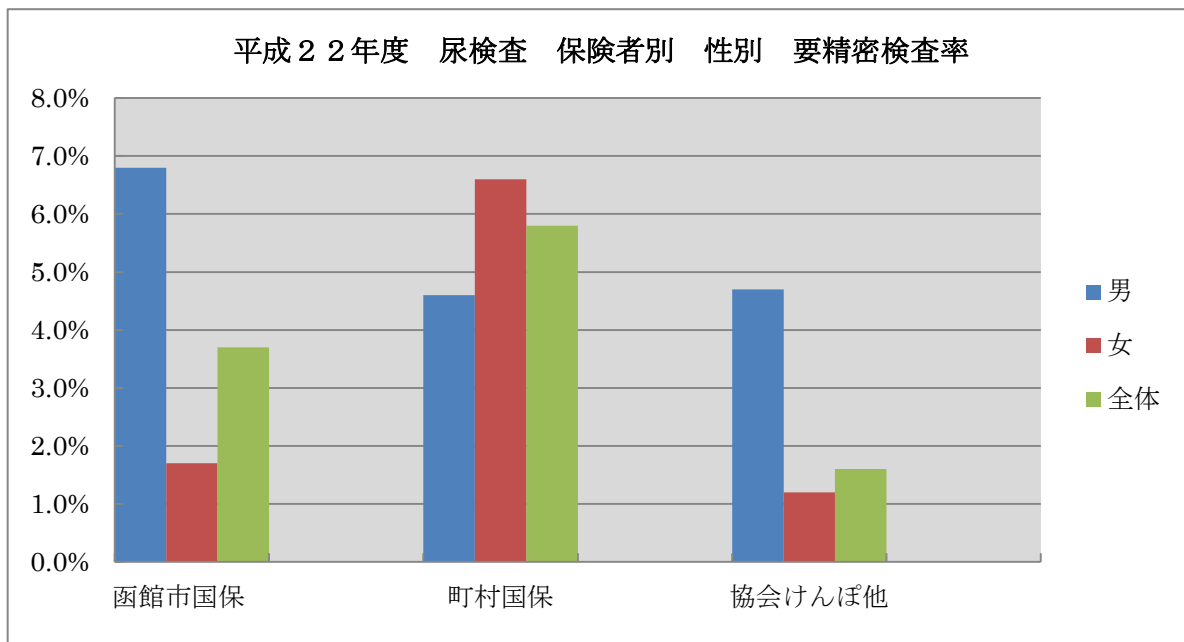
1. 血圧の年齢別要精密検査率は、男性では50歳～54歳でピークを示し、その後年齢とともに低下した。女性は年齢とともに徐々に上昇した。腹囲と同じ傾向であった。



④ 尿検査

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	9.2%	13.3%	8.0%
	女	4.1%	16.2%	3.1%
	全体	6.1%	15.0%	3.7%
要精密検査	男	6.8%	4.6%	4.7%
	女	1.7%	6.6%	1.2%
	全体	3.7%	5.8%	1.6%

1. 尿検査は、要精密検査が国保で3.7%～5.8%、協会けんぽその他で1.6%、年齢分布の違いが要因とおもわれた。性差は、函館市国保・協会けんぽ他で男性が女性に比べ4倍程高く、町村国保では僅かに女性が高かった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	168 86.6%	146 86.9%	141 81.0%	265 76.8%	635 77.6%	1,113 77.9%	1,081 75.3%	762 78.7%	4,311 77.9%
ほぼ正常	9 4.6%	9 5.4%	6 3.4%	20 5.8%	54 6.6%	92 6.4%	91 6.3%	56 5.8%	337 6.1%
要経過観察	11 5.7%	7 4.2%	20 11.5%	35 10.1%	71 8.7%	122 8.5%	147 10.2%	97 10.0%	510 9.2%
要精密検査	6 3.1%	6 3.6%	7 4.0%	25 7.2%	58 7.1%	102 7.1%	117 8.1%	53 5.5%	374 6.8%
計	194	168	174	345	818	1,429	1,436	968	5,532

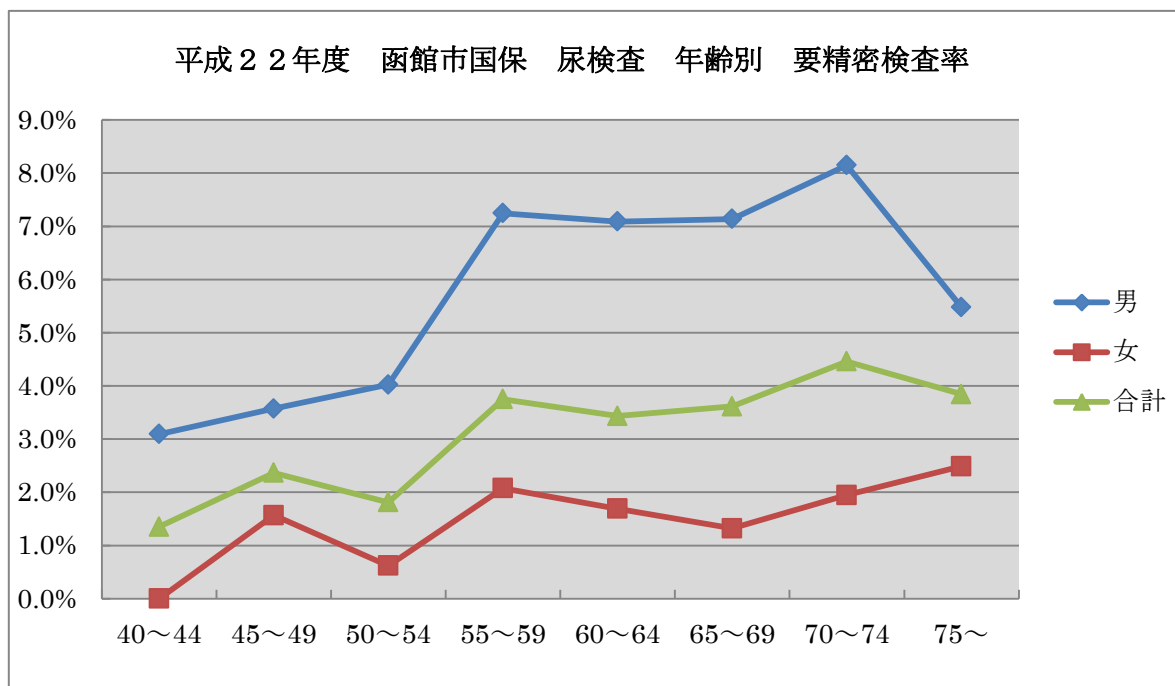
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	233 93.2%	233 91.4%	301 93.2%	665 92.1%	1,571 91.6%	2,020 91.9%	1,884 89.5%	1,017 87.2%	7,924 90.7%
ほぼ正常	12 4.8%	7 2.7%	9 2.8%	22 3.0%	61 3.6%	76 3.5%	79 3.8%	41 3.5%	307 3.5%
要経過観察	5 2.0%	11 4.3%	11 3.4%	20 2.8%	54 3.1%	72 3.3%	102 38.0%	79 6.8%	354 4.1%
要精密検査	0 0.0%	4 1.6%	2 0.6%	15 2.1%	29 1.7%	29 1.3%	41 1.9%	29 2.5%	149 1.7%
計	250	255	323	722	1,715	2,197	2,106	1,166	8,734

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	401 90.3%	379 89.6%	442 88.9%	930 87.2%	2,206 87.1%	3,133 86.4%	2,965 83.7%	1,779 83.4%	12,235 85.8%
ほぼ正常	21 4.7%	16 3.8%	15 3.0%	42 3.9%	115 4.5%	168 4.6%	170 4.8%	97 4.5%	644 4.5%
要経過観察	16 3.6%	18 4.3%	31 6.2%	55 5.2%	125 4.9%	194 137.0%	249 7.0%	176 8.2%	864 6.1%
要精密検査	6 1.4%	10 2.4%	9 1.8%	40 3.7%	87 3.4%	131 3.6%	158 4.5%	82 3.8%	523 3.7%
計	444	423	497	1,067	2,533	3,626	3,542	2,134	14,266

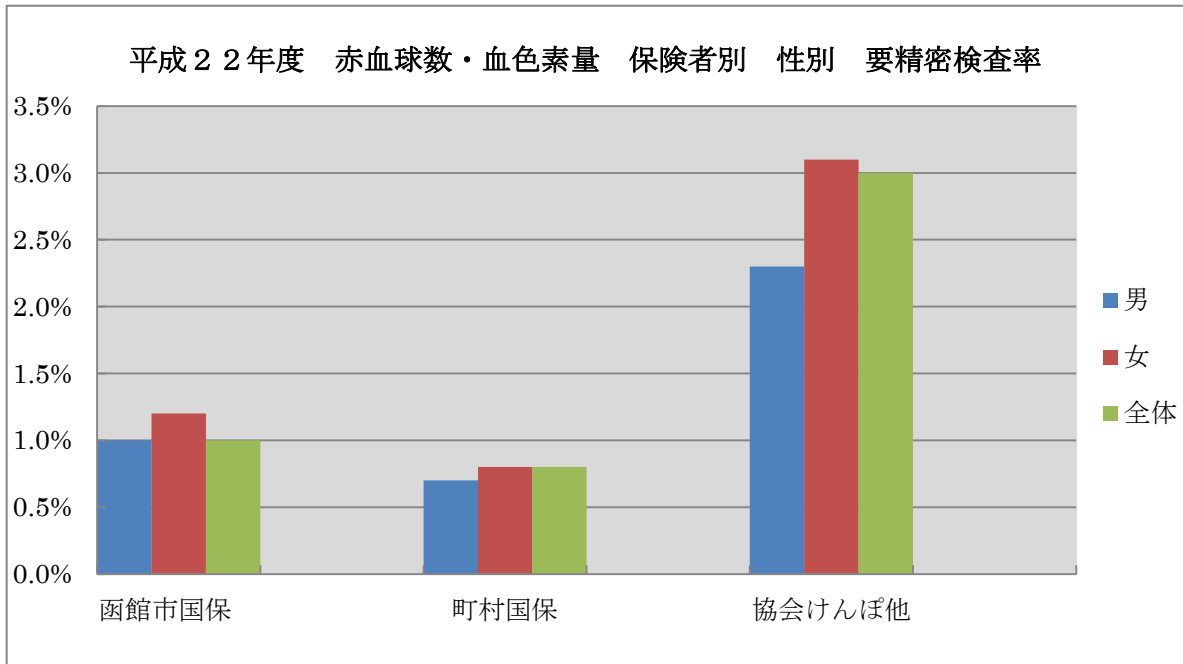
1. 尿検査の年齢別要精密検査率は、男性は年齢とともに上昇し70～74歳で8.1%のピークを示した。女性はその前後と大きな変化は認めなかった。



⑤ 赤血球数・血色素量 検査

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	9.0%	7.1%	6.8%
	女	6.0%	4.5%	3.5%
	全体	6.5%	5.5%	3.9%
要精密検査	男	1.0%	0.7%	2.3%
	女	1.2%	0.8%	3.1%
	全体	1.0%	0.8%	3.0%

1. 赤血球数・血色素量は、要精密検査が国保全体で1%程度、性差は認めないが、協会けんぽでは、全体で3%、男性よりも女性の方が高い。要因は対象年齢の違いによるもので、貧血が異常値の8割を占めていた。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	176 89.3%	147 87.5%	141 81.0%	289 83.0%	671 81.6%	1,113 77.3%	1,031 71.5%	567 57.9%	4,135 74.3%
ほぼ正常	14 7.1%	13 7.7%	18 10.3%	46 13.2%	98 11.9%	219 15.2%	265 18.4%	208 21.2%	881 15.8%
要経過観察	6 3.0%	6 3.6%	15 8.6%	12 3.4%	43 5.2%	94 6.5%	137 9.5%	187 19.1%	500 9.0%
要精密検査	1 0.5%	2 1.2%	0 0.0%	1 0.3%	10 1.2%	13 0.9%	9 0.6%	17 1.7%	53 1.0%
計	197	168	174	348	822	1,439	1,442	979	5,569

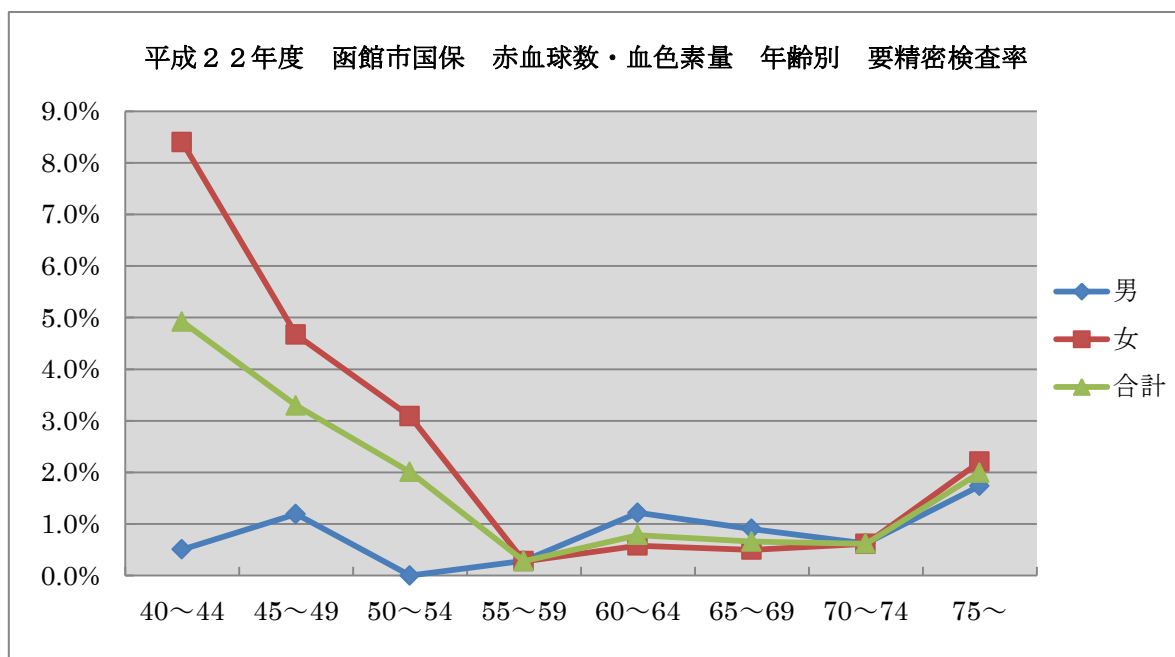
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	163 65.2%	174 67.7%	244 75.3%	599 82.8%	1,411 82.0%	1,736 78.7%	1,556 73.6%	736 62.5%	6,619 75.5%
ほぼ正常	44 17.6%	52 20.2%	49 15.1%	92 12.7%	254 14.8%	356 16.1%	403 19.1%	273 23.2%	1,523 17.4%
要経過観察	22 8.8%	19 7.4%	21 6.5%	30 4.1%	45 2.6%	102 4.6%	141 38.0%	143 12.1%	523 6.0%
要精密検査	21 8.4%	12 4.7%	10 3.1%	2 0.3%	10 0.6%	11 0.5%	13 0.6%	26 2.2%	105 1.2%
計	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,178	8,770

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	339 75.8%	321 75.5%	385 77.3%	888 82.9%	2,082 81.9%	2,849 78.2%	2,587 72.8%	1,303 60.4%	10,754 75.0%
ほぼ正常	58 13.0%	65 15.3%	67 13.5%	138 12.9%	352 13.8%	575 15.8%	668 18.8%	481 22.3%	2,404 16.8%
要経過観察	28 6.3%	25 5.9%	36 7.2%	42 3.9%	88 3.5%	196 137.0%	278 7.8%	330 15.3%	1,023 7.1%
要精密検査	22 4.9%	14 3.3%	10 2.0%	3 0.3%	20 0.8%	24 0.7%	22 0.6%	43 2.0%	158 1.1%
計	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,555	2,157	14,339

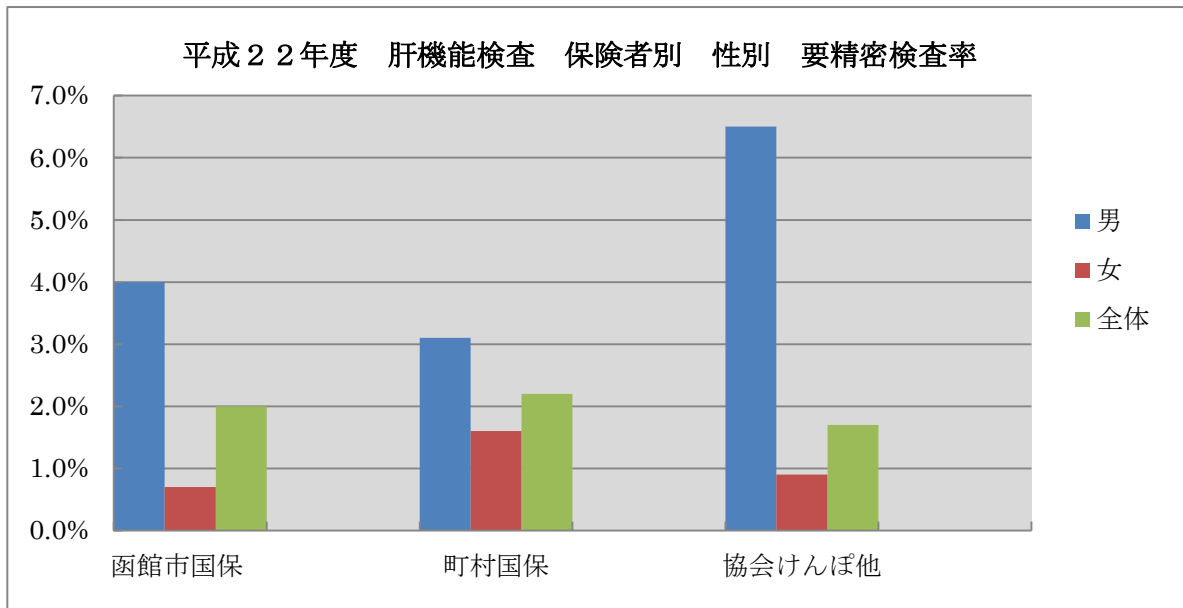
1. 赤血球数・血色素量検査の年齢別要精密検査率は、男性は加齢による変化はなく、女性は40歳から急減し、55歳以上で1%以下に低下した。貧血が異常値の8割を占めるため、55歳以上では閉経により貧血が減少するためと考えられた。



⑥ 肝機能検査

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	6.5%	6.6%	8.6%
	女	2.6%	2.6%	3.1%
	全体	4.1%	4.2%	3.9%
要精密検査	男	4.0%	3.1%	6.5%
	女	0.7%	1.6%	0.9%
	全体	2.0%	2.2%	1.7%

1. 肝機能検査は、要精密検査が全体で2%前後、男性の方が女性に比べ数倍高い傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	105 53.3%	89 53.0%	98 56.3%	189 54.3%	527 64.1%	924 64.2%	1,004 69.6%	764 78.0%	3,700 66.4%
ほぼ正常	49 24.9%	51 30.4%	47 27.0%	97 27.9%	198 24.1%	359 24.9%	319 22.1%	166 17.0%	1,286 23.1%
要経過観察	25 12.7%	17 10.1%	18 10.3%	34 9.8%	60 7.3%	97 6.7%	80 5.5%	32 3.3%	363 6.5%
要精密検査	18 9.1%	11 6.5%	11 6.3%	28 8.0%	37 4.5%	59 4.1%	39 2.7%	17 1.7%	220 4.0%
計	197	168	174	348	822	1,439	1,442	979	5,569

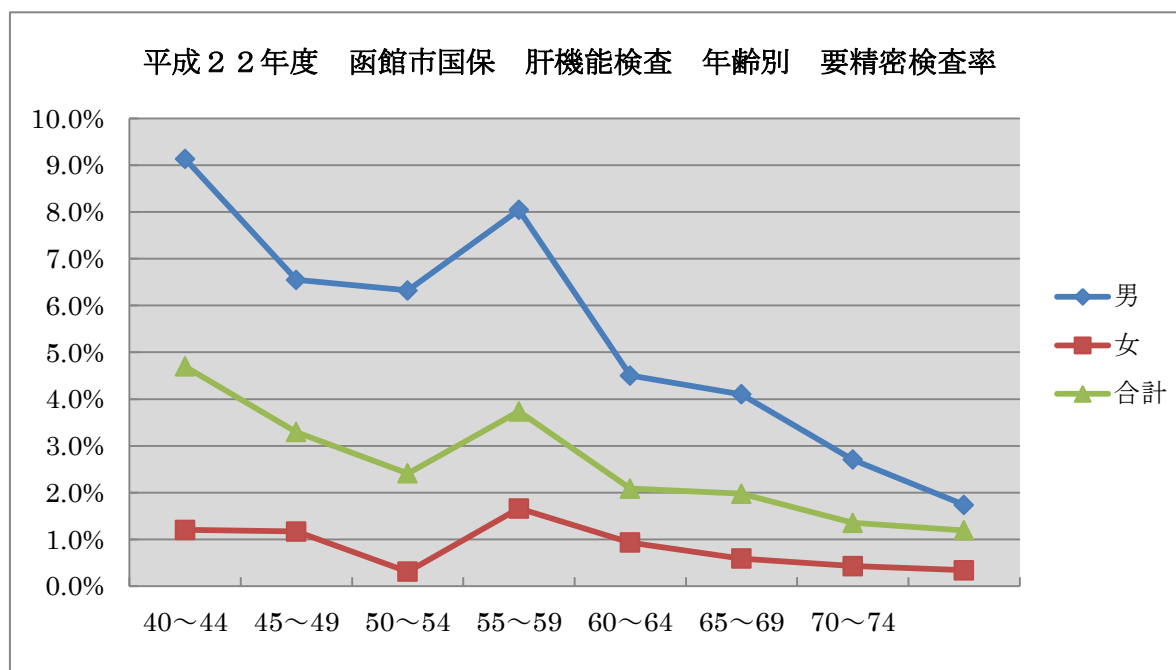
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	198 79.2%	192 74.7%	212 65.4%	475 65.7%	1,206 70.1%	1,564 70.9%	1,567 74.2%	934 79.3%	6,348 72.4%
ほぼ正常	44 17.6%	55 21.4%	89 27.5%	199 27.5%	449 26.1%	579 26.3%	495 23.4%	226 19.2%	2,136 24.4%
要経過観察	5 2.0%	7 2.7%	22 6.8%	37 5.1%	49 2.8%	49 2.2%	42 38.0%	14 1.2%	225 2.6%
要精密検査	3 1.2%	3 1.2%	1 0.3%	12 1.7%	16 0.9%	13 0.6%	9 0.4%	4 0.3%	61 0.7%
計	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,178	8,770

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	303 67.8%	281 66.1%	310 62.2%	664 62.0%	1,733 68.2%	2,488 68.3%	2,571 72.3%	1,306 74.0%	9,656 69.2%
ほぼ正常	93 20.8%	106 24.9%	136 27.3%	296 27.6%	647 25.5%	938 25.7%	814 22.9%	392 22.2%	3,422 24.5%
要経過観察	30 6.7%	24 5.6%	40 8.0%	71 6.6%	109 4.3%	146 137.0%	122 3.4%	46 2.6%	588 4.2%
要精密検査	21 4.7%	14 3.3%	12 2.4%	40 3.7%	53 2.1%	72 2.0%	48 1.4%	21 1.2%	281 2.0%
計	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,555	1,765	13,947

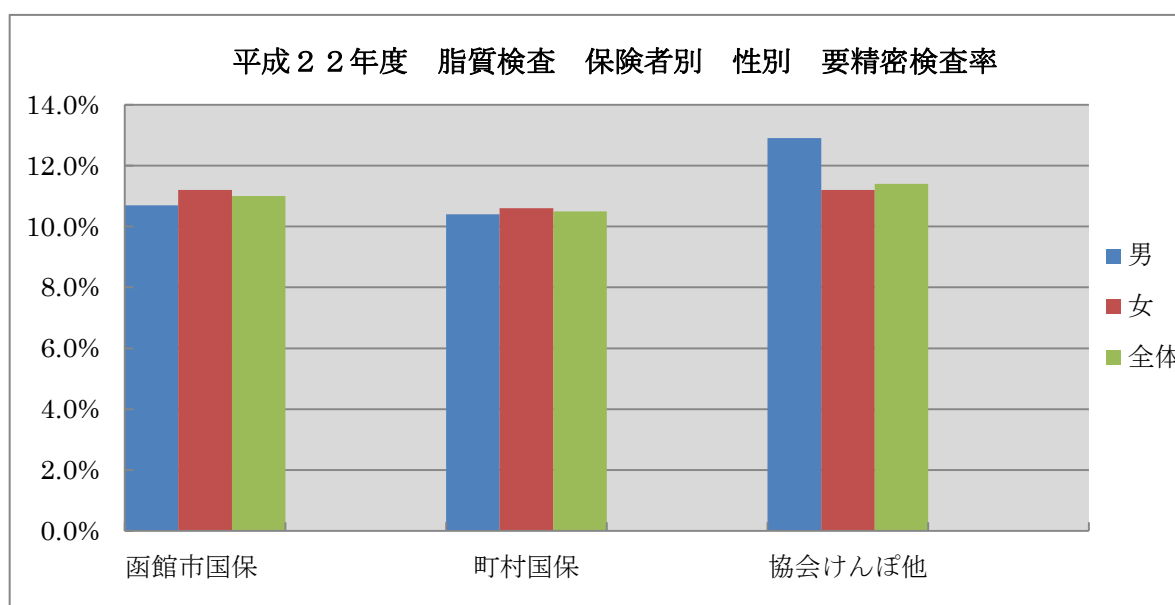
1. 肝機能検査の年齢別要精密検査率は、男女ともに55～59歳で高くなり、その後年齢とともに低下した。



⑦ 脂質検査

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	21.5%	14.5%	22.7%
	女	18.6%	12.8%	16.7%
	全体	19.7%	13.5%	17.5%
要精密検査	男	10.7%	10.4%	12.9%
	女	11.2%	10.6%	11.2%
	全体	11.0%	10.5%	11.4%

1. 脂質検査は、要精密検査が10%前後で大きな男女差はなかった。腹囲・BMI・血圧とは異なる傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	59 29.9%	63 37.5%	62 35.6%	126 36.2%	331 40.3%	685 47.6%	716 49.7%	528 53.9%	2,570 46.1%
ほぼ正常	50 25.4%	29 17.3%	36 20.7%	71 20.4%	177 21.5%	303 21.1%	310 21.5%	226 23.1%	1,202 21.6%
要経過観察	51 25.9%	42 25.0%	41 23.6%	87 25.0%	202 24.6%	315 21.9%	305 21.2%	157 16.0%	1,200 21.5%
要精密検査	37 18.8%	34 20.2%	35 20.1%	64 18.4%	112 13.6%	136 9.5%	111 7.7%	68 6.9%	597 10.7%
計	197	168	174	348	822	1,439	1,442	979	5,569

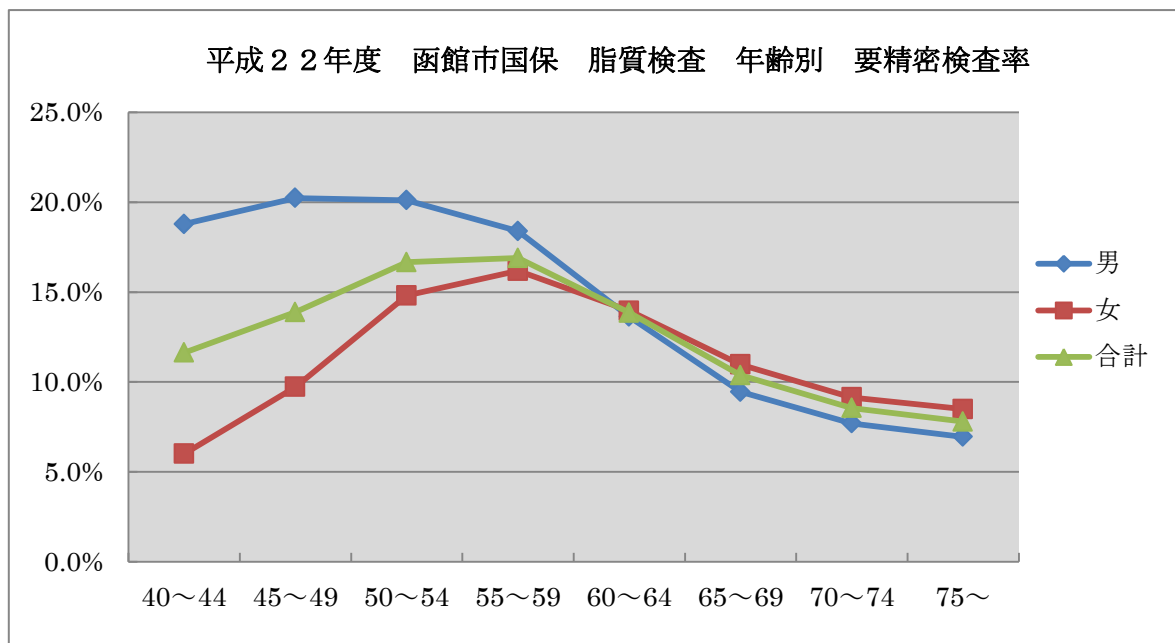
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	158 63.2%	150 58.4%	145 44.8%	304 42.0%	760 44.2%	1,065 48.3%	1,048 49.6%	572 48.6%	4,202 47.9%
ほぼ正常	43 17.2%	43 16.7%	76 23.5%	169 23.4%	359 20.9%	489 22.2%	494 23.4%	285 24.2%	1,958 22.3%
要経過観察	34 13.6%	39 15.2%	55 17.0%	133 18.4%	361 21.0%	409 18.5%	378 38.0%	221 18.8%	1,630 18.6%
要精密検査	15 6.0%	25 9.7%	48 14.8%	117 16.2%	240 14.0%	242 11.0%	193 9.1%	100 8.5%	980 11.2%
計	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,178	8,770

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	217 48.5%	213 50.1%	207 41.6%	430 40.1%	1,091 42.9%	1,750 48.0%	1,764 49.6%	1,100 51.0%	6,772 47.2%
ほぼ正常	93 20.8%	72 16.9%	112 22.5%	240 22.4%	536 21.1%	792 21.7%	804 22.6%	511 23.7%	3,160 22.0%
要経過観察	85 19.0%	81 19.1%	96 19.3%	220 20.5%	563 22.1%	724 137.0%	683 19.2%	378 17.5%	2,830 19.7%
要精密検査	52 11.6%	59 13.9%	83 16.7%	181 16.9%	352 13.8%	378 10.4%	304 8.6%	168 7.8%	1,577 11.0%
計	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,555	2,157	14,339

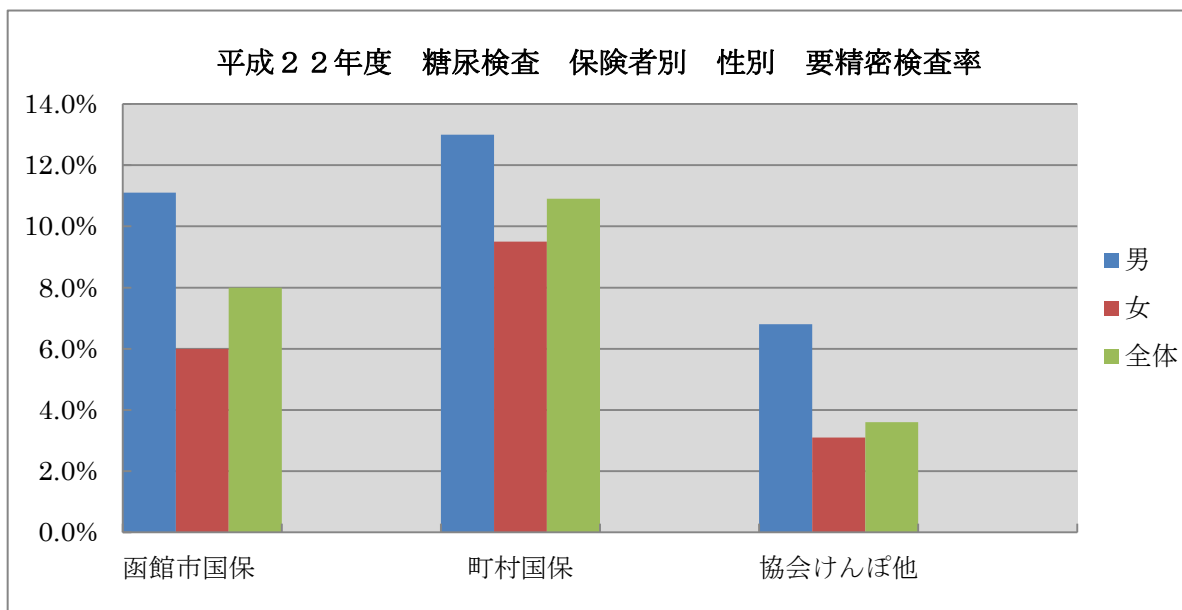
1. 脂質検査の年齢別要精密検査率は、男性は45歳から加齢とともに低下するが、女性は59歳まで上昇した後、加齢とともに低下した。腹囲・BMI・血圧とは異なる傾向であった。



⑧ 糖尿検査

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	3.8%	5.5%	4.3%
	女	3.1%	4.6%	1.2%
	全体	3.3%	5.0%	1.6%
要精密検査	男	11.1%	13.0%	6.8%
	女	6.0%	9.5%	3.1%
	全体	8.0%	10.9%	3.6%

1. 糖尿検査は、要精密検査が全体で3.6%～10.9%、男性の方が女性に比べて高率であった。腹囲・BMI・血圧と同じ傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	182 92.4%	156 92.9%	156 89.7%	302 86.8%	690 83.9%	1,215 84.4%	1,181 81.9%	851 86.9%	4,733 85.0%
ほぼ正常	1 0.5%	1 0.6%	1 0.6%	1 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	8 0.1%
要経過観察	4 2.0%	2 1.2%	6 3.4%	10 2.9%	24 2.9%	62 4.3%	62 4.3%	39 4.0%	209 3.8%
要精密検査	10 5.1%	9 5.4%	11 6.3%	35 10.1%	107 13.0%	161 11.2%	198 13.7%	88 9.0%	619 11.1%
計	197	168	174	348	822	1,439	1,442	979	5,569

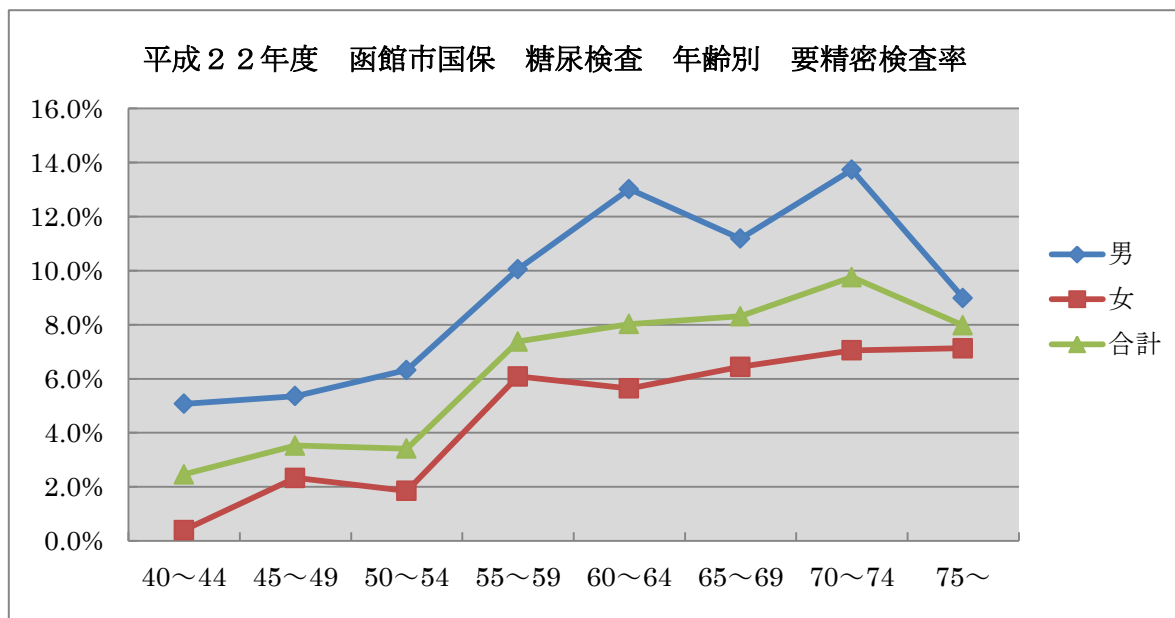
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	246 98.4%	250 97.3%	313 96.6%	672 92.9%	1,569 91.2%	1,991 90.3%	1,883 89.1%	1,042 88.5%	7,966 90.8%
ほぼ正常	2 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.0%	2 0.1%	0 0.0%	6 0.1%
要経過観察	1 0.4%	1 0.4%	5 9.0%	7 28.0%	53 39.0%	71 40.0%	79 5.0%	52 4.4%	269 3.1%
要精密検査	1 0.4%	6 2.3%	6 1.9%	44 6.1%	97 5.6%	142 6.4%	149 7.1%	84 7.1%	529 6.0%
計	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,178	8,770

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	428 95.7%	406 95.5%	469 94.2%	974 90.9%	2,259 88.9%	3,206 88.0%	3,064 86.2%	1,893 87.8%	12,699 88.6%
ほぼ正常	3 0.7%	1 0.2%	1 0.2%	1 0.1%	2 0.1%	2 0.1%	3 0.1%	1 0.0%	14 0.1%
要経過観察	5 1.1%	3 0.7%	11 2.2%	17 1.6%	77 3.0%	133 137.0%	141 4.0%	91 4.2%	478 3.3%
要精密検査	11 2.5%	15 3.5%	17 3.4%	79 7.4%	204 8.0%	303 8.3%	347 9.8%	172 8.0%	1,148 8.0%
計	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,555	2,157	14,339

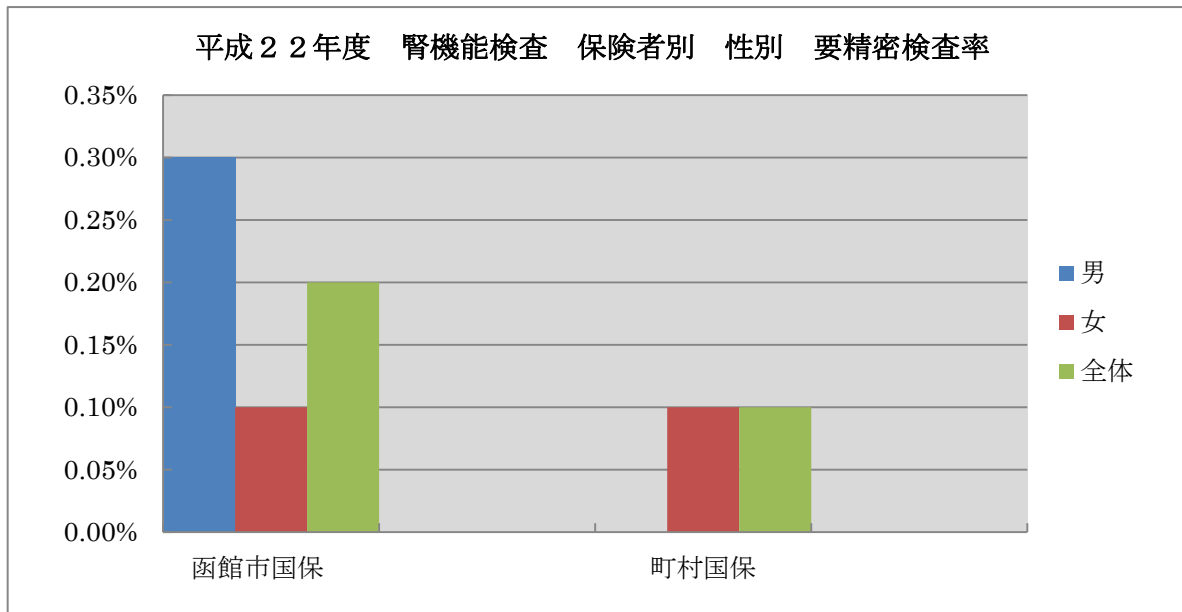
1. 糖尿の年齢別要精密検査率は、男性では55歳～74歳まで上昇し75歳以上でやや低下した。女性は加齢とともに上昇した。



⑨ 腎機能検査

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	3.3%	3.6%	-
	女	1.0%	1.2%	-
	全体	1.9%	2.2%	-
要精密検査	男	0.3%	0.0%	-
	女	0.1%	0.1%	-
	全体	0.2%	0.1%	-

1. 腎機能検査は、要精密検査が国保全体で0.1%~0.2%、函館市では男性が高く、町村では女性が高い。要経過観察では函館市、町村ともに男性が女性に比べ3倍以上高い傾向。協会けんぽその他には、対象項目なし。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~	合計
正常	191 97.0%	161 95.8%	167 96.0%	333 95.7%	770 93.9%	1,306 90.8%	1,280 88.8%	822 84.0%	5,030 90.4%
ほぼ正常	6 3.0%	6 3.6%	4 2.3%	10 2.9%	31 3.8%	88 6.1%	102 7.1%	91 9.3%	338 6.1%
要経過観察	0 0.0%	1 0.6%	3 1.7%	5 1.4%	17 2.1%	38 2.6%	56 3.9%	62 6.3%	182 3.3%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	7 0.5%	4 0.3%	4 0.4%	17 0.3%
計	197	168	174	348	820	1,439	1,442	979	5,567

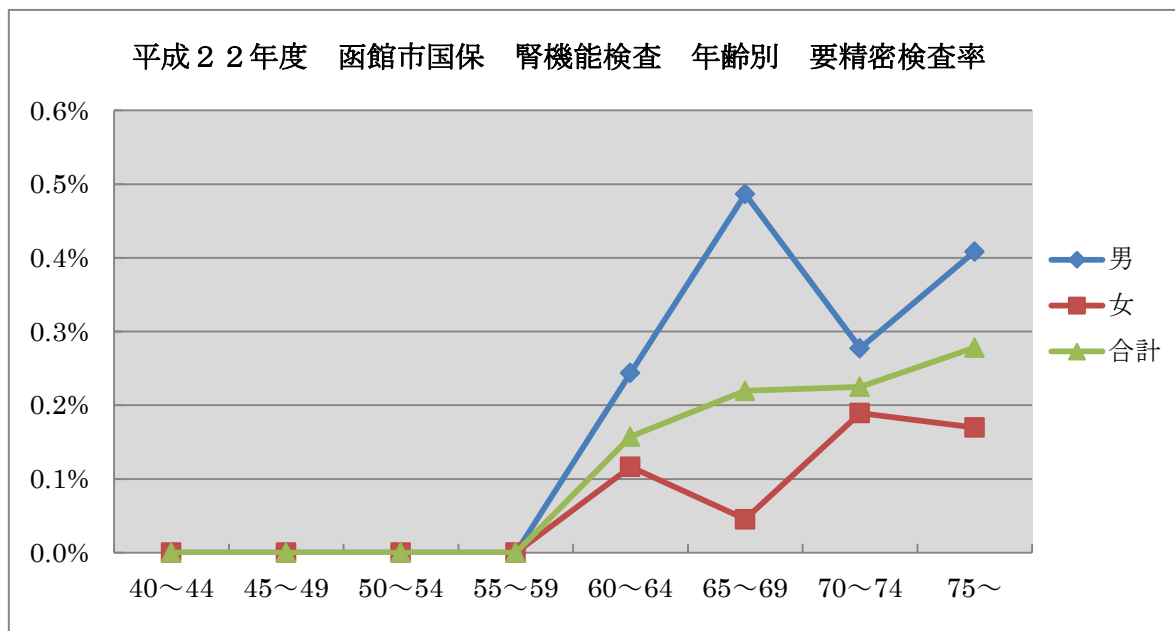
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	246 98.4%	248 96.9%	310 96.0%	707 97.8%	1,643 95.6%	2,062 93.5%	1,918 90.8%	992 84.3%	8,126 93.6%
ほぼ正常	4 1.6%	7 2.7%	11 3.4%	14 1.9%	68 4.0%	127 5.8%	167 7.9%	146 12.4%	465 5.4%
要経過観察	0 0.0%	1 0.4%	2 9.0%	2 28.0%	6 39.0%	15 40.0%	23 5.0%	37 3.1%	86 1.0%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.1%	1 0.0%	4 0.2%	2 0.2%	9 0.1%
計	250	256	323	723	1,719	2,205	2,112	1,177	8,686

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	437 97.8%	409 96.5%	477 96.0%	1,040 97.1%	2,413 95.0%	3,368 92.4%	3,198 90.0%	1,814 84.1%	13,156 91.8%
ほぼ正常	10 2.2%	13 3.1%	15 3.0%	24 2.2%	99 3.9%	215 5.9%	269 7.6%	237 11.0%	882 6.2%
要経過観察	0 0.0%	2 0.5%	5 1.0%	7 0.7%	23 0.9%	53 137.0%	79 2.2%	99 4.6%	268 1.9%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.2%	8 0.2%	8 0.2%	6 0.3%	26 0.2%
計	447	424	497	1,071	2,539	3,644	3,554	2,156	14,332

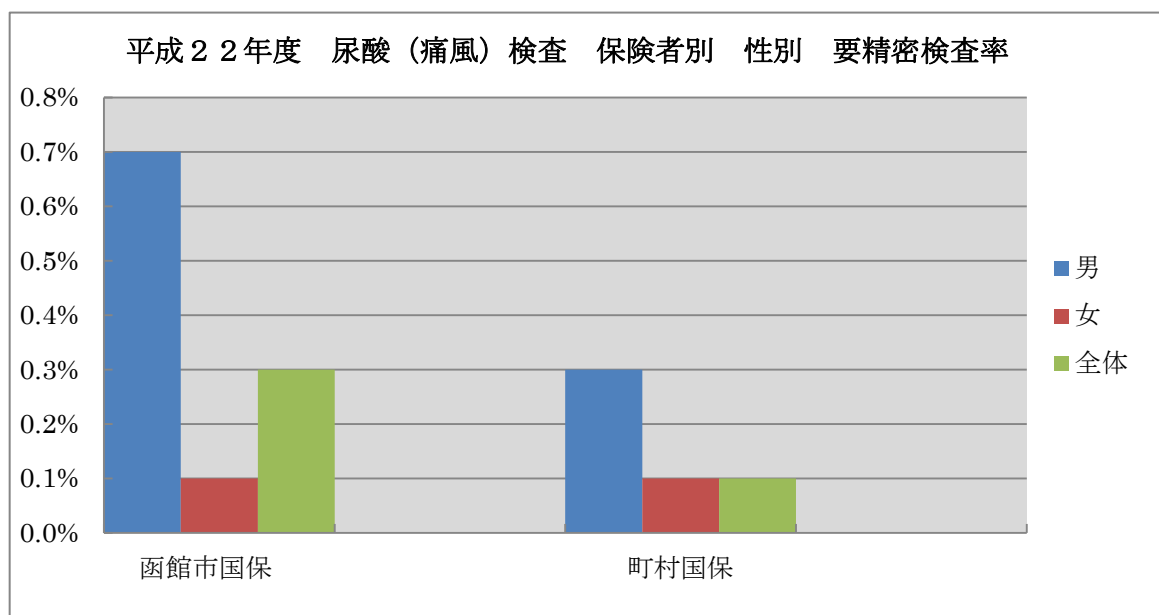
1. 腎機能検査の年齢別要精密検査率は、男女ともに55歳から上昇した。加齢による影響と思われた。



⑩ 尿酸(痛風)検査

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	3.1%	3.9%	-
	女	0.3%	1.2%	-
	全体	1.4%	1.6%	-
要精密検査	男	0.7%	0.3%	-
	女	0.1%	0.1%	-
	全体	0.3%	0.1%	-

1. 尿酸(痛風)は、要精密検査が国保全体で0.1%~0.3%、函館市、町村ともに女性に比べて男性の方が数倍高かった。協会けんぽその他では、対象項目でないため行っていない。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~	合計
正常	153 77.7%	125 74.4%	131 75.3%	281 80.7%	658 80.2%	1,193 82.9%	1,183 82.0%	823 84.1%	4,547 81.7%
ほぼ正常	30 15.2%	34 20.2%	38 21.8%	49 14.1%	123 15.0%	206 14.3%	206 14.3%	127 13.0%	813 14.6%
要経過観察	11 5.6%	7 4.2%	5 2.9%	16 4.6%	28 3.4%	35 2.4%	46 3.2%	22 2.2%	170 3.1%
要精密検査	3 1.5%	2 1.2%	0 0.0%	2 0.6%	11 1.3%	5 0.3%	7 0.5%	7 0.7%	37 0.7%
計	197	168	174	348	820	1,439	1,442	979	5,567

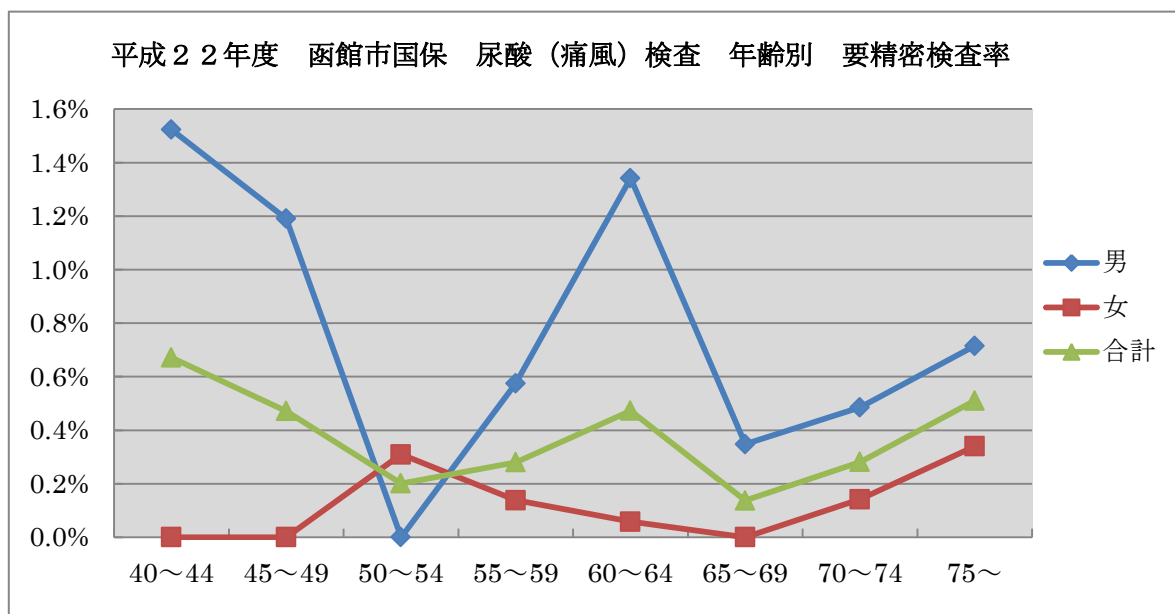
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	234 93.6%	246 96.1%	308 95.4%	702 97.1%	1,674 97.4%	2,129 96.6%	2,038 96.5%	1,124 95.5%	8,455 96.5%
ほぼ正常	15 6.0%	10 3.9%	13 4.0%	18 2.5%	41 2.4%	72 3.3%	67 3.2%	39 3.3%	275 3.1%
要経過観察	1 0.4%	0 0.0%	1 9.0%	2 28.0%	3 39.0%	4 40.0%	5 5.0%	10 0.8%	26 0.3%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	3 0.1%	4 0.3%	10 0.1%
計	250	256	323	723	1,719	2,205	2,113	1,177	8,766

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	387 86.6%	371 87.5%	439 88.3%	983 91.8%	2,332 91.8%	3,322 91.2%	3,221 90.6%	1,947 90.3%	13,002 90.7%
ほぼ正常	45 10.1%	44 10.4%	51 10.3%	67 6.3%	164 6.5%	278 7.6%	273 7.7%	166 7.7%	1,088 7.6%
要経過観察	12 2.7%	7 1.7%	6 1.2%	18 1.7%	31 1.2%	39 137.0%	51 1.4%	32 1.5%	196 1.4%
要精密検査	3 0.7%	2 0.5%	1 0.2%	3 0.3%	12 0.5%	5 0.1%	10 0.3%	11 0.5%	47 0.3%
計	447	424	497	1,071	2,539	3,644	3,555	2,156	14,333

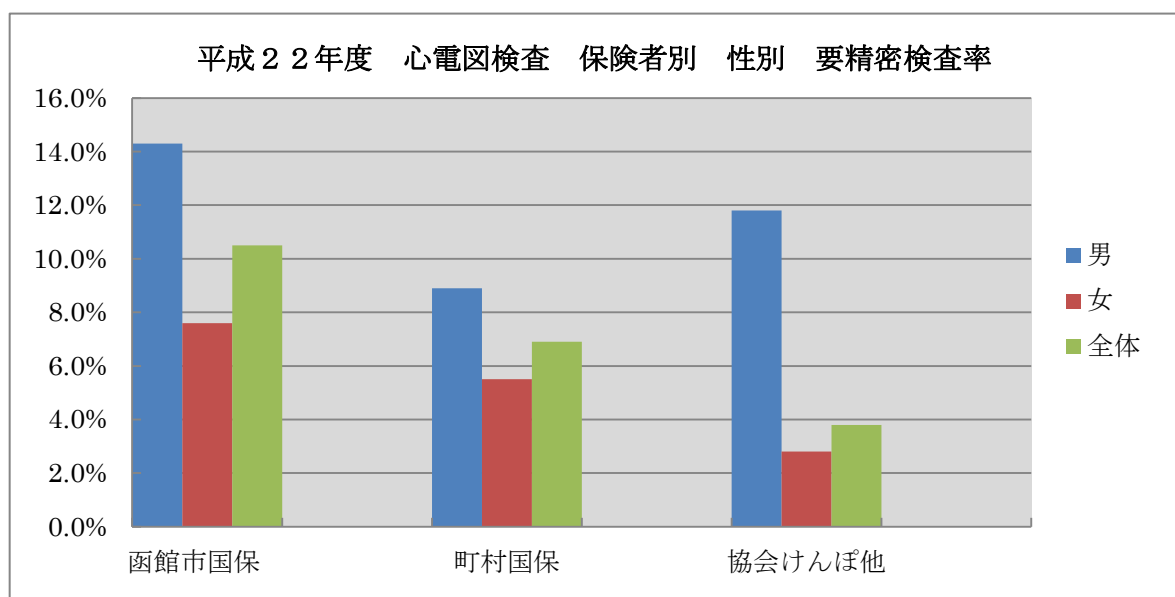
1. 尿酸(痛風)検査の年齢別要精密検査率は、男性では大きく上下していた。女性では、50～44歳で一旦上がった後、69歳まで徐々に下がり、70歳から再び上昇していた。



⑪ 心電図検査

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	8.4%	4.9%	5.9%
	女	8.3%	2.9%	5.0%
	全体	8.3%	3.8%	5.1%
要精密検査	男	14.3%	8.9%	11.8%
	女	7.6%	5.5%	2.8%
	全体	10.5%	6.9%	3.8%

1. 心電図検査は、要精密検査が函館市国保 10.5%、町村 6.9%、協会けんぽ 3.8%であった。函館市、町村、協会けんぽともに男性の方が女性に比べ高い傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	1 50.0%	4 100.0%	4 57.1%	8 66.7%	21 72.4%	349 70.8%	339 62.9%	262 56.6%	988 63.8%
ほぼ正常	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	3 25.0%	3 10.3%	58 11.8%	70 13.0%	74 16.0%	209 13.5%
要経過観察	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 3.4%	27 5.5%	42 7.8%	58 12.5%	130 8.4%
要精密検査	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	4 13.8%	59 12.0%	88 16.3%	69 14.9%	222 14.3%
計	2	4	7	12	29	493	539	463	1,549

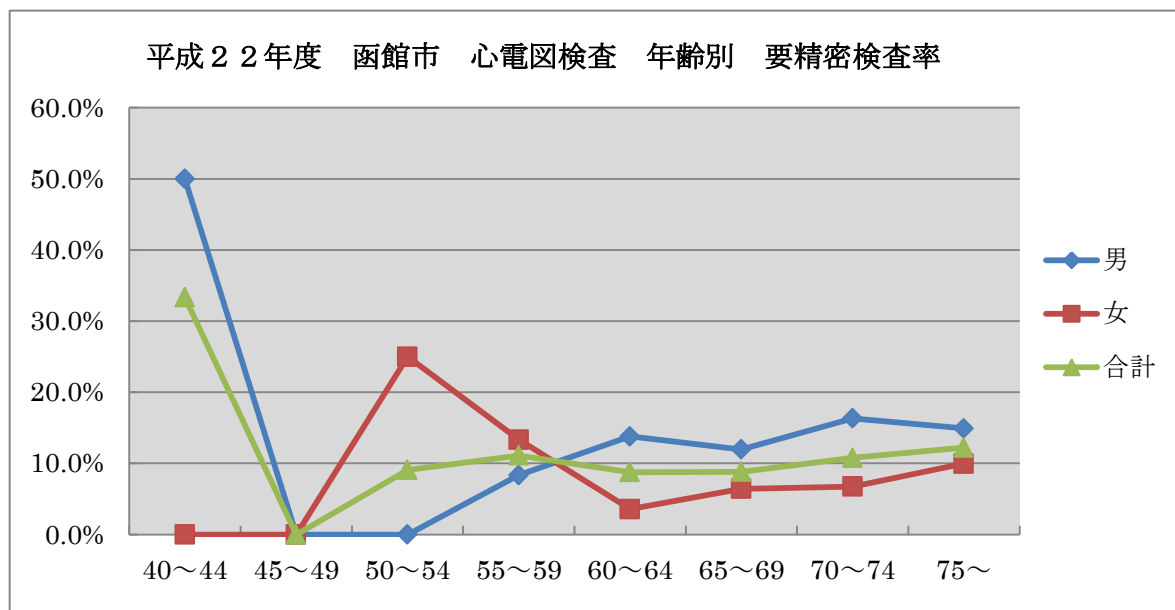
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	0 0.0%	1 100.0%	2 50.0%	11 73.3%	25 89.3%	525 80.3%	559 75.4%	369 66.8%	1,492 74.7%
ほぼ正常	1 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 6.7%	2 7.1%	44 6.7%	77 10.4%	62 11.2%	188 9.4%
要経過観察	0 0.0%	0 0.0%	0 9.0%	1 28.0%	0 39.0%	43 40.0%	55 5.0%	66 12.0%	165 8.3%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 13.3%	1 3.6%	42 6.4%	50 6.7%	55 10.0%	151 7.6%
計	1	1	4	15	28	654	741	552	1,996

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	1 33.3%	5 100.0%	6 54.5%	19 70.4%	46 80.7%	874 76.2%	898 70.2%	631 62.2%	2,480 70.0%
ほぼ正常	1 33.3%	0 0.0%	2 18.2%	4 14.8%	5 8.8%	102 8.9%	147 11.5%	136 13.4%	397 11.2%
要経過観察	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	1 3.7%	1 1.8%	70 137.0%	97 7.6%	124 12.2%	295 8.3%
要精密検査	1 33.3%	0 0.0%	1 9.1%	3 11.1%	5 8.8%	101 8.8%	138 10.8%	124 12.2%	373 10.5%
計	3	5	11	27	57	1,147	1,280	1,015	3,545

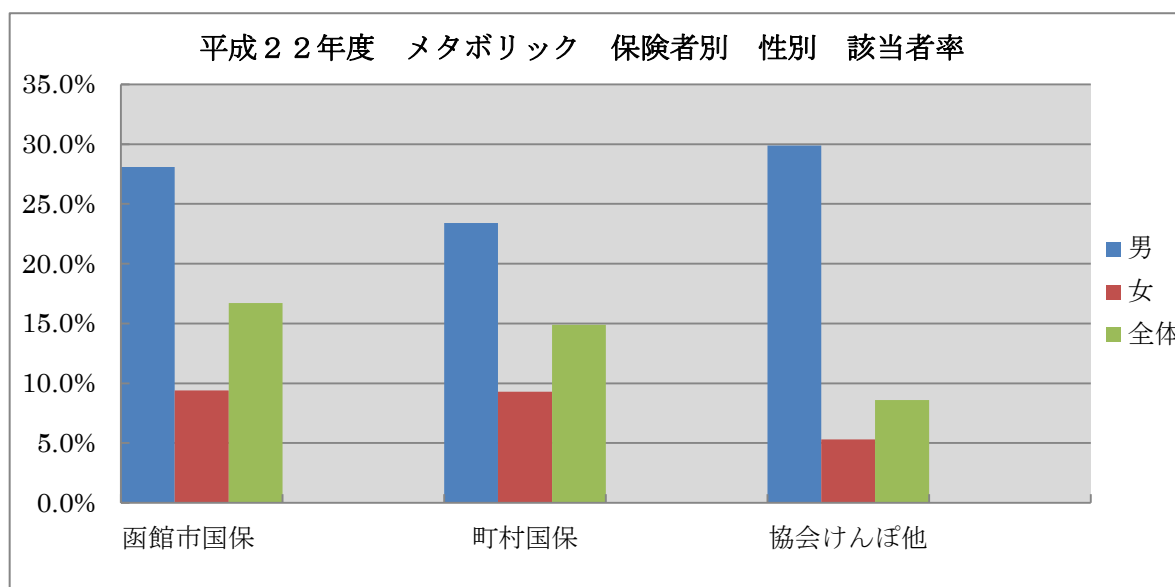
1. 心電図検査の年齢別要精密検査率は、男女とも60歳以降緩やかに上昇していた。60歳以下は実施人数が少なく参考データである。



⑫ メタボリックシンドローム

		函館市国保	町村国保	協会けんぽ他
予備群	男	15.7%	17.7%	19.1%
	女	5.0%	6.6%	3.8%
	全体	9.2%	11.0%	5.9%
該当者	男	28.1%	23.4%	29.9%
	女	9.4%	9.3%	5.3%
	全体	16.7%	14.9%	8.6%

1. メタボ予備群は、函館市国保は9.2%、町村は11.0%、協会けんぽ他は5.9%であった。メタボ該当者は、全体で函館市国保は16.7%、町村は14.9%、協会けんぽ他は5.6%であった。国保に比べ協会けんぽが低いのは、対象年齢群の差と女性が多いことが要因と考えられた。性差は、メタボ該当者では女性に比べ男性が数倍多かった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
非該当	110 55.8%	102 60.7%	97 55.7%	194 55.7%	432 52.6%	822 57.1%	781 54.1%	589 60.2%	3,127 56.1%
予備軍	38 19.3%	28 3.2%	30 3.4%	54 6.2%	138 15.7%	226 25.8%	221 25.2%	142 16.2%	877 15.7%
該当	49 24.9%	38 22.6%	47 27.0%	100 28.7%	252 30.7%	391 27.2%	441 30.6%	248 25.3%	1,566 28.1%
計	197	168	174	348	822	1,439	1,443	979	5,570

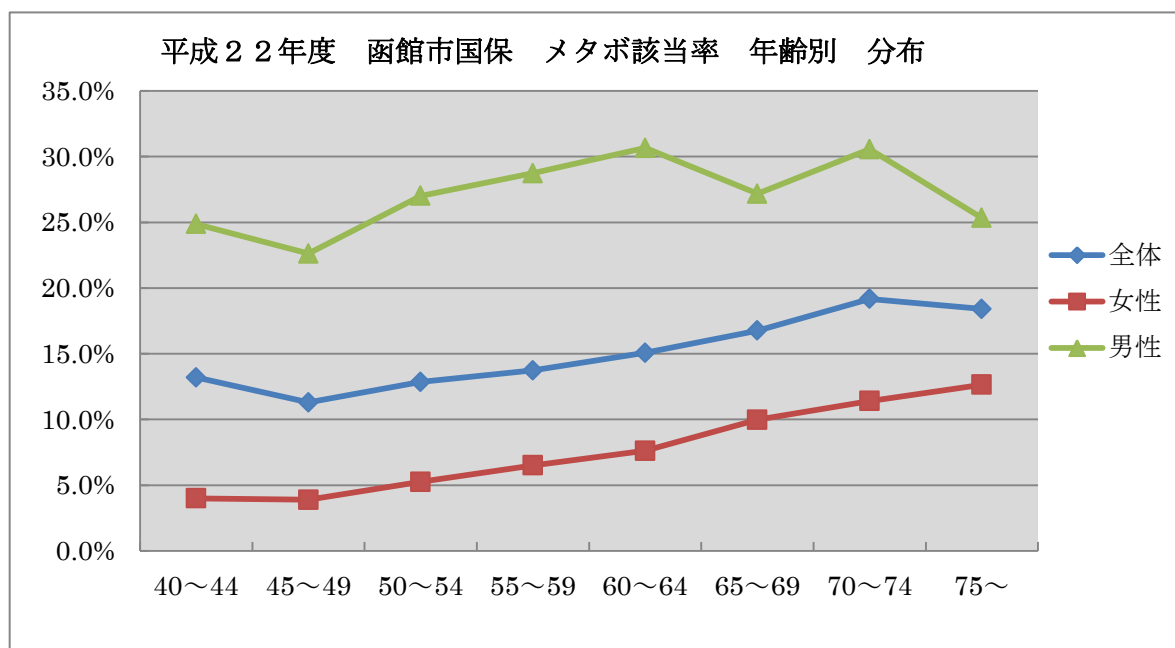
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
非該当	227 90.8%	240 93.4%	290 89.5%	648 89.6%	1,515 88.1%	1,880 85.3%	1,747 82.7%	960 81.5%	7,507 85.6%
予備軍	13 5.2%	7 2.7%	17 5.2%	28 3.9%	74 4.3%	105 4.8%	125 5.9%	69 5.9%	438 5.0%
該当	10 4.0%	10 3.9%	17 5.2%	47 6.5%	131 7.6%	220 10.0%	241 11.4%	149 12.6%	825 9.4%
計	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,178	8,770

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
非該当	337 75.4%	342 80.5%	387 77.7%	842 78.6%	1,947 76.6%	2,702 74.1%	2,528 71.1%	1,549 71.8%	10,634 74.2%
予備軍	51 11.4%	35 8.2%	47 9.4%	82 7.7%	212 8.3%	331 9.1%	346 9.7%	211 9.8%	1,315 9.2%
該当	59 13.2%	48 11.3%	64 12.9%	147 13.7%	383 15.1%	611 16.8%	682 19.2%	397 18.4%	2,391 16.7%
計	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,556	2,157	14,340

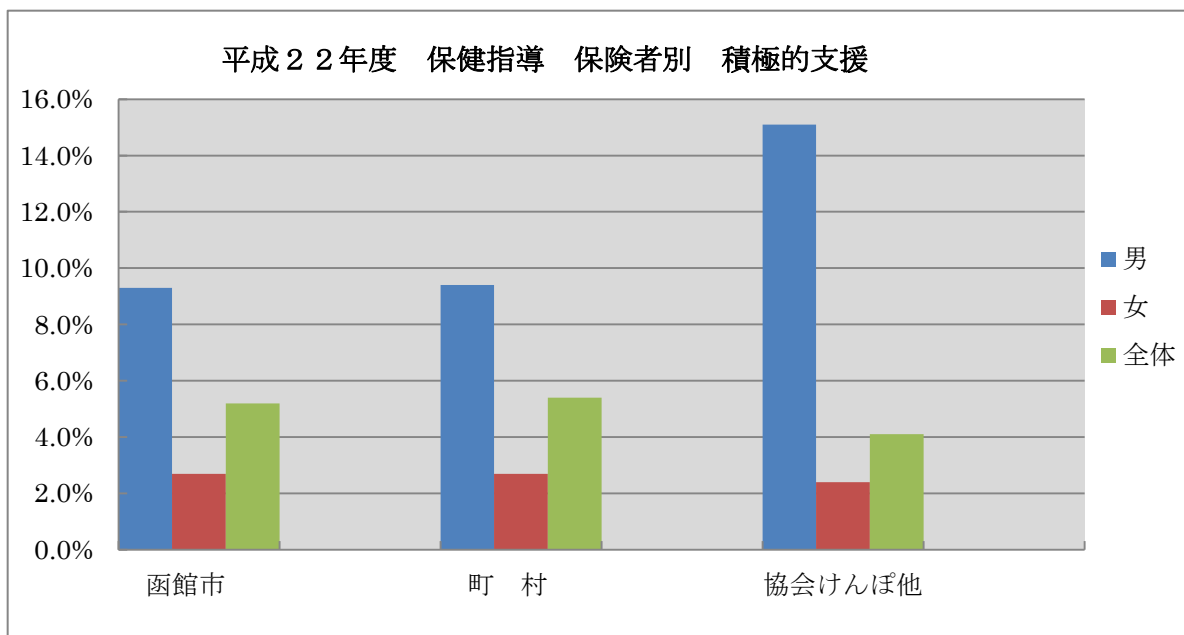
1. メタボ該当率は、全体 16.7%、男性 28.1%、女性 9.4%であった。男性が女性の約3倍高率であった。
2. 年齢別では、男女とも加齢とともに上昇し、75歳以上で男性が下がる傾向であった。腹囲と同じ傾向であった。



⑬ 保健指導

		函館市 国保・後期高齢	町 村 国保・後期高齢	協会けんぽ他
動機付支援	男	13.5%	12.0%	14.0%
	女	7.1%	7.5%	6.7%
	全体	9.6%	9.3%	7.7%
積極的支援	男	9.3%	9.4%	15.1%
	女	2.7%	2.7%	2.4%
	全体	5.2%	5.4%	4.1%

1. 動機付支援は8%前後、積極的支援は5%前後であった。性差は、積極的支援で女性に比べて男性の方が4倍以上高い傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
情報提供	116 58.9%	114 67.9%	120 69.0%	239 68.7%	604 73.5%	1,143 79.4%	1,183 82.0%	782 79.9%	4,301 77.2%
動機付	19 9.6%	18 10.7%	10 5.7%	25 7.2%	76 9.2%	296 20.6%	237 16.4%	69 7.0%	750 13.5%
積極的	62 31.5%	36 21.4%	44 25.3%	84 24.1%	142 17.3%	0 0.0%	23 1.6%	128 13.1%	519 9.3%
計	197	168	174	348	822	1,439	1,443	979	5,570

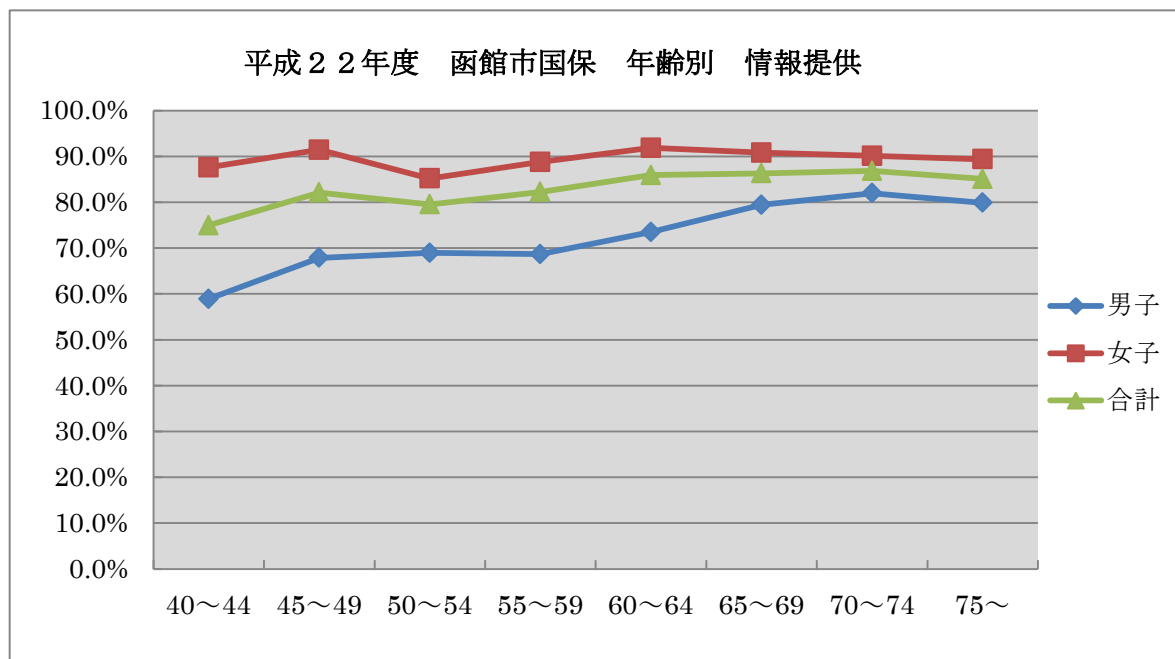
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
情報提供	219 87.6%	235 91.4%	276 85.2%	642 88.8%	1,580 91.9%	2,002 90.8%	1,904 90.1%	1,053 89.4%	7,911 90.2%
動機付	16 6.4%	12 4.7%	23 7.1%	44 6.1%	69 4.0%	203 9.2%	202 9.6%	57 4.8%	626 7.1%
積極的	15 6.0%	10 3.9%	25 7.7%	37 5.1%	71 4.1%	0 0.0%	7 0.3%	68 5.8%	233 2.7%
計	250	257	324	723	1,720	2,205	2,113	1,178	8,770

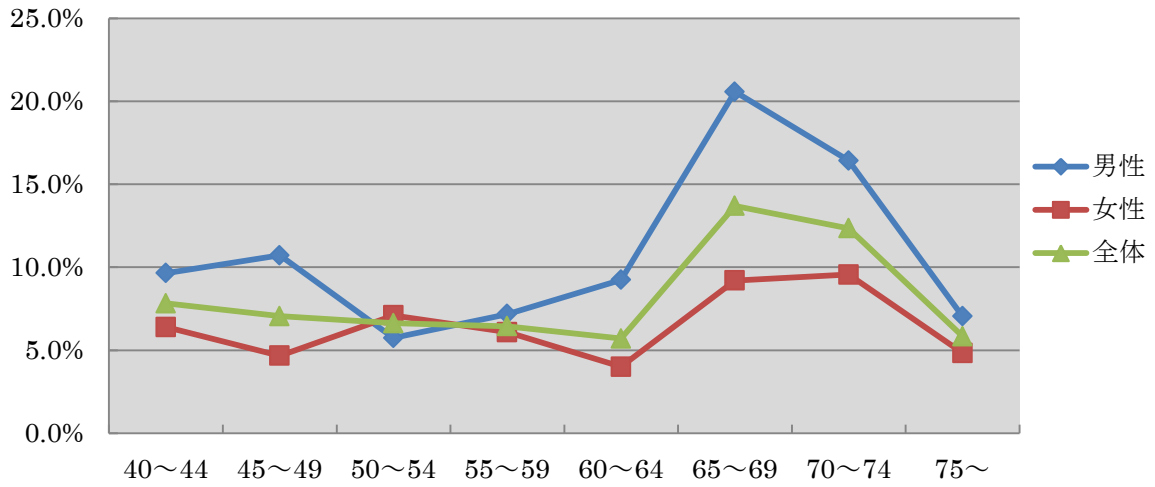
合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
情報提供	335 74.9%	349 82.1%	396 79.5%	881 82.3%	2,184 85.9%	3,145 86.3%	3,087 86.8%	1,835 85.1%	12,212 85.2%
動機付	35 7.8%	30 7.1%	33 6.6%	69 6.4%	145 5.7%	499 13.7%	439 12.3%	126 5.8%	1,376 9.6%
積極的	77 17.2%	46 10.8%	69 13.9%	121 11.3%	213 8.4%	0 0.0%	30 0.8%	196 9.1%	752 5.2%
計	447	425	498	1,071	2,542	3,644	3,556	2,157	14,340

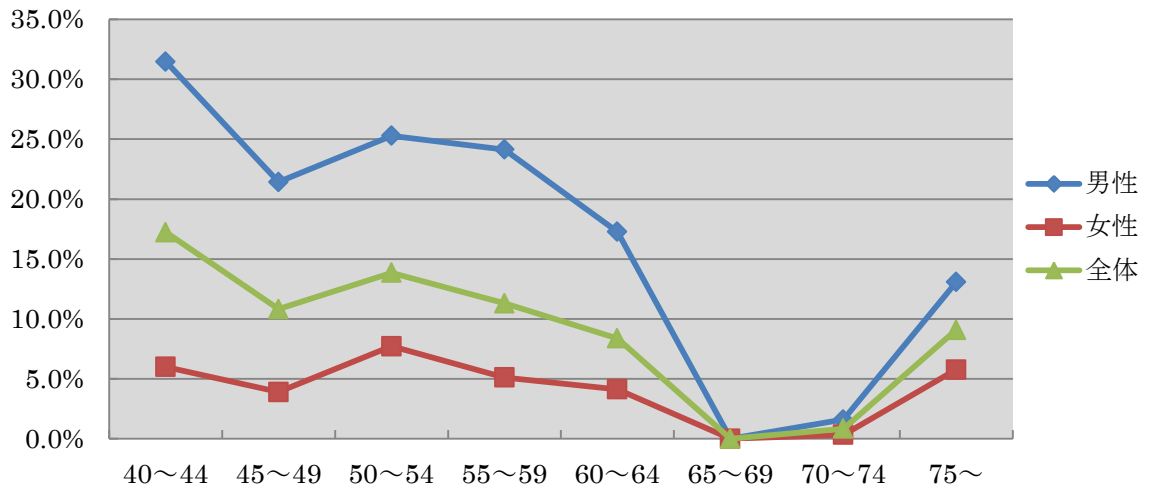
1. 情報提供は、男性 77.2%、女性 90.2%、動機付支援は、男性 13.5%、女性 7.1%、積極的支援は、男性 9.3%、女性 2.7%であった。動機付、積極支援ともに女性よりも男性が多い傾向であった。
2. 年齢別では、動機付支援は男女ともに 65 歳から上昇、男性は 65～69 歳で最大となり以後低下した。女性は 70～74 歳で最大となり以後低下した。積極的支援は男女とも年齢とともに減少し、70 歳以上で上昇した。65 歳から 74 歳までの動機付支援の増加分が積極的支援の減少分に相当すると考えられた。その原因は生活習慣の改善や治療に伴う改善が関係していると考えられる。



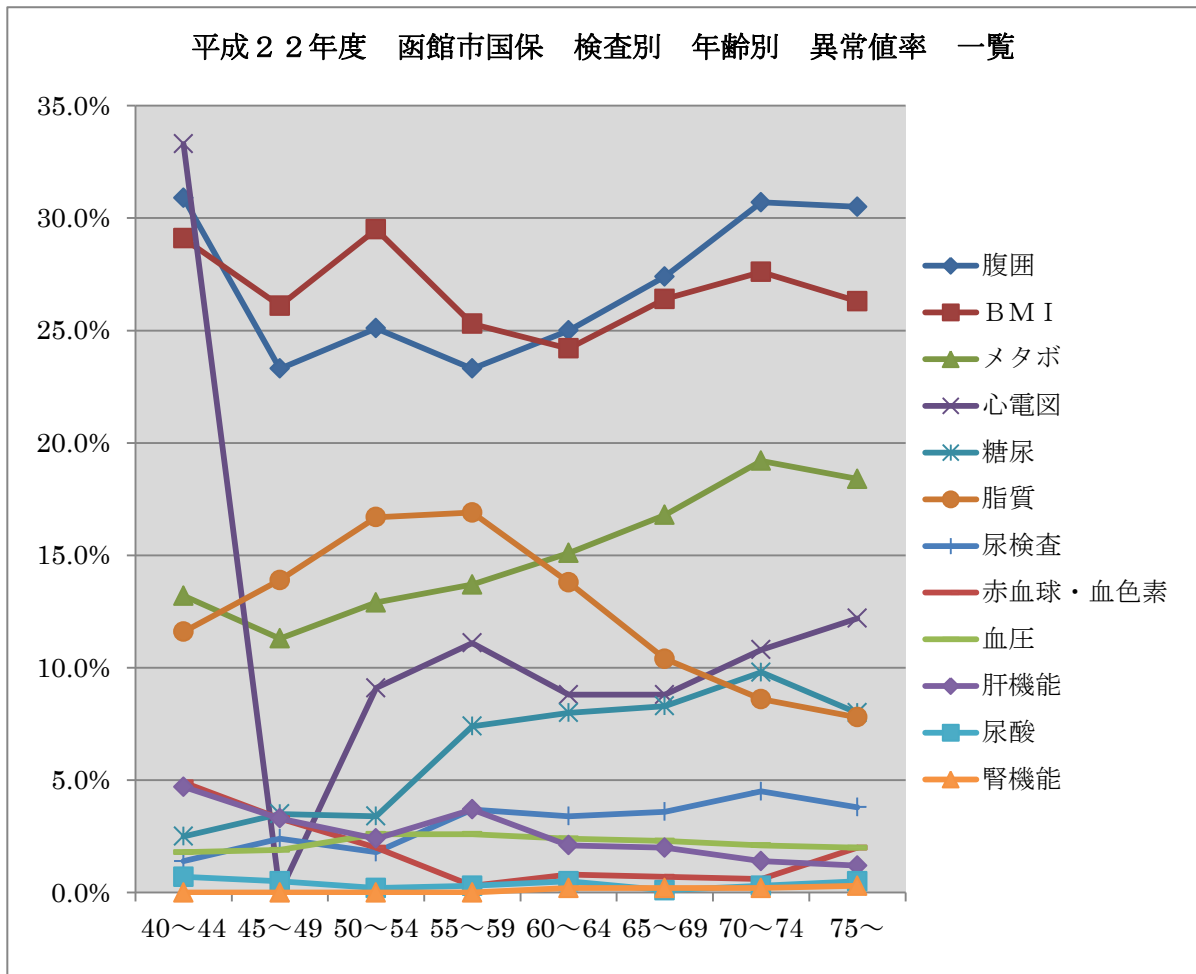
平成22年度 函館市国保 年齢別 動機付支援



平成22年度 函館市国保 年齢別 積極的支援



⑭ 函館市国保・後期高齢者 検査別 年齢別 異常値(要精密)率 一覧



1. 腹囲・メタボ判定・糖尿・尿検査は加齢とともに上昇していた。
2. 血圧検査は、50～54歳まで上昇し、その後低下した。
3. 脂質検査・肝機能検査は、50歳～59歳まで上昇し、その後低下した。
4. 赤血球数・血色素量は、40歳～45歳をピークに下降した。
5. 心電図検査は、基本的には加齢とともに上昇した。
6. 腎機能検査・尿酸値は、要精密検査率が4%以下で年齢による変化は少なかった。

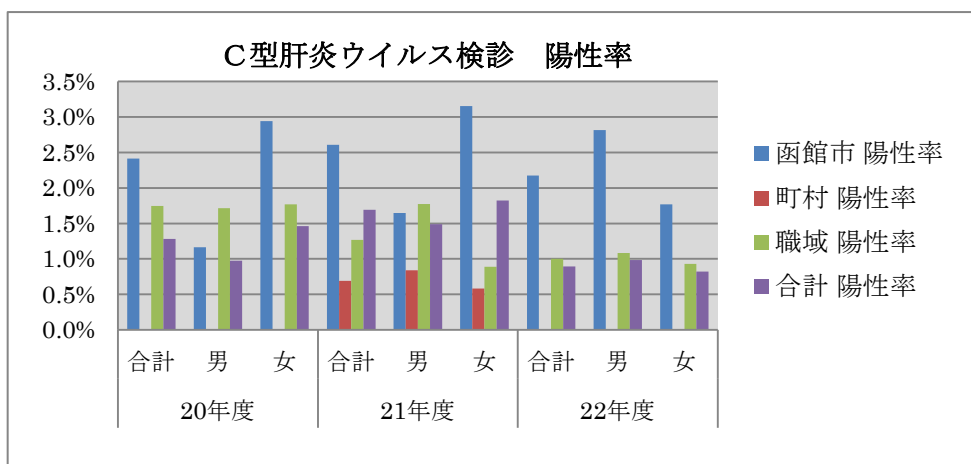
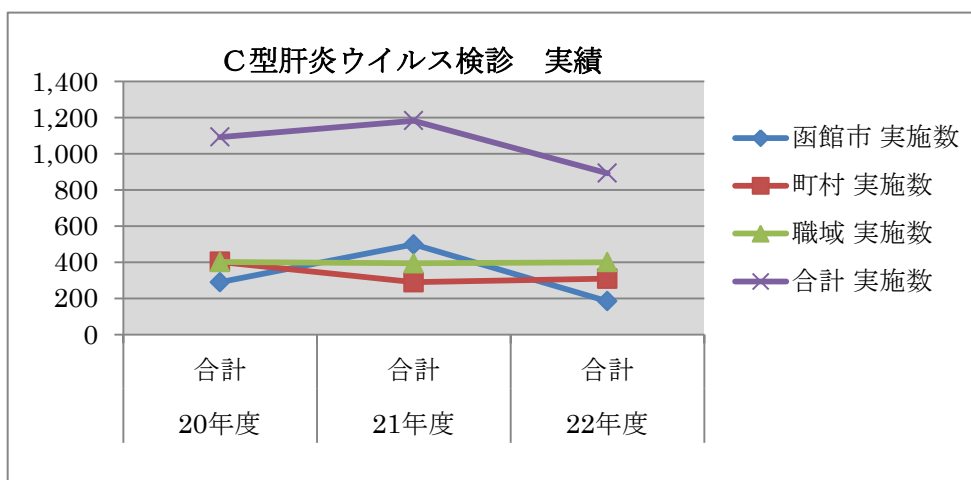
Ⅱ. 肝炎ウイルス検診・H I V検診・結核検診・がん検診

1. C型肝炎ウイルス検診

測定方法：CLIA法 判定基準：陰性 1.0 C.O.I 未満、陽性 1.0 C.O.I 以上

	函館市			町村			職域			合計		
	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率
20年度 合計	290	8	2.4%	402	0	0.0%	401	7	1.7%	1,093	14	1.3%
男	86	1	1.2%	149	0	0.0%	175	3	1.7%	410	4	1.0%
女	204	6	2.9%	253	0	0.0%	226	4	1.8%	683	10	1.5%
21年度 合計	499	13	2.6%	290	2	0.7%	394	5	1.3%	1,183	20	1.7%
男	182	3	1.6%	119	1	0.8%	169	3	1.8%	470	7	1.5%
女	317	10	3.2%	171	1	0.6%	225	2	0.9%	713	13	1.8%
22年度 合計	184	4	2.2%	309	0	0.0%	400	4	1.0%	893	8	0.9%
男	71	2	2.8%	150	0	0.0%	185	2	1.1%	406	4	1.0%
女	113	2	1.8%	159	0	0.0%	215	2	0.9%	487	4	0.8%

1. C型肝炎検診は、函館市で前年比 315 人減、町村 19 人増、職域 6 名増、合計 290 人減であった。
2. 陽性率は、函館市 2.2%、町村 0.0%、職域 1.0%、合計 0.9%であった。函館では男性が女性に比べ陽性率が高かった。

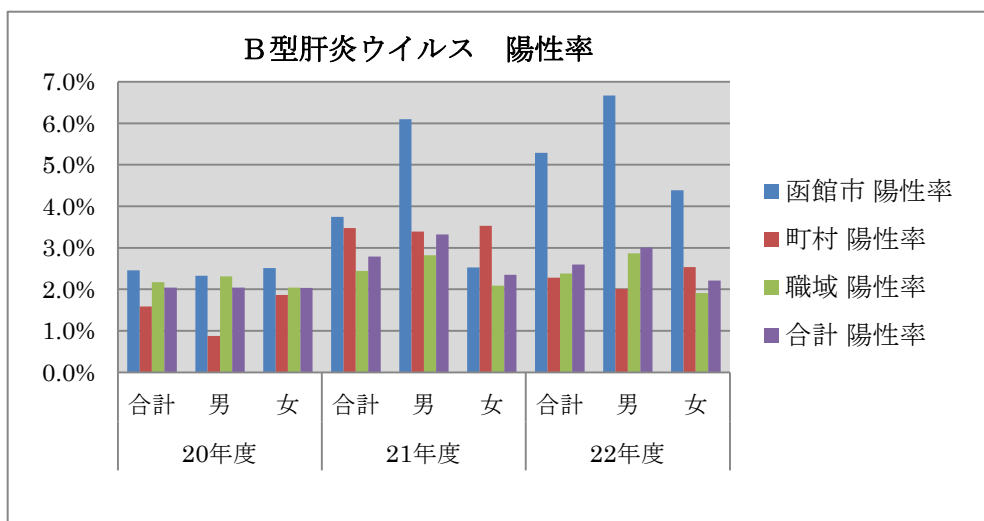
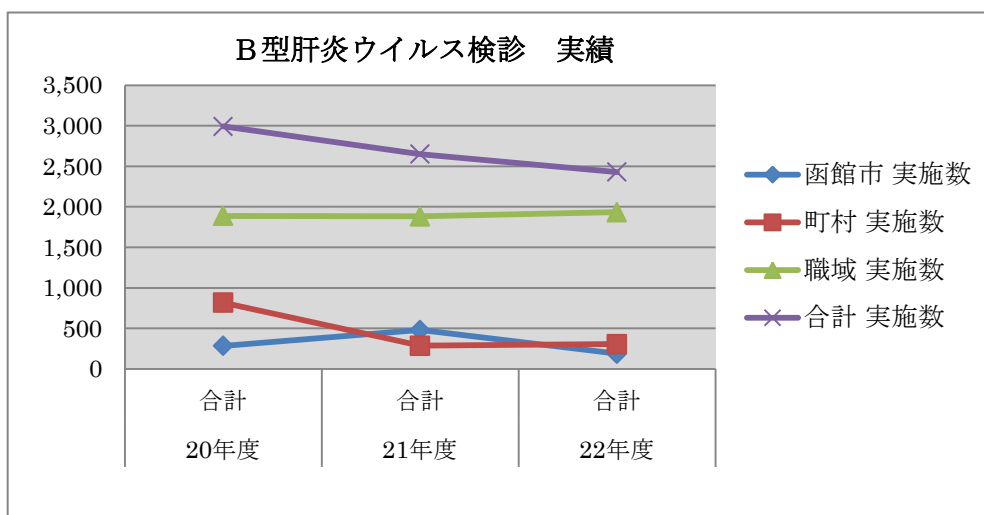


2. B型肝炎ウイルス検診

測定方法：CLEIA法 判定基準：陰性 1.0 C.O.I 未満、陽性 1.0 C.O.I 以上

	函館市			町村			職域			合計		
	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率
20年度 合計	285	7	2.5%	818	13	1.6%	1,889	41	2.2%	2,992	61	2.0%
男	86	2	2.3%	228	2	0.9%	910	21	2.3%	1,224	25	2.0%
女	199	5	2.5%	590	11	1.9%	979	20	2.0%	1,768	36	2.0%
21年度 合計	481	18	3.7%	288	10	3.5%	1,882	46	2.4%	2,651	74	2.8%
男	164	10	6.1%	118	4	3.4%	922	26	2.8%	1,204	40	3.3%
女	317	8	2.5%	170	6	3.5%	960	20	2.1%	1,447	34	2.3%
22年度 合計	189	10	5.3%	307	7	2.3%	1,934	46	2.4%	2,430	63	2.6%
男	75	5	6.7%	149	3	2.0%	941	27	2.9%	1,165	35	3.0%
女	114	5	4.4%	158	4	2.5%	993	19	1.9%	1,265	28	2.2%

1. B型肝炎ウイルス実施数は、函館市で前年比381人減、町村19人増、職域52名増、合計221人減であった。
2. 陽性率は、函館市4.1%、町村2.3%、職域2.4%、合計2.6%であった。函館市では男女差があるが、町村・職域では差が認められなかった。

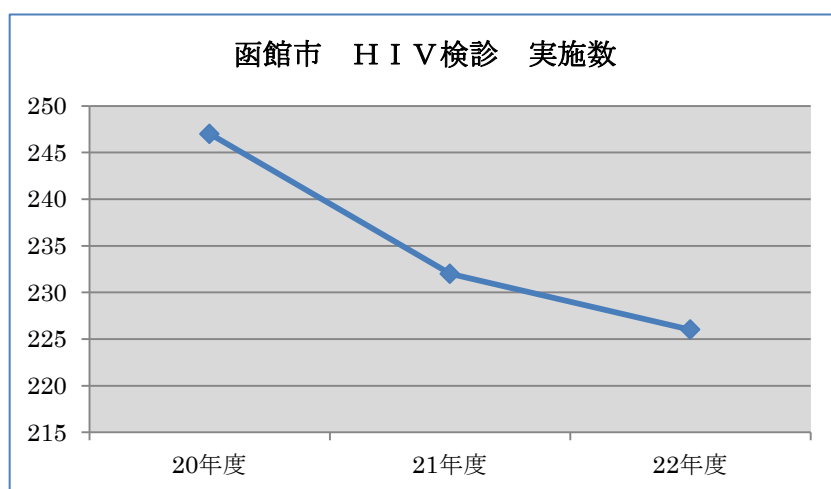


3. HIV検診

測定方法：CLEIA法 判定基準：陰性1.0未満、要精密検査1.0以上

	函館市			町村			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度	247	0	0.0%	0	0		0	0		0	0	
21年度	232	1	0.4%	0	0		0	0		0	0	
22年度	226	1	0.4%	0	0		0	0		0	0	

1. HIV検診実施数は、年々減少していた。
2. 要精検率は0.0%~0.4%であり、21年度・22年度は要精検者は1名であった。

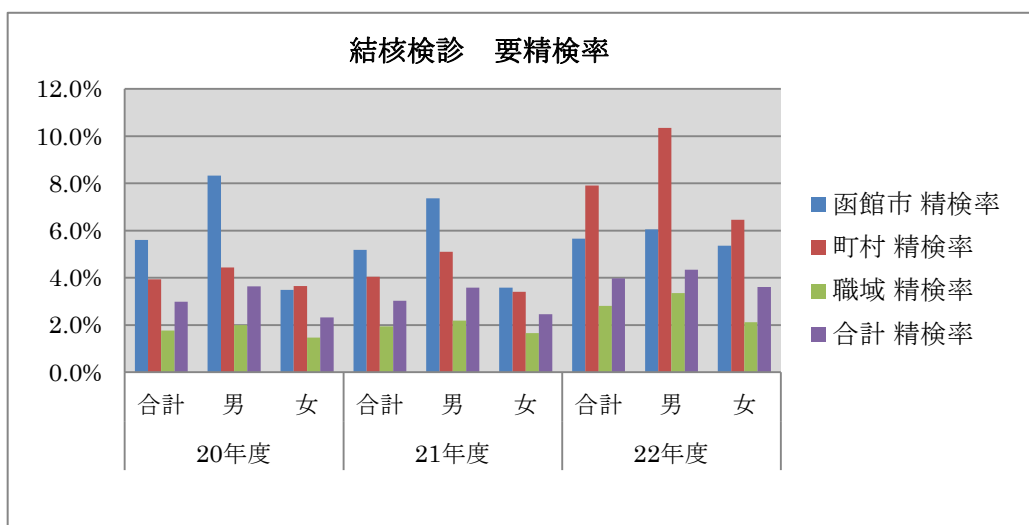
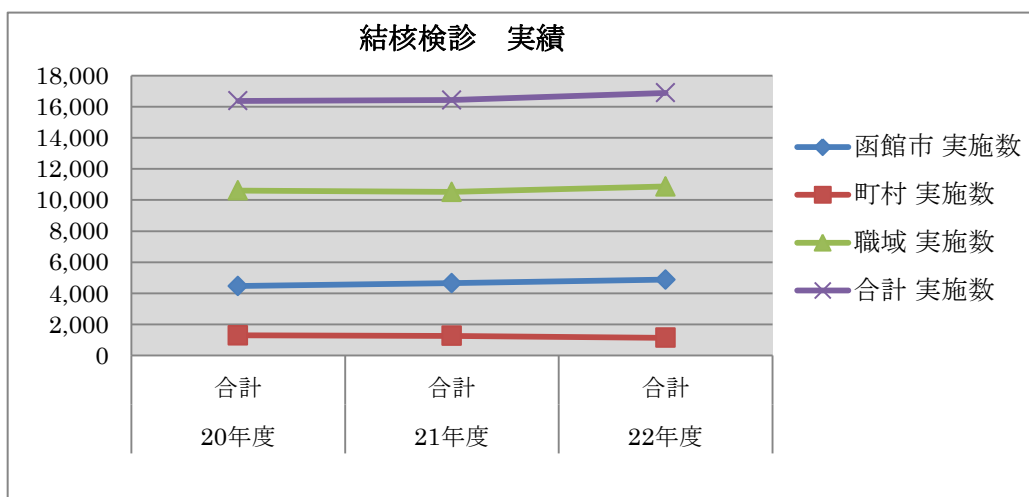


4. 結核検診

検査方法：胸部X線間接撮影

	函館市			町村			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	4,465	250	5.6%	1,294	51	3.9%	10,615	187	1.8%	16,374	488	3.0%
男	1,944	162	8.3%	473	21	4.4%	5,843	117	2.0%	8,260	300	3.6%
女	2,521	88	3.5%	821	30	3.7%	4,772	70	1.5%	8,114	188	2.3%
21年度 合計	4,647	241	5.2%	1,263	51	4.0%	10,521	205	1.9%	16,431	497	3.0%
男	1,969	145	7.4%	471	24	5.1%	5,858	128	2.2%	8,298	297	3.6%
女	2,678	96	3.6%	792	27	3.4%	4,663	77	1.7%	8,133	200	2.5%
22年度 合計	4,883	276	5.7%	1,138	90	7.9%	10,868	306	2.8%	16,889	672	4.0%
男	2,048	124	6.1%	425	44	10.4%	6,148	206	3.4%	8,621	374	4.3%
女	2,835	152	5.4%	713	46	6.5%	4,720	100	2.1%	8,268	298	3.6%

1. 結核検診実施数は、函館市で前年比236人増、町村125人減、職域347名増、合計458人増であった。
2. 要精検率は、函館市5.7%、町村7.9%、職域2.8%、合計4.0%と前年と変化はなかった。女性に比べて男性の方が高かった。

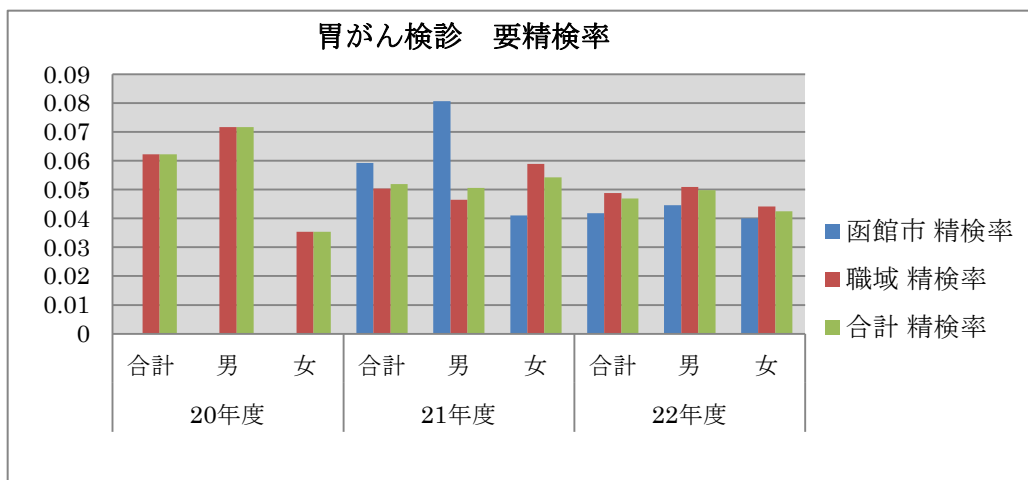
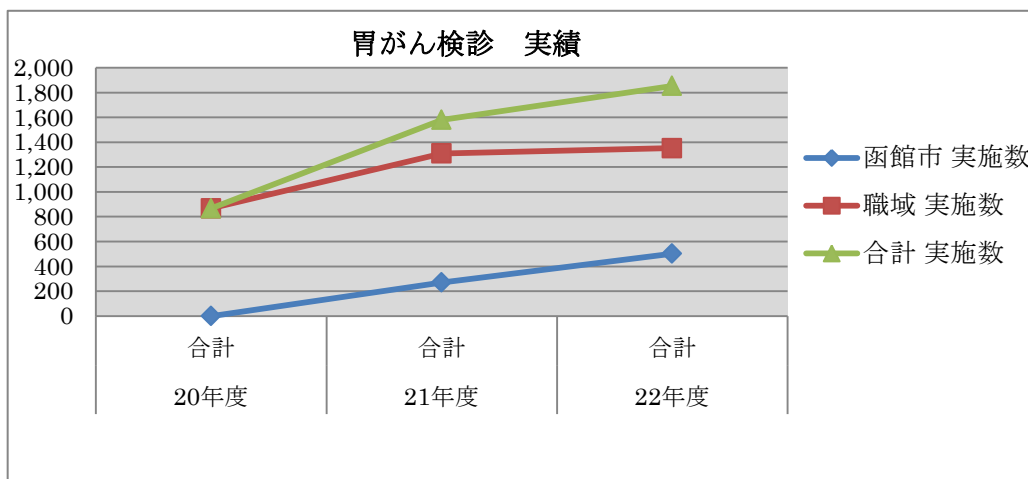


5. 胃がん検診

検査方法：胃部X線間接撮影

	函館市			町村			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	0	0		0	0		868	54	6.2%	868	54	6.2%
男							642	46	7.2%	642	46	7.2%
女							226	8	3.5%	226	8	3.5%
21年度 合計	270	16	5.9%	0	0		1,310	66	5.0%	1,580	82	5.2%
男	124	10	8.1%				903	42	4.7%	1,027	52	5.1%
女	146	6	4.1%				407	24	5.9%	553	30	5.4%
22年度 合計	502	21	4.2%	0	0		1,352	66	4.9%	1,854	87	4.7%
男	202	9	4.5%				922	47	5.1%	1,124	56	5.0%
女	300	12	4.0%				430	19	4.4%	730	31	4.2%

1. 胃がん検診実施数は、函館市で前年比 232 人増、職域 42 名増、合計 274 人増であった。
2. 要精検率は、函館市 4.2%、職域 4.9%、合計 4.7%と前年と変化はなかった。女性に比べて男性の方が高い傾向であった。

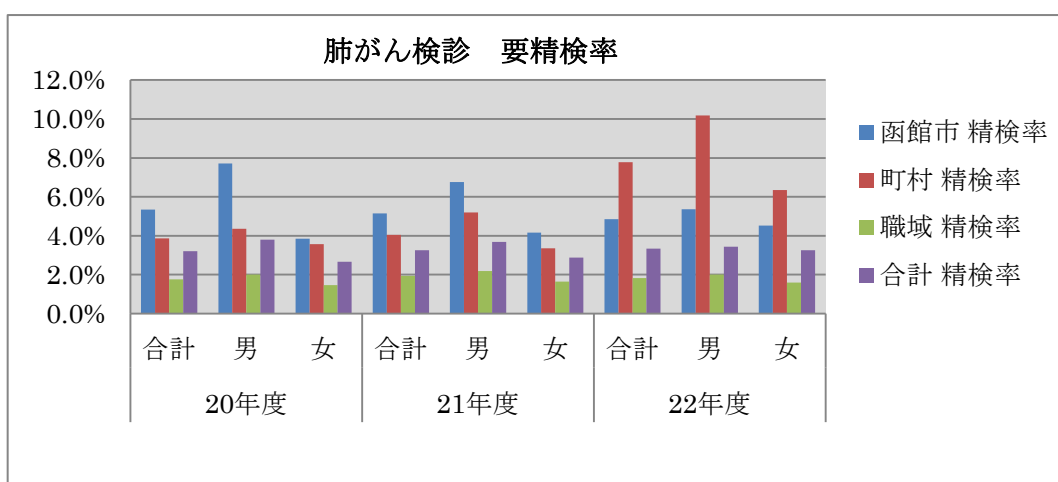
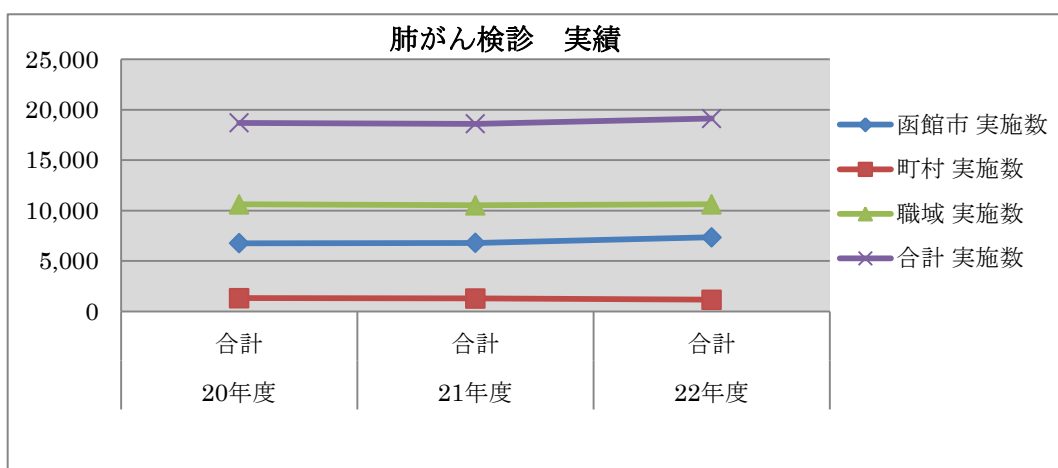


6. 肺がん検診

検査方法：胸部X線間接撮影 二重読影・比較読影

	函館市			町村			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	6,763	361	5.3%	1,321	51	3.9%	10,615	187	1.8%	18,699	599	3.2%
男	2,608	201	7.7%	482	21	4.4%	5,843	117	2.0%	8,933	339	3.8%
女	4,155	160	3.9%	839	30	3.6%	4,772	70	1.5%	9,766	260	2.7%
21年度 合計	6,790	350	5.2%	1,284	52	4.0%	10,521	205	1.9%	18,595	607	3.3%
男	2,607	176	6.8%	481	25	5.2%	5,858	128	2.2%	8,946	329	3.7%
女	4,183	174	4.2%	803	27	3.4%	4,663	77	1.7%	9,649	278	2.9%
22年度 合計	7,347	356	4.8%	1,156	90	7.8%	10,615	193	1.8%	19,118	639	3.3%
男	2,839	152	5.4%	432	44	10.2%	5,843	117	2.0%	9,114	313	3.4%
女	4,508	204	4.5%	724	46	6.4%	4,772	76	1.6%	10,004	326	3.3%

1. 肺がん検診実施数は、函館市で前年比 557 人増、町村 128 人減、職域 12 人増、合計 523 人増であった。
2. 要精検率は、函館市 4.8%、町村 7.8%、職域 1.8%、合計 3.3%と前年と変化なかった。女性に比べて男性の方が高い傾向であった。

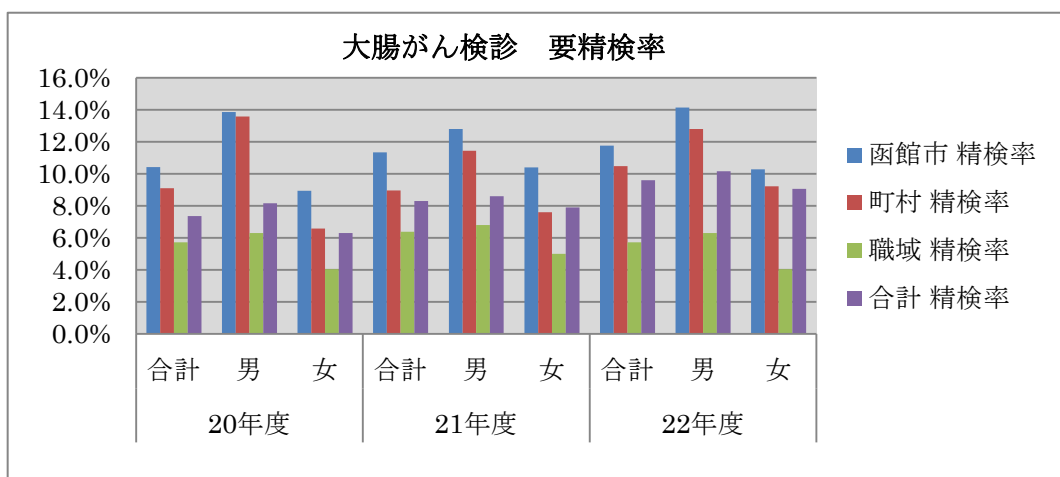
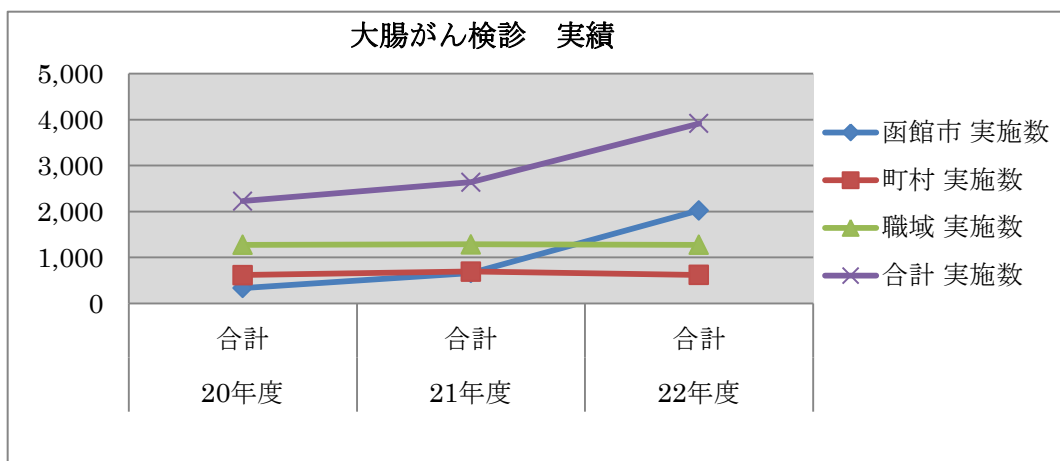


7. 大腸がん検診

測定方法：便中ヒトヘモグロビン測定(金コロイド法) 要精密検査：陽性

	函館市			町村			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	336	35	10.4%	616	56	9.1%	1,274	73	5.7%	2,226	164	7.4%
男	101	14	13.9%	221	30	13.6%	953	60	6.3%	1,275	104	8.2%
女	235	21	8.9%	395	26	6.6%	321	13	4.0%	951	60	6.3%
21年度 合計	662	75	11.3%	692	62	9.0%	1,285	82	6.4%	2,639	219	8.3%
男	258	33	12.8%	245	28	11.4%	985	67	6.8%	1,488	128	8.6%
女	404	42	10.4%	447	34	7.6%	300	15	5.0%	1,151	91	7.9%
22年度 合計	2,023	238	11.8%	620	65	10.5%	1,274	73	5.7%	3,917	376	9.6%
男	778	110	14.1%	219	28	12.8%	953	60	6.3%	1,950	198	10.2%
女	1,245	128	10.3%	401	37	9.2%	321	13	4.0%	1,967	178	9.0%

- 大腸がん検診実施数は、函館市で前年比1,361人増、町村72人減、職域11名減、合計1,278人増であった。函館市で広報の強化により大幅に増加した。
- 要精検率は、函館市11.8%、町村10.5%、職域5.7%、合計9.6%と前年と大きな変化はなかった。女性に比べて男性の方が高い傾向であった。

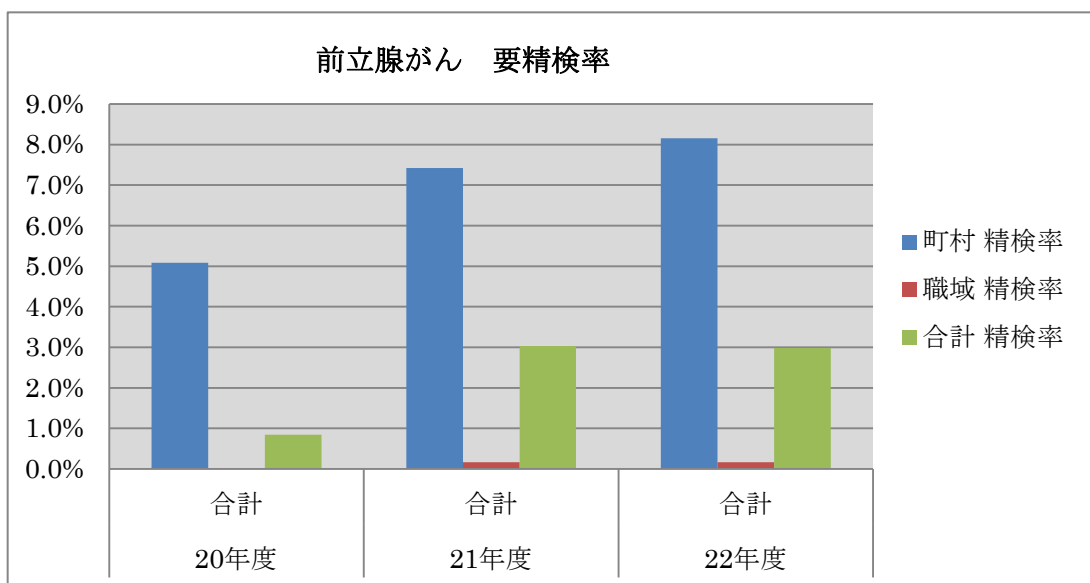
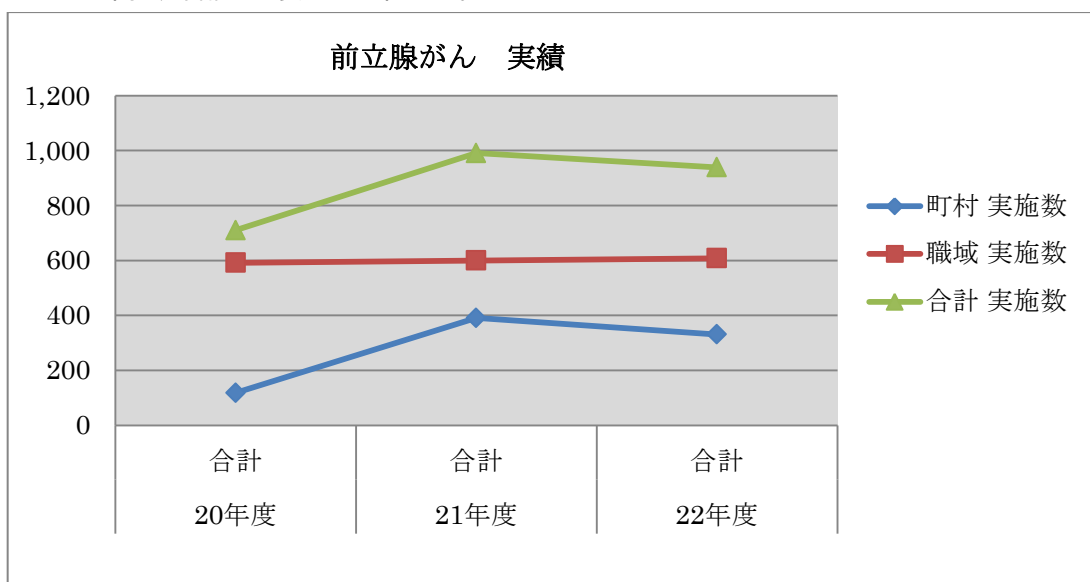


8. 前立腺がん検診

測定方法：CLEIA法 要精密検査：10.0ng/ml以上

	函館市			町村			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	0	0		118	6	5.1%	592	0	0.0%	710	6	0.8%
21年度 合計	0	0		391	29	7.4%	600	1	0.2%	991	30	3.0%
22年度 合計	0	0		331	27	8.2%	608	1	0.2%	939	28	3.0%

1. 前立腺がん検診実施数は、函館市未実施、町村60人減、職域8名増、合計52人減であった。全体的に前年より減少した。函館市での実施が望まれる。
2. 要精検率は、町村8.2%、職域0.2%、合計3.0%と前年と変化なかった。町村が職域に比較し5倍以上高く、年齢差が要因と思われた。



9. ペプシノゲン検診

測定方法：ラテックス凝集法

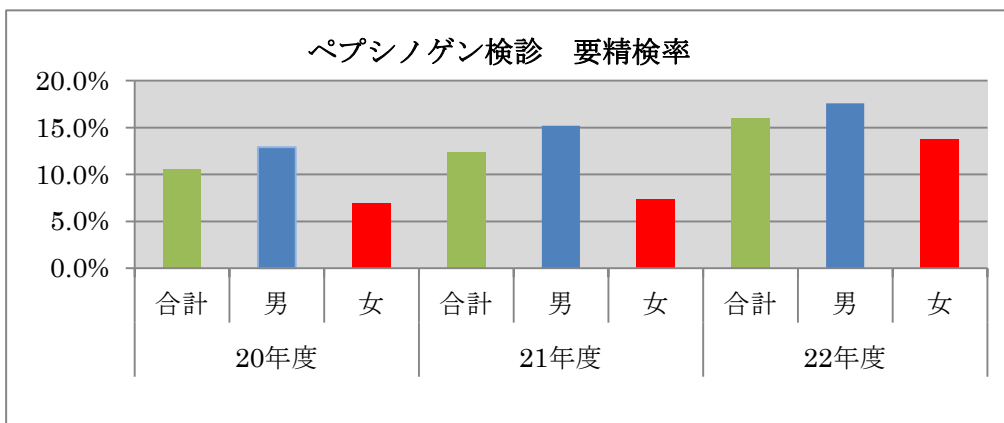
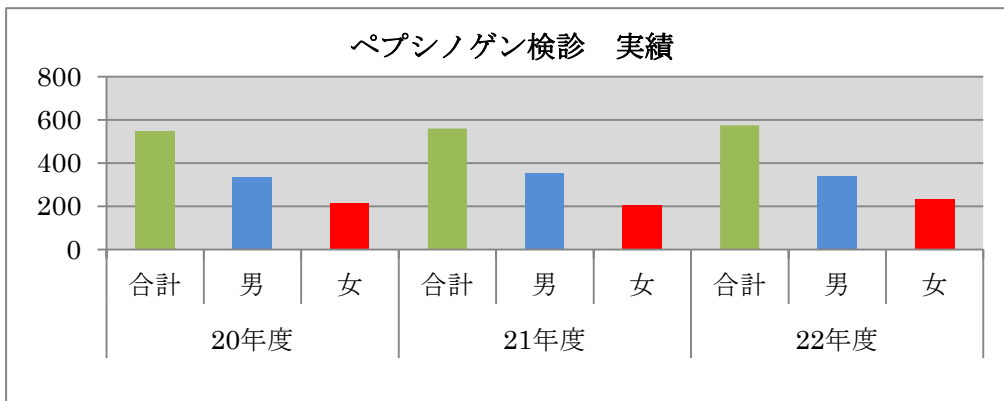
判 定：

PG値	判定
PG I > 70 又は PG I / II 比 > 3	陰性
PG I ≤ 70 かつ PG I / II 比 ≤ 3	陽性 (1+)
PG I ≤ 50 かつ PG I / II 比 ≤ 3	中等度陽性 (2+)
PG I ≤ 30 かつ PG I / II 比 ≤ 2	強陽性 (3+)

要精密検査：上記判定で、(2+) (3+)が対象

	函館市			町村			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	0	0		0	0		550	58	10.5%	550	58	10.5%
男							333	43	12.9%	333	43	12.9%
女							217	15	6.9%	217	15	6.9%
21年度 合計	0	0		0	0		560	69	12.3%	560	69	12.3%
男							355	54	15.2%	355	54	15.2%
女							205	15	7.3%	205	15	7.3%
22年度 合計	0	0		0	0		574	92	16.0%	574	92	16.0%
男							341	60	17.6%	341	60	17.6%
女							233	32	13.7%	233	32	13.7%

1. ペプシノゲン検診実施数は、函館市と町村では未実施、職域健診前年比 14 名増であった。職域健診のため男性の受診者数が多かった。函館市での実施が望まれる。
2. 要精検率は、年々上昇し平成 22 年度は 16.0%であった。女性に比べて男性の方が高かった。

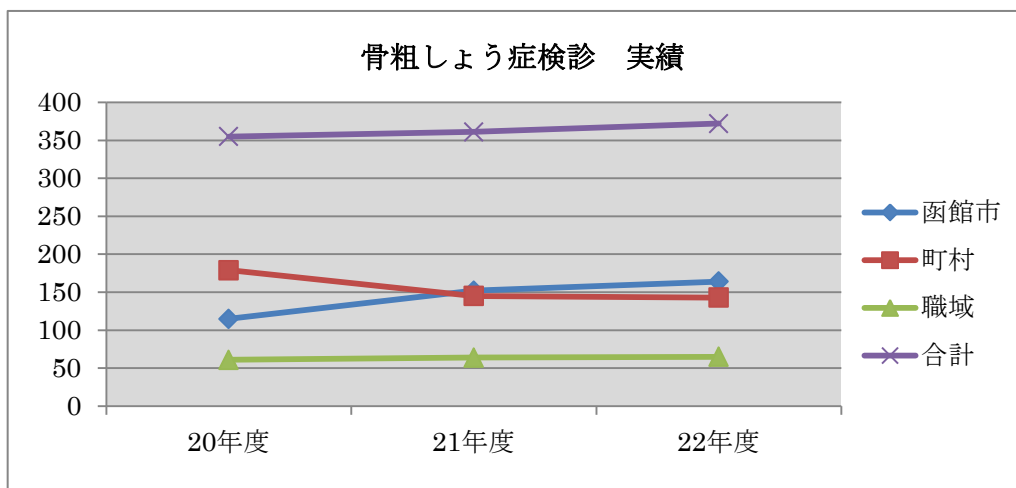


10. 骨粗しょう症検診

1) 実績

	函館市	町村	職域	合計
20年度	115	179	61	355
21年度	152	145	64	361
22年度	164	143	65	372

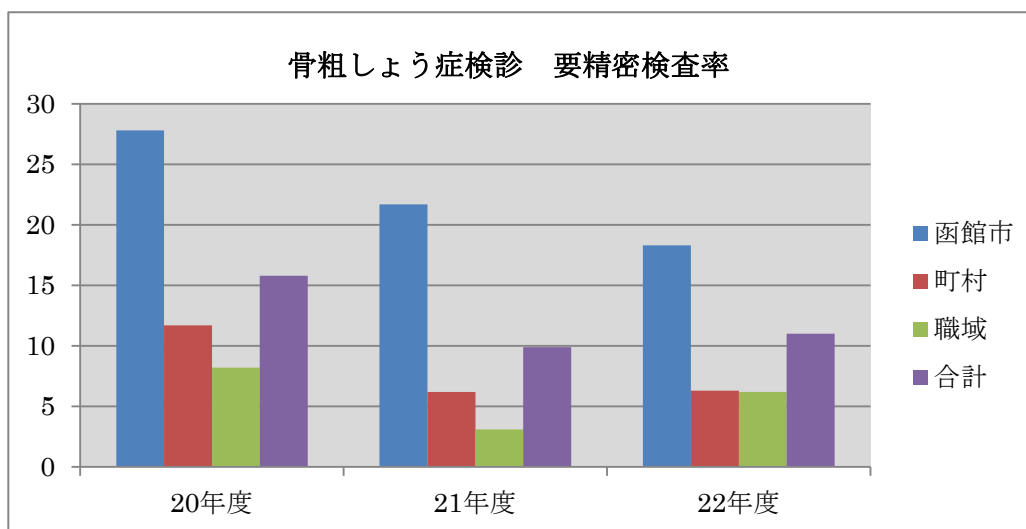
1. 函館市は年々増加傾向であった。



2) 要精密検査率 (%)

	函館市	町村	職域	合計
20年度	27.8	11.7	8.2	15.8
21年度	21.7	6.2	3.1	9.9
22年度	18.3	6.3	6.2	11.0

1. 函館市の要精検率は他町村に比較して高かったが、年々低下傾向にある。
2. 職域の要精検率が低いのは、対象年齢が低いことが要因と考えられた。



Ⅲ. 学童・生徒・学生検診

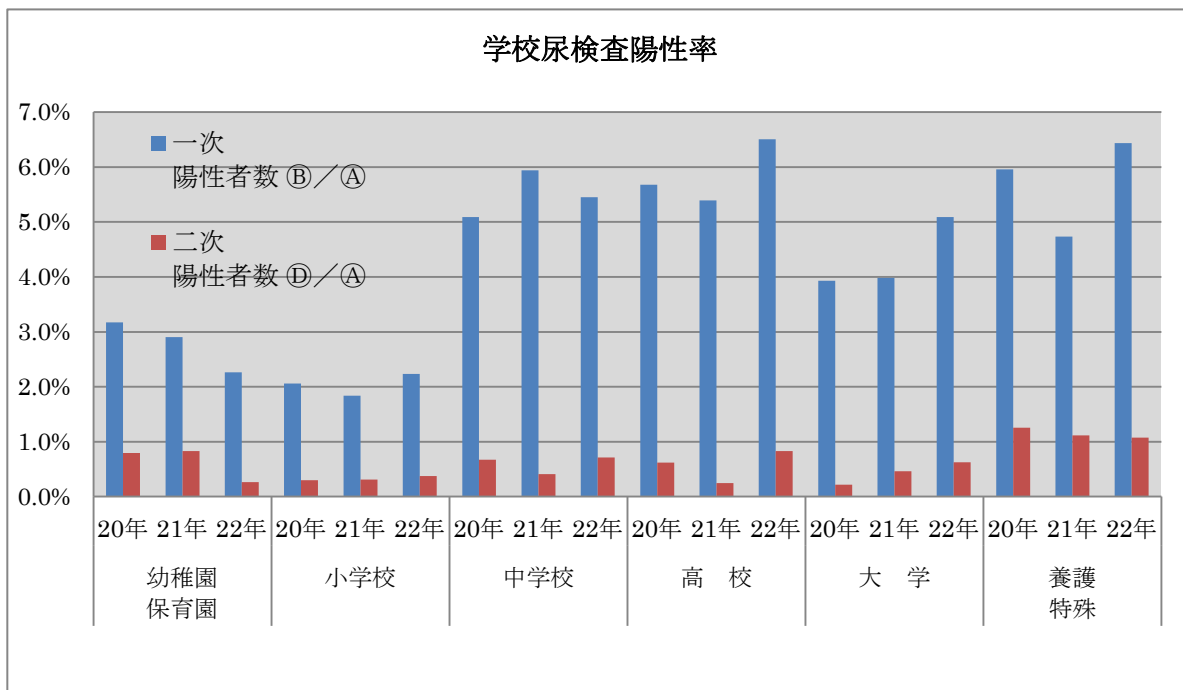
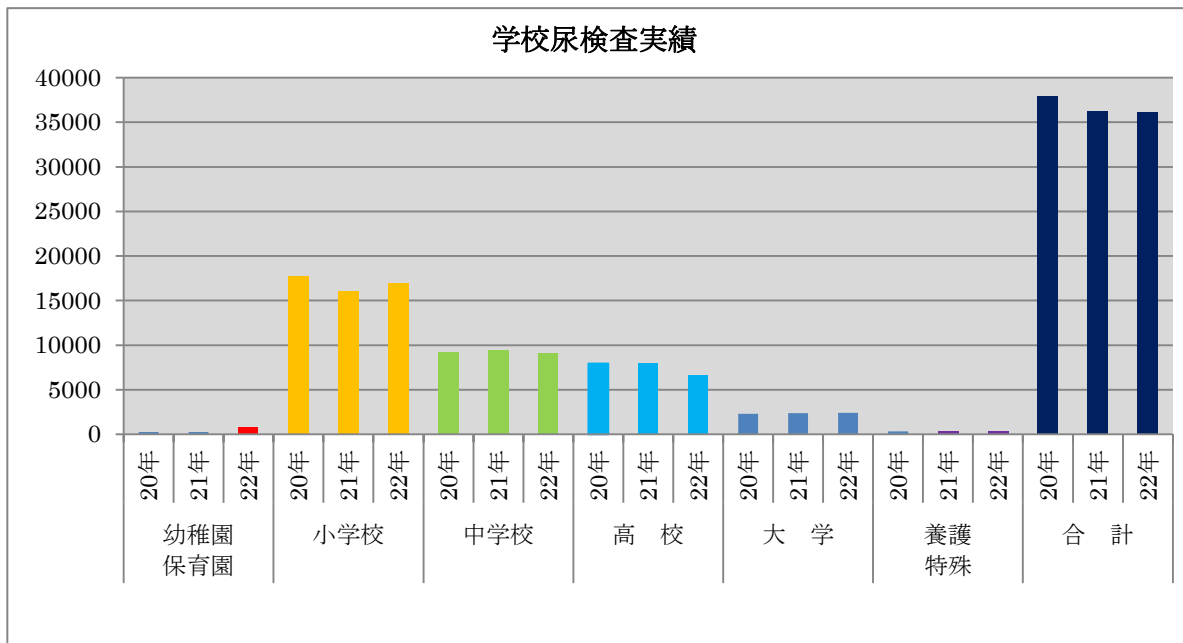
学校保健法による検診で、市内および近隣町村の学校・幼稚園・保育園から受託。

尿検査、心電図検査、胸部レントゲン検査、貧血検査、便検査

1. 尿検査

	年度	一次検査 ①	一次陽性者数		二次精検 ③	二次陽性者数		
			②	②/①		④	④/③	④/①
幼稚園・保育園	20年	252	8	3.2%	8	2	25.0%	0.8%
	21年	241	7	2.9%	7	2	28.6%	0.8%
	22年	750	17	2.3%	17	2	11.8%	0.3%
小学校	20年	17,697	365	2.1%	346	53	15.3%	0.3%
	21年	16,079	296	1.8%	179	50	27.9%	0.3%
	22年	16,949	379	2.2%	361	64	17.7%	0.4%
中学校	20年	9,232	470	5.1%	440	62	14.1%	0.7%
	21年	9,447	561	5.9%	522	39	7.5%	0.4%
	22年	9,096	496	5.5%	460	65	14.1%	0.7%
高校	20年	7,925	450	5.7%	428	49	11.4%	0.6%
	21年	7,989	431	5.4%	411	20	4.9%	0.3%
	22年	6,609	430	6.5%	405	55	13.6%	0.8%
大学	20年	2,290	90	3.9%	58	5	8.6%	0.2%
	21年	2,384	95	4.0%	63	11	17.5%	0.5%
	22年	2,397	122	5.1%	113	15	13.3%	0.6%
養護・特殊	20年	319	19	6.0%	17	4	23.5%	1.3%
	21年	359	17	4.7%	15	4	26.7%	1.1%
	22年	373	24	6.4%	22	4	18.2%	1.1%
合計	20年	37,930	1,493	3.9%	1,379	152	11.0%	0.4%
	21年	36,284	1,316	3.6%	1,115	149	13.4%	0.4%
	22年	36,174	1,468	4.1%	1,378	205	14.9%	0.6%

1. 学校検尿は、全体的に年々減少している。
2. 一次陽性率は、中学、高校、養護で高く、大学で僅かに下がる傾向であった。
3. 二次陽性率は、養護で1.0%を超えるが、その他では1.0%以下と大きな変化なかった。

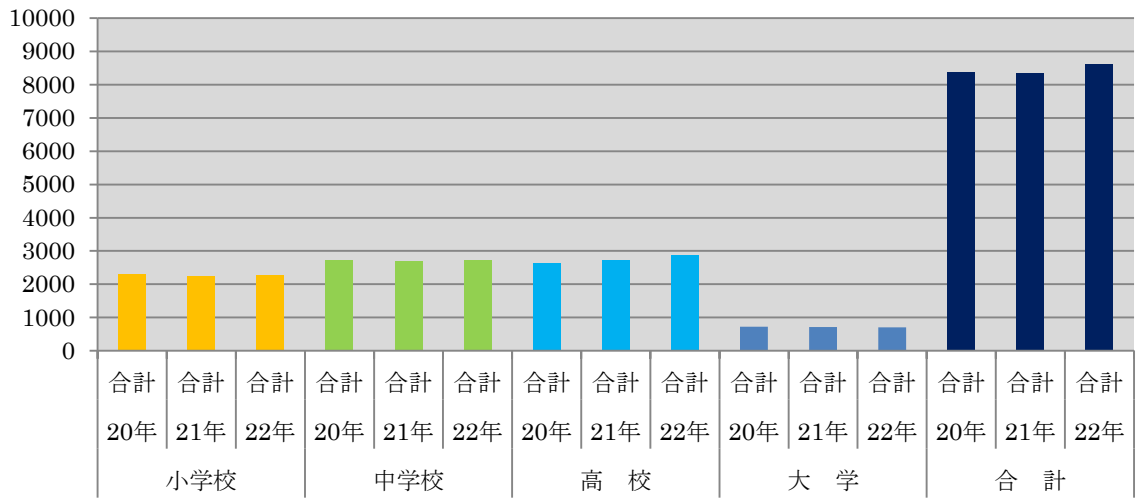


2. 心電図検査

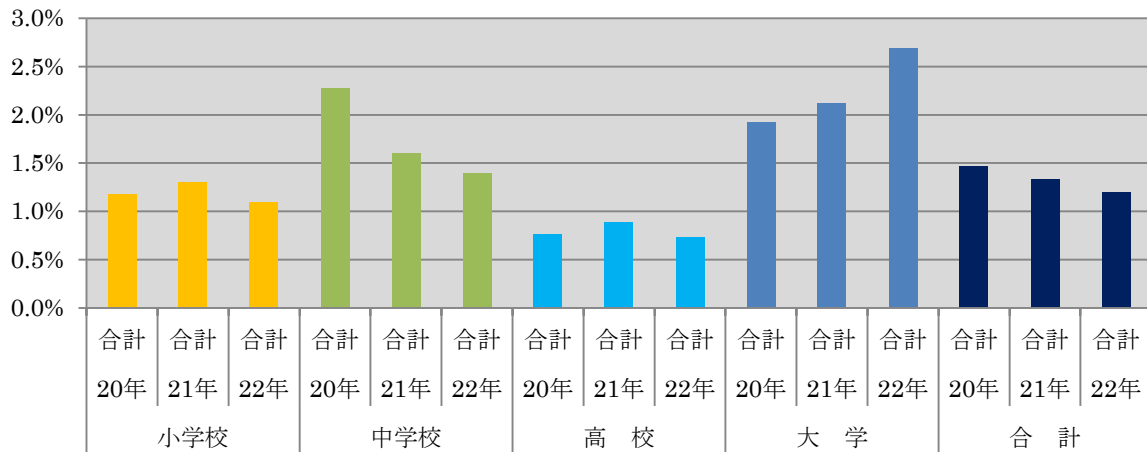
			実施数	正 常		ほぼ正常		要経過観察		要精密検査	
小学校	20 年	合計	2,304	2,257	98.0%	19	0.8%	1	0.0%	27	1.2%
		男	1,196	1,168	97.7%	10	0.8%	1	0.1%	17	1.4%
		女	1,108	1,089	98.3%	9	0.8%	0	0.0%	10	0.9%
	21 年	合計	2,230	2,198	98.6%	3	0.1%	0	0.0%	29	1.3%
		男	1,138	1,116	98.1%	3	0.3%	0	0.0%	19	1.7%
		女	1,092	1,082	99.1%	0	0.0%	0	0.0%	10	0.9%
	22 年	合計	2,282	2,252	98.7%	5	0.2%	0	0.0%	25	1.1%
		男	1,176	1,159	98.6%	2	0.2%	0	0.0%	15	1.3%
		女	1,106	1,093	98.8%	3	0.3%	0	0.0%	10	0.9%
中学校	20 年	合計	2,729	2,635	96.6%	29	1.1%	3	0.1%	62	2.3%
		男	1,563	1,511	96.7%	19	1.2%	1	0.1%	32	2.0%
		女	1,166	1,124	96.4%	10	0.9%	2	0.2%	30	2.6%
	21 年	合計	2,693	2,634	97.8%	15	0.6%	1	0.0%	43	1.6%
		男	1,601	1,559	97.4%	11	0.7%	1	0.1%	30	1.9%
		女	1,092	1,075	98.4%	4	0.4%	0	0.0%	13	1.2%
	22 年	合計	2,738	2,684	98.0%	16	0.6%	0	0.0%	38	1.4%
		男	1,564	1,528	97.7%	13	0.8%	0	0.0%	23	1.5%
		女	1,174	1,156	98.5%	3	0.3%	0	0.0%	15	1.3%
高 校	20 年	合計	2,616	2,537	97.0%	59	2.3%	0	0.0%	20	0.8%
		男	1,752	1,694	96.7%	41	2.3%	0	0.0%	17	1.0%
		女	864	843	97.6%	18	2.1%	0	0.0%	3	0.3%
	21 年	合計	2,720	2,604	95.7%	89	3.3%	3	0.1%	24	0.9%
		男	1,804	1,723	95.5%	63	3.5%	2	0.1%	16	0.9%
		女	916	881	96.2%	26	2.8%	1	0.1%	8	0.9%
	22 年	合計	2,877	2,772	96.4%	84	2.9%	0	0.0%	21	0.7%
		男	1,826	1,745	95.6%	64	3.5%	0	0.0%	17	0.9%
		女	1,051	1,027	97.7%	20	1.9%	0	0.0%	4	0.4%
大 学	20 年	合計	727	678	93.3%	34	4.7%	1	0.1%	14	1.9%
		男	428	394	92.1%	27	6.3%	0	0.0%	7	1.6%
		女	299	284	95.0%	7	2.3%	1	0.3%	7	2.3%
	21 年	合計	709	651	91.8%	41	5.8%	2	0.3%	15	2.1%
		男	416	371	89.2%	35	8.4%	1	0.2%	9	2.2%
		女	293	280	95.6%	6	2.0%	1	0.3%	6	2.0%
	22 年	合計	707	660	93.4%	26	3.7%	2	0.3%	19	2.7%
		男	396	364	91.9%	18	4.5%	1	0.3%	13	3.3%
		女	311	296	95.2%	8	2.6%	1	0.3%	6	1.9%
合 計	20 年	合計	8,376	8,107	96.8%	141	1.7%	5	0.1%	123	1.5%
		男	4,939	4,768	96.5%	97	2.0%	2	0.0%	73	1.5%
		女	3,437	3,342	97.2%	44	1.3%	3	0.1%	50	1.5%
	21 年	合計	8,352	8,087	96.8%	148	1.8%	6	0.1%	111	1.3%
		男	4,959	4,769	96.2%	112	2.3%	4	0.1%	74	1.5%
		女	3,393	3,318	97.8%	36	1.1%	2	0.1%	37	1.1%
	22 年	合計	8,607	8,371	97.3%	131	1.5%	2	0.0%	103	1.2%
		男	4,963	4,797	96.7%	97	2.0%	1	0.0%	68	1.4%
		女	3,644	3,574	98.1%	34	0.9%	1	0.0%	35	1.0%

1. 受診者数は、小、中、大学生は変化なかった。高校生は微増していた。
2. 要精密検査率は、大学生が年々高くなり平成 22 年度は 2.7%、他は 1.0%前後であった。大きな男女差はみられなかった。

心電図検査実績



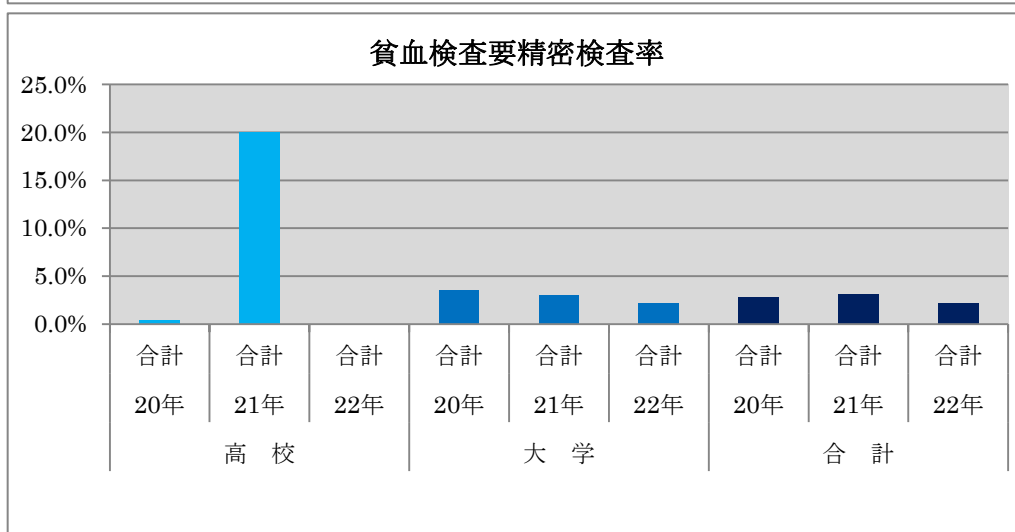
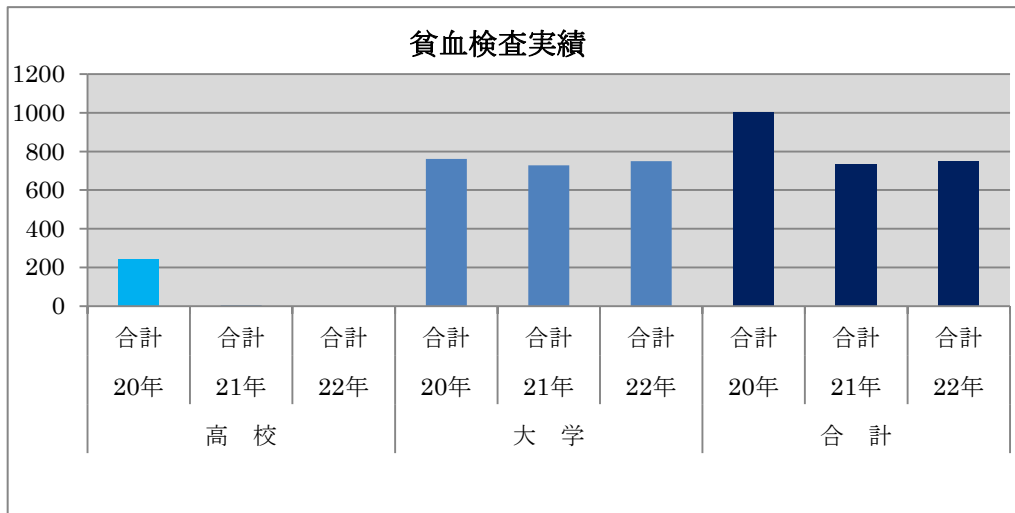
心電図検査要精密検査率



3. 貧血検査

			実施数	正 常		ほ ぼ 正 常		要 経 過 観 察		要 精 密 検 査	
高 校	20 年	合計	240	202	84.2%	31	12.9%	6	2.5%	1	0.4%
		男	129	103	79.8%	24	18.6%	2	2.5%	0	0.4%
		女	111	99	89.2%	7	6.3%	4	2.5%	1	0.0%
	21 年	合計	5	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%	1	20.0%
		男	4	2	50.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%
		女	1	0	0.0%	0	0.0%	1	100%	0	0.0%
	22 年	合計	0	0		0		0		0	
		男	0	0		0		0		0	
		女	0	0		0		0		0	
大 学	20 年	合計	762	599	78.6%	118	15.5%	18	2.4%	27	3.5%
		男	248	192	77.4%	50	20.2%	5	2.0%	1	0.4%
		女	514	407	79.2%	68	13.2%	13	2.5%	26	5.1%
	21 年	合計	729	554	76.0%	121	16.6%	32	4.4%	22	3.0%
		男	246	182	74.0%	44	17.9%	17	6.9%	3	1.2%
		女	483	372	77.0%	77	15.9%	15	3.1%	19	3.9%
	22 年	合計	750	581	77.5%	129	17.2%	24	3.2%	16	2.1%
		男	237	177	74.7%	48	20.3%	11	4.6%	1	0.4%
		女	513	404	78.8%	81	15.8%	13	2.5%	15	2.9%
合 計	20 年	合計	1,002	801	79.9%	149	14.9%	24	2.4%	28	2.8%
		男	377	295	78.2%	74	19.6%	7	1.9%	1	0.3%
		女	625	506	81.0%	75	12.0%	17	2.7%	27	4.3%
	21 年	合計	734	556	75.7%	121	16.5%	34	4.6%	23	3.1%
		男	250	184	73.6%	44	17.6%	18	7.2%	4	1.6%
		女	484	372	76.9%	77	15.9%	16	3.3%	19	3.9%
	22 年	合計	750	581	77.5%	129	17.2%	24	3.2%	16	2.1%
		男	237	177	74.7%	48	20.3%	11	4.6%	1	0.4%
		女	513	404	78.8%	81	15.8%	13	2.5%	15	2.9%

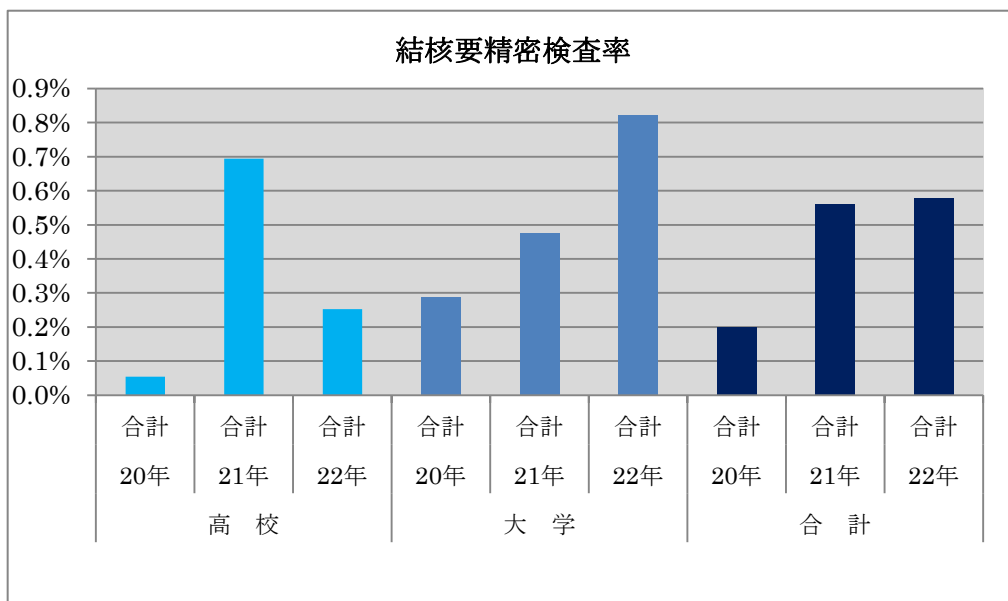
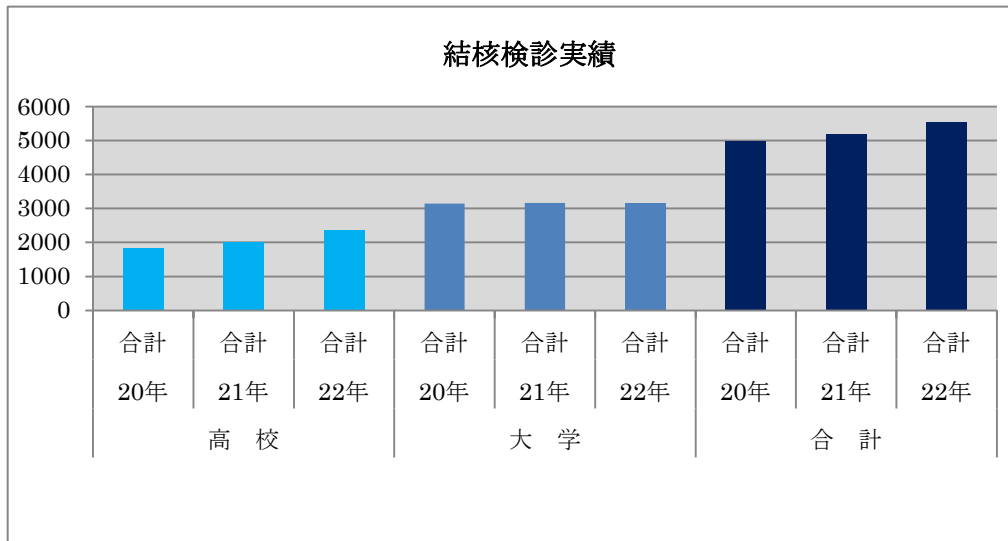
1. 貧血検査は、年々減少している。
2. 要精密検査率は、女性の方が男性に比べ5倍以上高い。



4. 結核検診

			実施数	正 常		ほぼ正常		要経過観察		要精密検査	
高 校	20 年	合計	1,842	1,841	99.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
		男	1,203	1,203	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.1%
		女	639	638	99.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
	21 年	合計	2,018	2,004	99.3%	0	0.0%	0	0.0%	14	0.7%
		男	1,322	1,314	99.4%	0	0.0%	0	0.0%	8	0.6%
		女	696	690	99.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.9%
	22 年	合計	2,380	2,370	99.6%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.3%
		男	1,440	1,435	99.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.3%
		女	940	935	99.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
大 学	20 年	合計	3,143	3,134	99.7%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.3%
		男	1,825	1,822	99.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%
		女	1,318	1,312	99.5%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.5%
	21 年	合計	3,161	3,142	99.4%	0	0.0%	4	0.1%	15	0.5%
		男	1,873	1,861	99.4%	0	0.0%	3	0.2%	9	0.5%
		女	1,288	1,281	99.5%	0	0.0%	1	0.1%	6	0.5%
	22 年	合計	3,163	3,137	99.2%	0	0.0%	0	0.0%	26	0.8%
		男	1,813	1,796	99.1%	0	0.0%	0	0.0%	17	0.9%
		女	1,350	1,341	99.3%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.7%
合 計	20 年	合計	4,985	4,975	99.8%	0	0.0%	0	0.0%	10	0.2%
		男	3,028	3,025	99.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.1%
		女	1,957	1,950	99.6%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.4%
	21 年	合計	5,179	5,146	99.4%	0	0.0%	4	0.1%	29	0.6%
		男	3,195	3,175	99.4%	0	0.0%	3	0.1%	17	0.5%
		女	1,984	1,971	99.3%	0	0.0%	1	0.1%	12	0.6%
	22 年	合計	5,543	5,511	99.4%	0	0.0%	0	0.0%	32	0.6%
		男	1,813	1,796	99.1%	0	0.0%	0	0.0%	17	0.9%
		女	1,350	1,341	99.3%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.7%

1. 結核検診は、高校生で年々増加している。
2. 要精密検査率は、高校生が21年度に0.7%と上昇したが翌年低下した。大学生は年々上昇傾向にある。



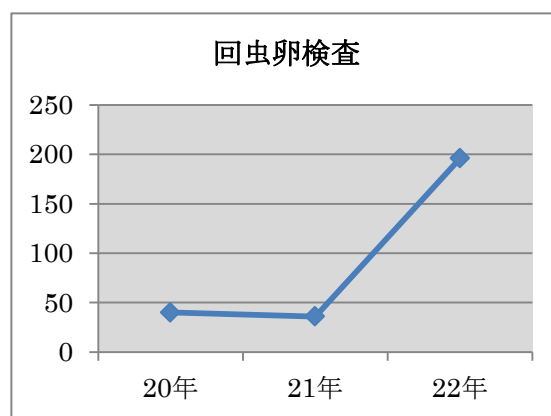
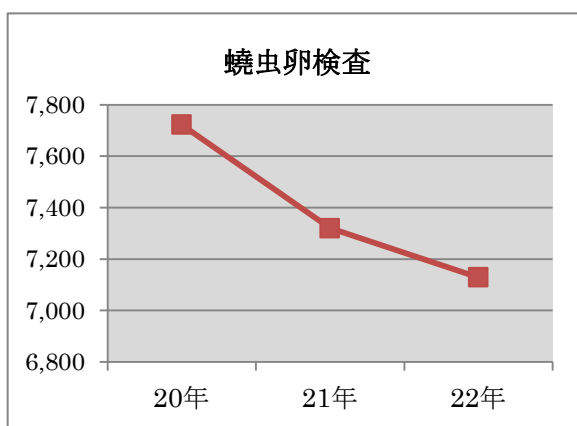
5. 園児・児童 寄生虫卵検査実績

1) 実施状況

小学校低学年（1年～3年）：函館市内46校、北斗市11校、町村13校
 保育園・幼稚園：函館市内14施設

2) 実績

	蟯虫卵検査			回虫卵検査		
	件数	陽性	%	件数	陽性	%
20年	7,723	0	0.0%	40	0	0.0%
21年	7,320	0	0.0%	36	0	0.0%
22年	7,129	1	0.01%	196	0	0.0%



IV. 職域健診（労働安全衛生規則による健康診断）

労働安全衛生法では、「事業主は健康診断の結果、労働者の健康を保持するために労働者の実情に合った適切な処置を取らなければならない。」とされています。

疾病を早期に発見することに加え、現在の健康状態を正確に把握し、その結果に基づいて運動指導や栄養指導の生活指導を行いながら、生活習慣病の予防を含めた健康管理を進めていくことが、この健診の大きな目的となっています

1. 受付方法：予約が必要です。

2. 実施方法：予約時に、受診希望日・時間、予定人数、健診内容を確認し実施。

3. 健康診断の種類

1) 一般健康診断

① 雇入時健康診断（安衛則第 43 条）平成 20 年 4 月一部改正

雇入時の直前あるいは直後に、必ず行うべき健康診断

- ・ 既往歴及び業務歴の調査
- ・ 喫煙歴及び服薬歴の聴取
- ・ 自覚症状及び多覚症状の有無の検査
- ・ 身長、体重、腹囲、BMI、視力、聴力検査
- ・ 胸部X線検査
- ・ 血圧の測定
- ・ 尿検査（糖、蛋白）
- ・ 貧血検査（赤血球数、血色素量）
- ・ 肝機能検査（GOT、GPT、 γ -G T）
- ・ 脂質検査（中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール）
- ・ 血糖検査（空腹時）
- ・ 心電図検査

※ 年齢による検診項目の省略は認められません

※ 血糖検査の空腹時は、食後 10 時間以上経過したもの、10 時間を経過していない場合は、ヘモグロビンA1cを実施

② 定期健康診断（安衛則第 44 条）平成 20 年 4 月一部改正

労働者に対して、1 年に 1 回必ず実施する健康診断。年齢により健診項目が異なる。

	35 歳未満及び 36 歳～39 歳	35 歳及び 40 歳以上
・ 既往歴及び業務歴の調査	◎	◎
・ 喫煙歴及び服薬歴の聴取	◎	◎
・ 自覚症状及び多覚症状の有無の検査	◎	◎
・ 身長、体重、BMI、視力、聴力検査	◎	◎
・ 胸部 X 線検査	◎	◎
・ 腹囲計測	△	◎
・ 血圧の測定	◎	◎
・ 尿検査（糖、蛋白）	◎	◎
・ 貧血検査（赤血球数、血色素量）		◎
・ 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GT）		◎
・ 脂質検査（中性脂肪、HDL-コレステロール、 LDL-コレステロール）		◎
・ 血糖検査（空腹時）		◎
・ 心電図検査		◎
※ 血糖検査の空腹時は、食後 10 時間以上経過したもの、10 時間を経過してない場合は、ヘモグロビン A1c を実施 ※ △の腹囲計測は、40 歳未満（35 歳を除く）の者については、医師の判断に基づき省略可		

③ 海外派遣労働者の健康診断（安衛則第 45 条の 2）平成 20 年 4 月一部改正

本邦外の地域に 6 ヶ月以上派遣しようとする時または、本邦外の地域に 6 ヶ月以上派遣した労働者を本邦の地域内における業種に就かせる時に行う健康診断。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 既往歴及び業務歴の調査 ・ 喫煙歴及び服薬歴の聴取 ・ 自覚症状及び多覚症状の有無の検査 ・ 身長、体重、腹囲、BMI、視力、聴力検査 ・ 胸部 X 線検査 ・ 血圧の測定 ・ 尿検査（糖、蛋白） ・ 貧血検査（赤血球数、血色素量） ・ 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GT） ・ 脂質検査（中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール） ・ 血糖検査（空腹時） ・ 心電図検査 <p>※ 医師が必要と認めた場合の検査 （胃部 X 線、腹部超音波、尿酸、B 型肝炎ウイルス、血液型、糞便検査）</p>

2) 特殊健康診断（安衛法 66 条第 2 項）

労働衛生上特に有害な業務に従事する労働者に対して行われる健康診断

① 有機溶剤健康診断（有機溶剤中毒予防規則第 29 条）

イ	業の調査
ロ	有機溶剤による健康障害の既往歴の調査 有機溶剤による自覚症状及び他覚症状の既往歴の検査 有機溶剤によるホ～チに揚げる異常所見の既往の有無の調査 二の既往の検査結果の調査
ハ	自覚症状及び他覚症状の有無の検査
ニ	尿中の有機溶剤の代謝物の量の検査
ホ	尿中の蛋白の有無の検査
ヘ	肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GT）
ト	貧血検査（赤血球数、血色素量）
チ	眼底検査
	このうち、ニ及びヘ～チは、指定の有機溶剤に限る

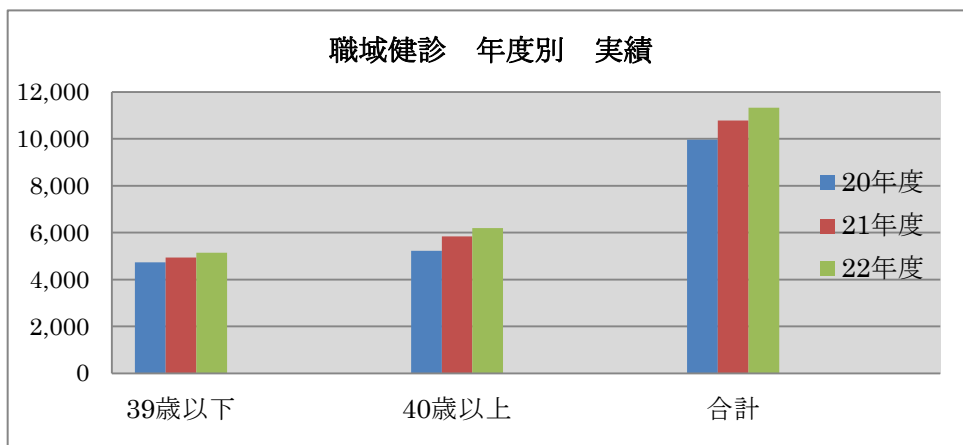
※指定の有機溶剤

有機溶剤の種類	代謝物	肝機能	貧血	眼底
キシレン、スチレン、1・1・1-トリクロロエタン、トルエン、ノルマルヘキサン、N・Nジメチルホルムアミド、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン	◎	◎		
クロルベンゼン、オクトジクロロベンゼン、クロロホルム、四塩化炭素、1・4-ジオキサン、1・2-ジクロロエタン、1・2-ジクロロエチレン、1・1・2・2-テトラクロロエタン、クレゾール		◎		
エチレングリコールモノエチルエーテル エチレングリコールモノエチル、エーテルアセテート エチレングリコールモノブチルエーテル、エチレングリコールモノメチルエーテル			◎	
二酸化炭素				○

4. 職域健康診断実績

	39歳以下	40歳以上	合計
20年度	4,732	5,228	9,960
21年度	4,942	5,837	10,779
22年度	5,137	6,188	11,325

1. 職域健診は年々増加している。

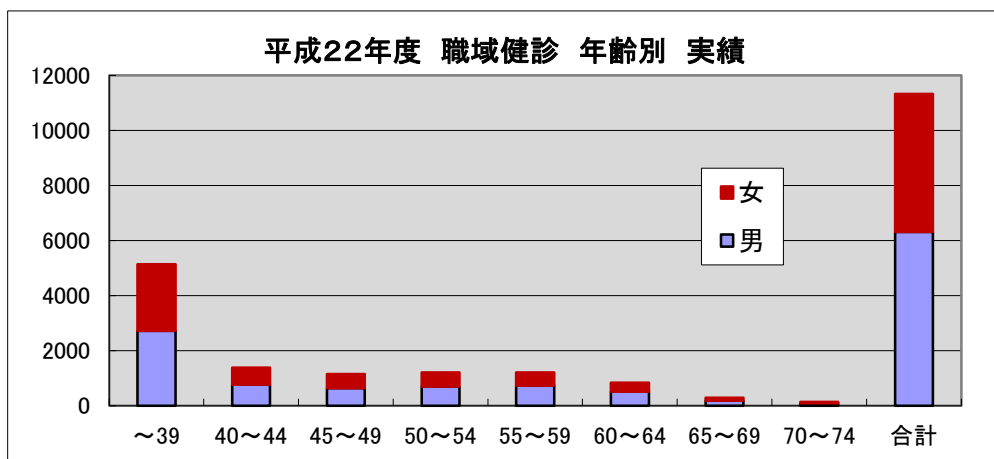


5. 平成22年度 職域健診 詳細実績

1) 年齢別・性別 受診者数

職域健診		～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
	男	2,722 53.0%	760 55.0%	637 55.4%	689 57.2%	730 60.8%	505 60.8%	187 64.0%	84 64.6%	6,314 55.8%
女	2,415 47.0%	622 45.0%	512 44.6%	515 42.8%	470 39.2%	326 39.2%	105 36.0%	46 35.4%	5,011 44.2%	
計	5,137 45.4%	1,382 12.2%	1,149 10.1%	1,204 10.6%	1,200 10.6%	831 7.3%	292 2.6%	130 1.1%	11,325 100.0%	

1. 男女比率は、合計で男性 55.8%、女性 44.2%であった。年齢による差はみられなかった。

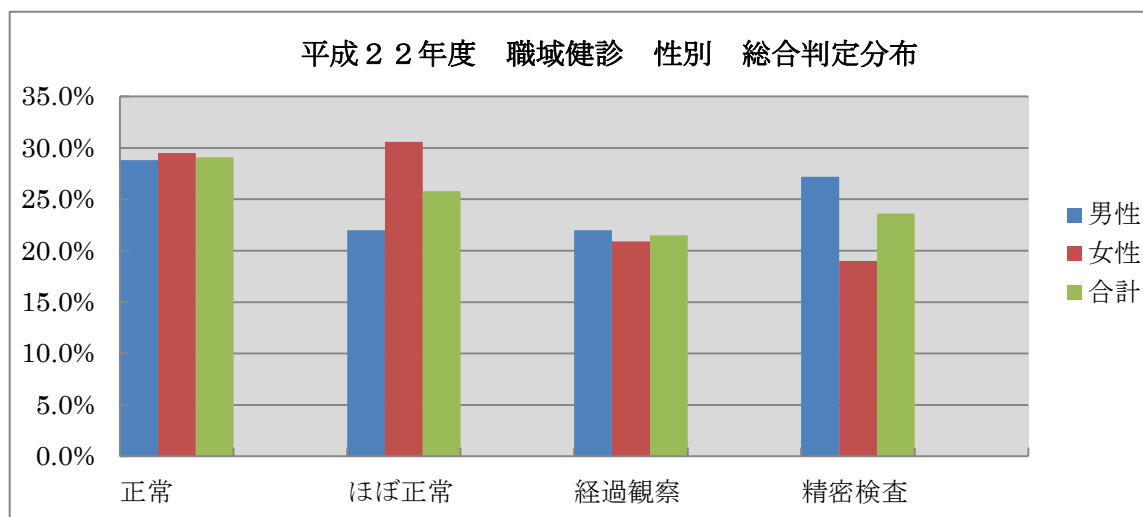


2) 健診項目別 検査結果

① 総合判定

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	28.8%	22.0%	22.0%	27.2%
女性	29.5%	30.6%	20.9%	19.0%
合計	29.1%	25.8%	21.5%	23.6%

1. 総合判定での要精密検査率は、全体で 29.6%、男性で 27.2%、女性で 19.0%と男性の方が高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,224 45.0%	152 20.0%	110 17.3%	116 16.8%	100 13.7%	73 14.5%	28 15.0%	13 15.5%	1,816 28.8%
ほぼ正常	640 23.5%	170 22.4%	143 22.4%	153 22.2%	140 19.2%	97 19.2%	39 20.9%	9 10.7%	1,391 22.0%
要経過観察	487 17.9%	200 26.3%	162 25.4%	159 23.1%	196 26.8%	116 23.0%	50 26.7%	17 20.2%	1,387 22.0%
要精密検査	371 13.6%	238 31.3%	222 34.9%	261 37.9%	294 40.3%	219 43.4%	70 37.4%	45 53.6%	1,720 27.2%
計	2,722	760	637	689	730	505	187	84	6,314

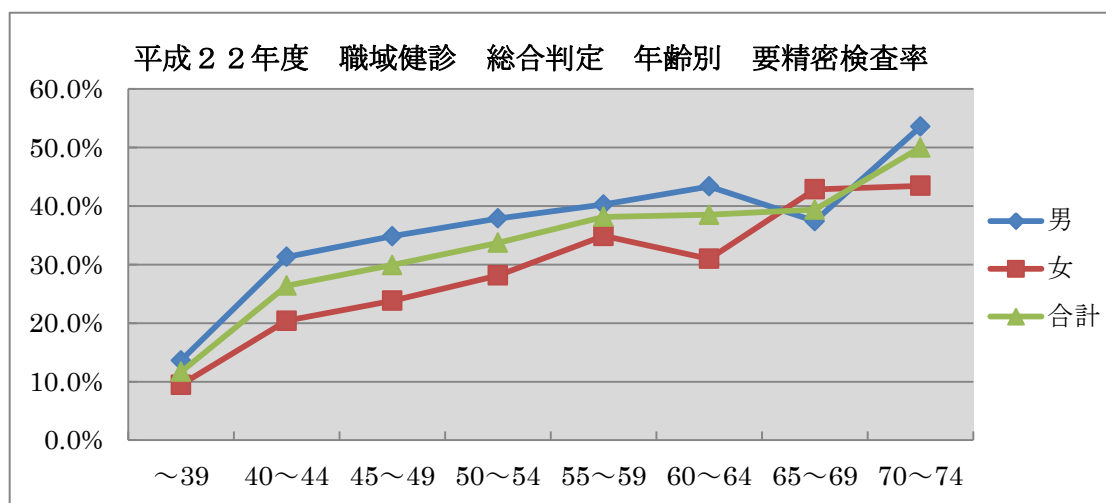
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,006 41.7%	149 24.0%	103 20.1%	100 19.4%	63 13.4%	43 13.2%	10 9.5%	5 10.9%	1,479 29.5%
ほぼ正常	809 33.5%	210 33.8%	158 30.9%	127 24.7%	122 26.0%	79 24.2%	19 18.1%	7 15.2%	1,531 30.6%
要経過観察	371 15.4%	136 21.9%	129 25.2%	143 27.8%	121 25.7%	103 31.6%	31 29.5%	14 30.4%	1,048 20.9%
要精密検査	229 9.5%	127 20.4%	122 23.8%	145 28.2%	164 34.9%	101 31.0%	45 42.9%	20 43.5%	953 19.0%
計	2,415	622	512	515	470	326	105	46	5,011

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,230 43.4%	301 21.8%	213 18.5%	216 17.9%	163 13.6%	116 14.0%	38 13.0%	18 13.8%	3,295 29.1%
ほぼ正常	1,449 28.2%	380 27.5%	301 231.0%	280 23.3%	262 21.8%	176 21.2%	58 19.9%	16 12.3%	2,922 25.8%
要経過観察	858 16.7%	336 24.3%	291 25.3%	302 25.1%	317 26.4%	219 26.4%	81 27.7%	31 23.8%	2,435 21.5%
要精密検査	600 11.7%	365 26.4%	344 29.9%	406 33.7%	458 38.2%	320 38.5%	115 39.4%	65 50.0%	2,673 23.6%
計	5,137	1,382	1,149	1,204	1,200	831	292	130	11,325

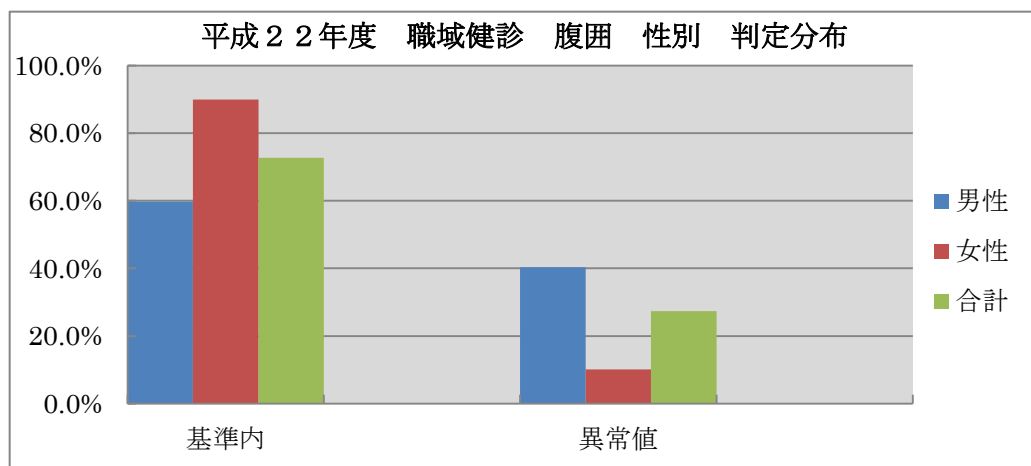
1. 総合判定の要精密検査率は、加齢とともに上昇していた。



② 腹 囲

	基準内	異常値
男性	59.7%	40.3%
女性	89.9%	10.1%
合計	72.7%	27.3%

1. 腹囲の異常値率は、全体は 27.3%、男性は 40%、女性は 10%であり、男性の方が4倍高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	614 64.8%	377 58.2%	327 58.0%	335 56.8%	374 58.7%	242 58.5%	88 58.3%	40 64.5%	2,397 59.7%
異常値	334 35.2%	271 41.8%	237 42.0%	255 43.2%	263 41.3%	172 41.5%	63 41.7%	22 35.5%	1,617 40.3%
計	948	648	564	590	637	414	151	62	4,014

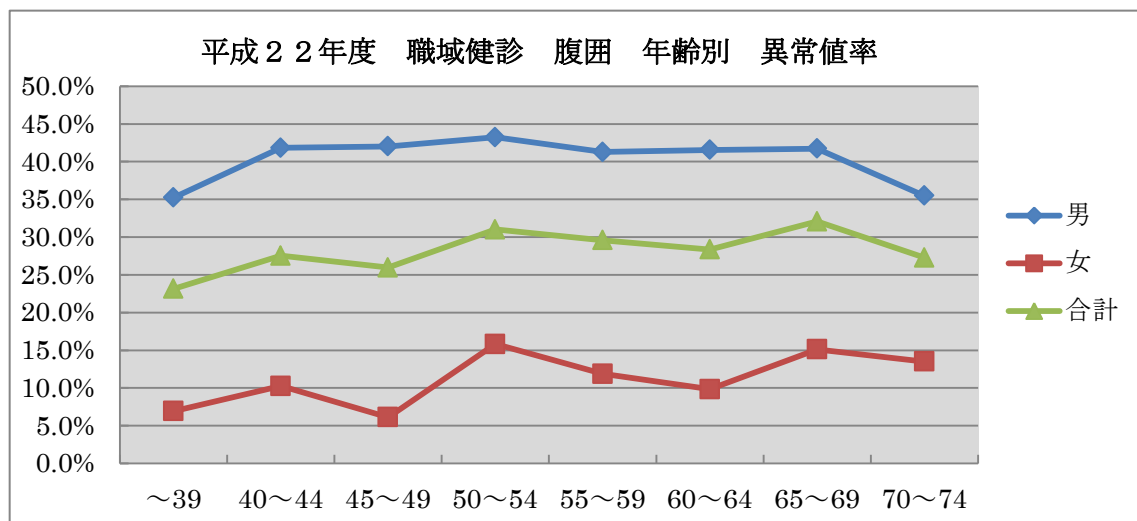
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	658 93.1%	481 89.7%	429 93.9%	399 84.2%	371 88.1%	266 90.2%	73 84.9%	32 86.5%	2,709 89.9%
異常値	49 6.9%	55 10.3%	28 6.1%	75 15.8%	50 11.9%	29 9.8%	13 15.1%	5 13.5%	304 10.1%
計	707	536	457	474	421	295	86	37	3,013

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	1,272 76.9%	858 72.5%	756 74.0%	734 69.0%	745 70.4%	508 71.7%	161 67.9%	72 72.7%	5,106 72.7%
異常値	383 23.1%	326 27.5%	265 26.0%	330 31.0%	313 29.6%	201 28.3%	76 32.1%	27 27.3%	1,921 27.3%
計	1,655	1,184	1,021	1,064	1,058	709	237	99	7,027

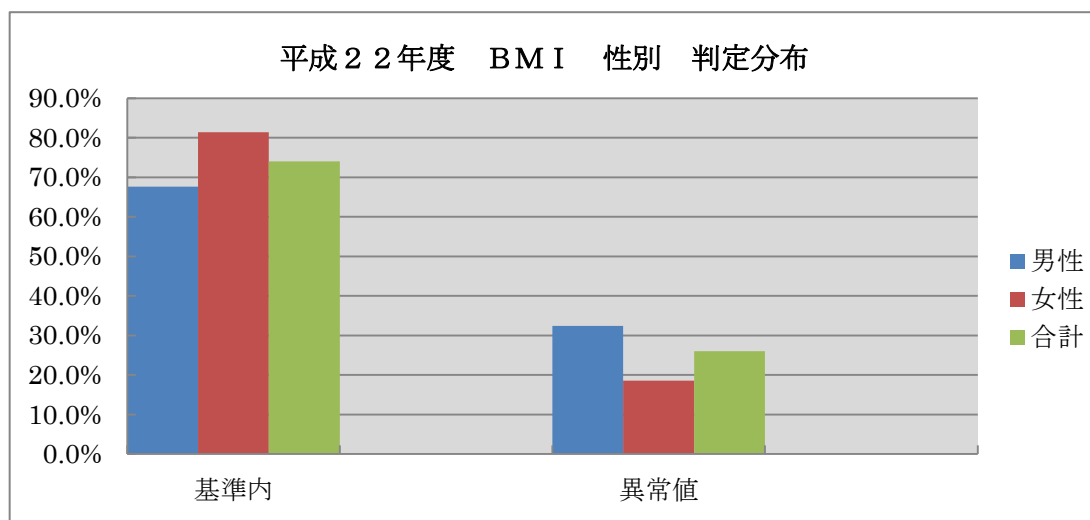
1. 腹囲の異常値率は、男性は40歳以上でほぼ一定であり、女性は加齢とともに緩やかに上昇していた。



③ BMI

	基準内	異常値
男性	67.6%	32.4%
女性	81.4%	18.6%
合計	74.0%	26.0%

1. BMIの異常値率は、全体は26.0%、男性は32.4%、女性は18.6%であり、女性に比べて男性が10%以上高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	1,649 68.1%	440 63.8%	379 65.6%	406 66.3%	462 69.4%	325 68.9%	124 72.9%	60 77.9%	3,845 67.6%
異常値	773 31.9%	250 36.2%	199 34.4%	206 33.7%	204 30.6%	147 31.1%	46 27.1%	17 22.1%	1,842 32.4%
計	2,422	690	578	612	666	472	170	77	5,687

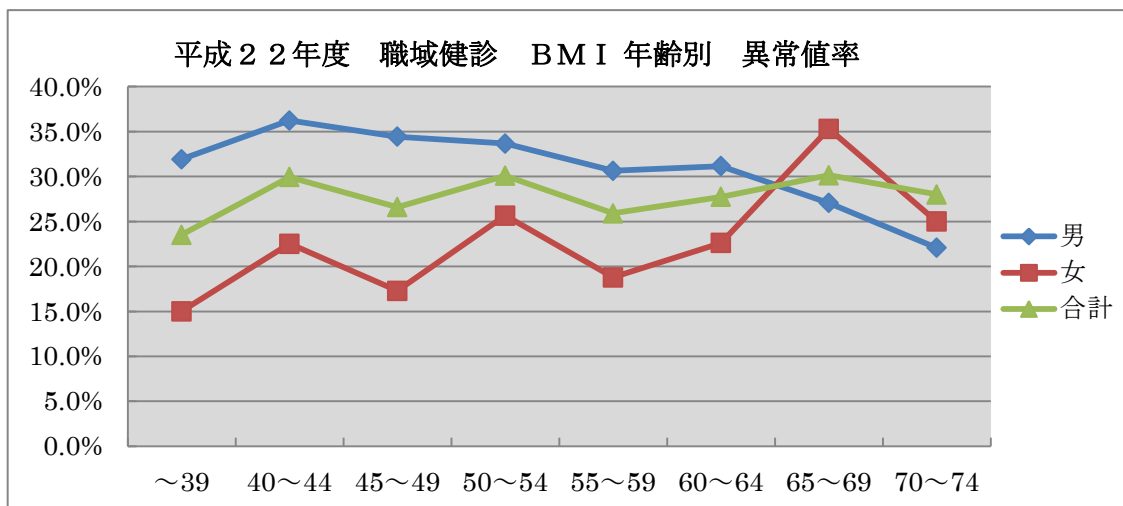
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	2,037 85.0%	454 77.5%	402 82.7%	368 74.3%	359 81.2%	243 77.4%	66 64.7%	33 75.0%	3,962 81.4%
異常値	360 15.0%	132 22.5%	84 17.3%	127 25.7%	83 18.8%	71 22.6%	36 35.3%	11 25.0%	904 18.6%
計	2,397	586	486	495	442	314	102	44	4,866

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	3,686 76.5%	894 70.1%	781 73.4%	774 69.9%	821 74.1%	568 72.3%	190 69.9%	93 76.9%	7,807 74.0%
異常値	1,133 23.5%	382 29.9%	283 26.6%	333 30.1%	287 25.9%	218 27.7%	82 30.1%	28 28.0%	2,746 26.0%
計	4,819	1,276	1,064	1,107	1,108	786	272	121	10,553

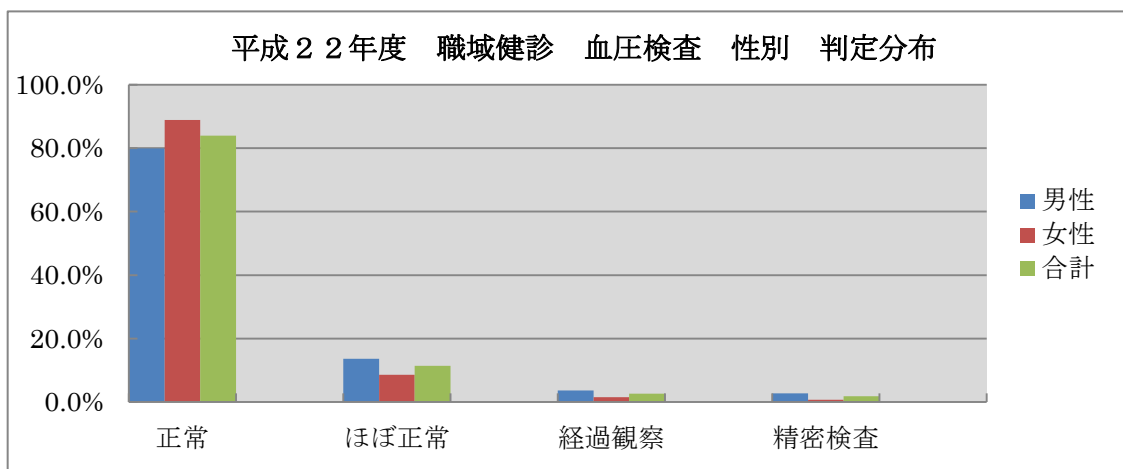
1. 女性は加齢により上昇し、逆に男性は徐々に低下する傾向であった。65歳以上は参考データである。



④ 血圧検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	79.9%	13.7%	3.7%	2.8%
女性	88.9%	8.6%	1.6%	0.8%
合計	84.0%	11.4%	2.7%	1.9%

1. 血圧の要精密検査率は、全体は 1.9%、男性は 2.8%、女性は 0.8%であり、女性に比べて男性の方が 3 倍以上高かった。



男性

年齢	~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	合計
正常	2,176 89.8%	578 82.5%	468 79.3%	470 73.7%	470 67.3%	309 63.4%	111 64.5%	42 54.5%	4,624 79.9%
ほぼ正常	190 7.8%	84 12.0%	64 10.8%	105 16.5%	162 23.2%	119 24.4%	45 26.2%	21 27.3%	790 13.7%
要経過観察	36 1.5%	17 2.4%	32 5.4%	37 5.8%	33 4.7%	37 7.6%	11 6.4%	9 11.7%	212 3.7%
要精密検査	21 0.9%	22 3.1%	26 4.4%	26 4.1%	33 4.7%	22 4.5%	5 2.9%	5 6.5%	160 2.8%
計	2,423	701	590	638	698	487	172	77	5,786

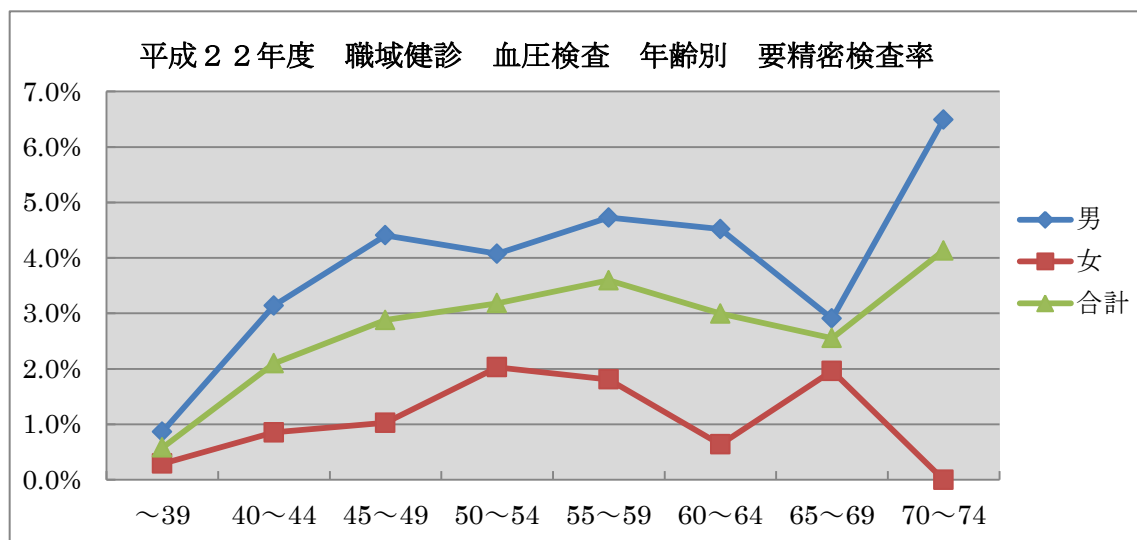
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,282 95.2%	518 88.4%	425 87.3%	420 85.2%	342 77.4%	233 74.2%	74 72.5%	32 72.7%	4,326 88.9%
ほぼ正常	97 4.0%	55 9.4%	52 10.7%	50 10.1%	79 17.9%	60 19.1%	17 16.7%	9 20.5%	419 8.6%
要経過観察	10 0.4%	8 1.4%	5 1.0%	13 2.6%	13 2.9%	19 6.1%	9 8.8%	3 6.8%	80 1.6%
要精密検査	7 0.3%	5 0.9%	5 1.0%	10 2.0%	8 1.8%	2 0.6%	2 2.0%	0 0.0%	39 0.8%
計	2,396	586	487	493	442	314	102	44	4,864

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	4,458 92.5%	1,096 85.2%	893 82.9%	890 78.7%	812 71.2%	542 67.7%	185 67.5%	74 61.2%	8,950 84.0%
ほぼ正常	287 6.0%	139 10.8%	116 231.0%	155 13.7%	241 21.1%	179 22.3%	62 22.6%	30 24.8%	1,209 11.4%
要経過観察	46 1.0%	25 1.9%	37 3.4%	50 4.4%	46 4.0%	56 7.0%	20 7.3%	12 9.9%	292 2.7%
要精密検査	28 0.6%	27 2.1%	31 2.9%	36 3.2%	41 3.6%	24 3.0%	7 2.6%	5 4.1%	199 1.9%
計	4,819	1,287	1,077	1,131	1,140	801	274	121	10,650

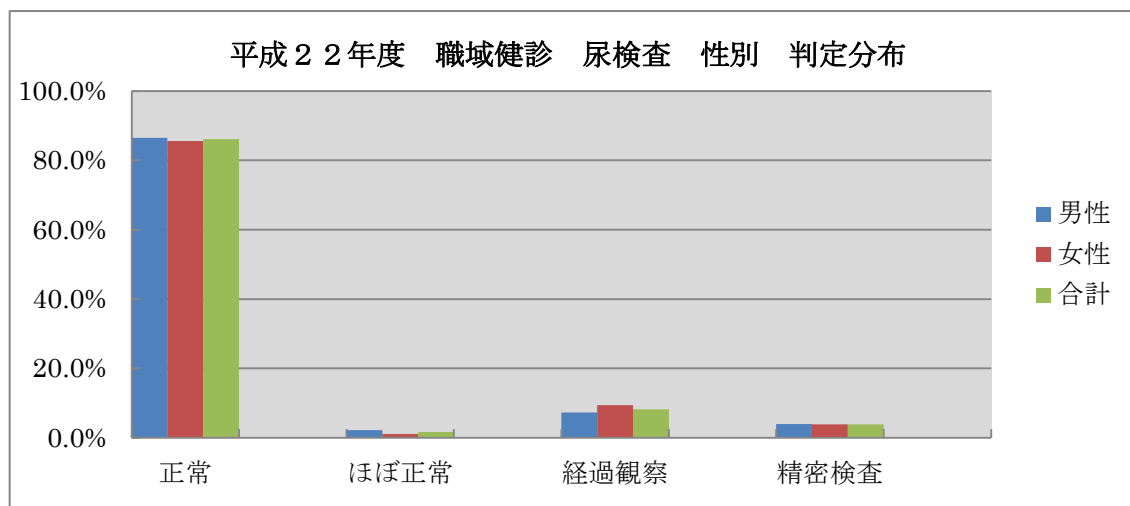
1. 血圧の要精密検査率は、加齢とともに男性は上昇し、55歳～59歳で最大となった。女性は55歳～59歳で2%まで上昇した。65歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑤ 尿検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	86.5%	2.2%	7.3%	4.0%
女性	85.6%	1.1%	9.4%	3.9%
合計	86.1%	1.7%	8.2%	3.9%

1. 尿検査の要精密検査率は、全体は 3.9%、男性は 4.0%、女性は 3.9%であり、性差は認められなかった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,254 92.5%	620 87.8%	500 85.2%	528 82.9%	567 81.2%	367 75.7%	122 71.3%	59 76.6%	5,017 86.5%
ほぼ正常	41 1.7%	12 1.7%	8 1.4%	20 3.1%	19 2.7%	17 3.5%	7 4.1%	2 2.6%	126 2.2%
要経過観察	102 4.2%	47 6.7%	48 8.2%	53 8.3%	77 11.0%	62 12.8%	24 14.0%	11 14.3%	424 7.3%
要精密検査	39 1.6%	27 3.8%	31 5.3%	36 5.7%	35 5.0%	39 8.0%	18 10.5%	5 6.5%	230 4.0%
計	2,436	706	587	637	698	485	171	77	5,797

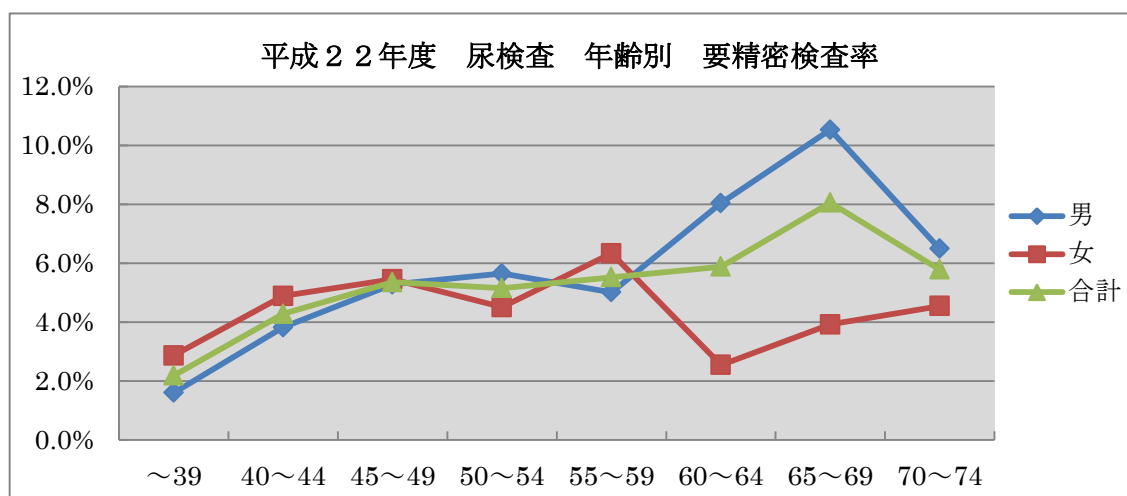
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,906 89.6%	446 83.8%	372 84.5%	405 83.0%	353 79.9%	246 78.3%	76 74.5%	38 86.4%	3,842 85.6%
ほぼ正常	25 1.2%	4 0.8%	3 0.7%	3 0.6%	6 1.4%	5 1.6%	2 2.0%	1 2.3%	49 1.1%
要経過観察	136 6.4%	56 10.5%	41 9.3%	58 11.9%	55 12.4%	55 17.5%	20 19.6%	3 6.8%	424 9.4%
要精密検査	61 2.9%	26 4.9%	24 5.5%	22 4.5%	28 6.3%	8 2.5%	4 3.9%	2 4.5%	175 3.9%
計	2,128	532	440	488	442	314	102	44	4,490

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	4,160 91.1%	1,066 86.1%	872 84.9%	933 82.9%	920 80.7%	613 76.7%	198 72.5%	97 80.2%	8,859 86.1%
ほぼ正常	66 1.4%	16 1.3%	11 231.0%	23 2.0%	25 2.2%	22 2.8%	9 3.3%	3 2.5%	175 1.7%
要経過観察	238 5.2%	103 8.3%	89 8.7%	111 9.9%	132 11.6%	117 14.6%	44 16.1%	14 11.6%	848 8.2%
要精密検査	100 2.2%	53 4.3%	55 5.4%	58 5.2%	63 5.5%	47 5.9%	22 8.1%	7 5.8%	405 3.9%
計	4,564	1,238	1,027	1,125	1,140	799	273	121	10,287

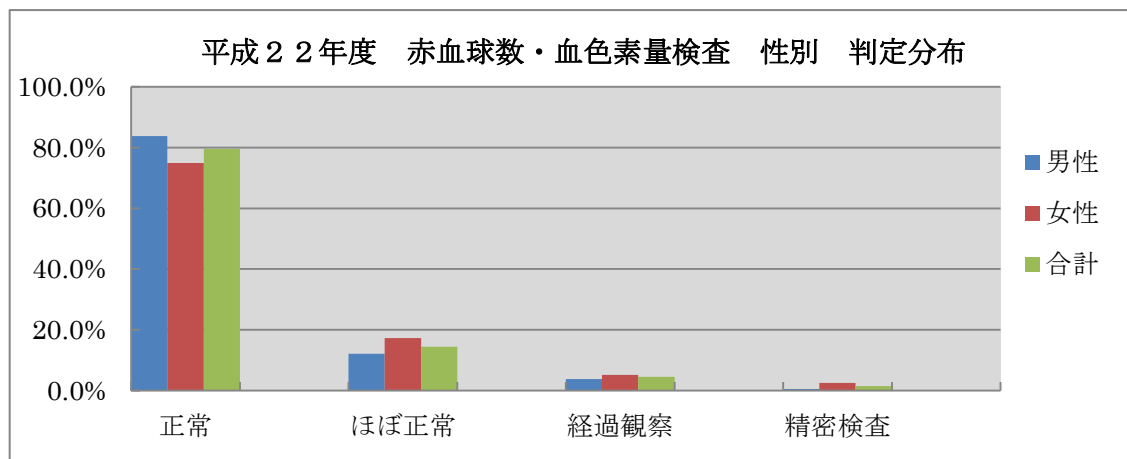
1. 尿検査の要精密検査率は、加齢に伴い上昇傾向であった。



⑥ 赤血球数・血色素量 検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	83.7%	12.1%	3.8%	0.5%
女性	74.9%	17.3%	5.2%	2.6%
合計	79.5%	14.5%	4.5%	1.5%

1. 赤血球数・血色素量の要精密検査率は、全体1.5%、男性0.5%、女性2.6%であった。男性に比べて女性が5倍ほど高かった。要因は要精密検査の99%を貧血が占め、閉経前の貧血が多いためと考えられた。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,472 86.0%	575 86.1%	498 87.5%	490 81.9%	529 82.0%	322 76.8%	119 78.3%	37 56.1%	4,042 83.7%
ほぼ正常	209 12.2%	76 11.4%	55 9.7%	85 14.2%	72 11.2%	53 12.6%	20 13.2%	12 18.2%	582 12.1%
要経過観察	26 1.5%	17 2.5%	14 2.5%	17 2.8%	42 6.5%	39 9.3%	13 8.6%	15 22.7%	183 3.8%
要精密検査	5 0.3%	0 0.0%	2 0.4%	6 1.0%	2 0.3%	5 1.2%	0 0.0%	2 3.0%	22 0.5%
計	1,712	668	569	598	645	419	152	66	4,829

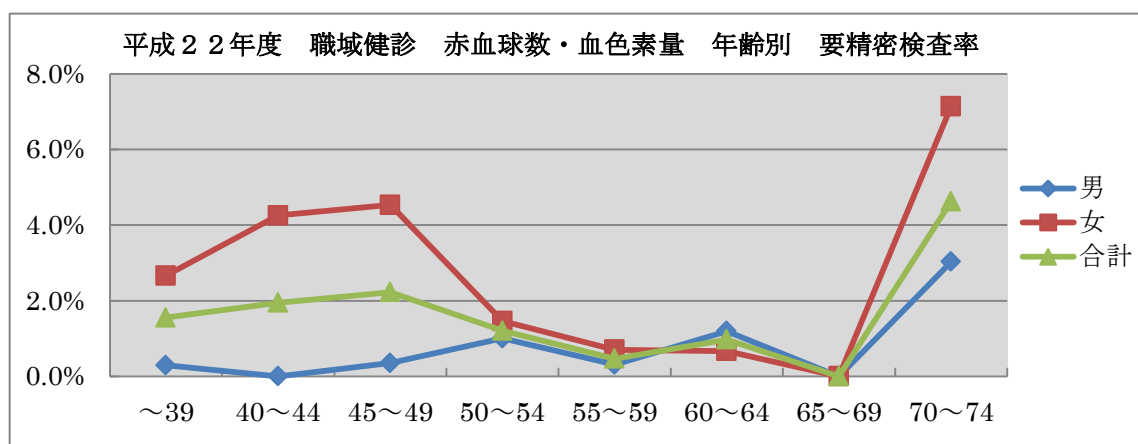
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,494 76.6%	394 69.9%	311 67.2%	382 79.7%	329 77.4%	243 81.5%	58 63.7%	19 45.2%	3,230 74.9%
ほぼ正常	328 16.8%	106 18.8%	94 20.3%	65 13.6%	75 17.6%	42 14.1%	24 26.4%	13 31.0%	747 17.3%
要経過観察	77 3.9%	40 7.1%	37 8.0%	25 5.2%	18 4.2%	11 3.7%	9 9.9%	7 16.7%	224 5.2%
要精密検査	52 2.7%	24 4.3%	21 4.5%	7 1.5%	3 0.7%	2 0.7%	0 0.0%	3 7.1%	112 2.6%
計	1,951	564	463	479	425	298	91	42	4,313

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,966 81.0%	969 78.7%	809 78.4%	872 81.0%	858 80.2%	565 78.8%	177 72.8%	56 51.9%	7,272 79.5%
ほぼ正常	537 14.7%	182 14.8%	149 231.0%	150 13.9%	147 13.7%	95 13.2%	44 18.1%	25 23.1%	1,329 14.5%
要経過観察	103 2.8%	57 4.6%	51 4.9%	42 3.9%	60 5.6%	50 7.0%	22 9.1%	22 20.4%	407 4.5%
要精密検査	57 1.6%	24 1.9%	23 2.2%	13 1.2%	5 0.5%	7 1.0%	0 0.0%	5 4.6%	134 1.5%
計	3,663	1,232	1,032	1,077	1,070	717	243	108	9,142

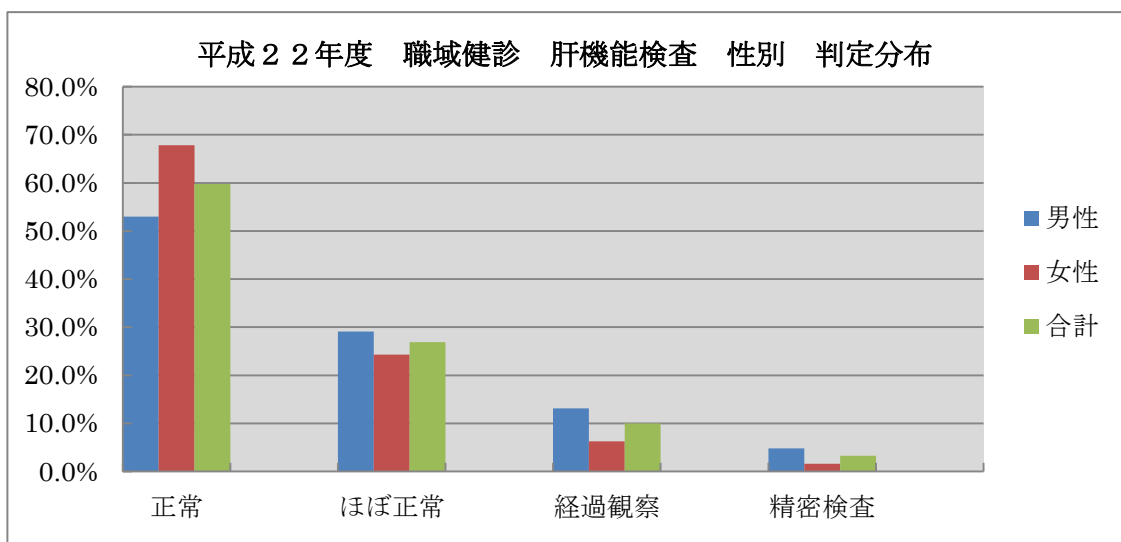
1. 赤血球数・血色素量の要精密検査率は、男性は加齢による変化はなく、女性は50歳から男性と同じ1%以下に低下した。貧血が異常値の99%を占め、50歳以上では閉経により貧血が減少するためと考えられた。



⑦ 肝機能検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	53.0%	29.1%	13.1%	4.8%
女性	67.8%	24.3%	6.3%	1.6%
合計	59.8%	26.9%	10.0%	3.3%

1. 肝機能検査の要精密検査率は、男性 4.8%、女性 1.6%と、女性に比べて男性が 3 倍高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	905 53.6%	333 49.6%	261 46.0%	297 50.0%	371 57.4%	240 57.1%	103 67.3%	39 59.1%	2,549 53.0%
ほぼ正常	495 29.3%	191 28.5%	174 30.6%	188 31.6%	174 26.9%	117 27.9%	36 23.5%	22 33.3%	1,397 29.1%
要経過観察	215 12.7%	107 15.9%	103 18.1%	72 12.1%	66 10.2%	50 11.9%	11 7.2%	5 7.6%	629 13.1%
要精密検査	73 4.3%	40 6.0%	30 5.3%	37 6.2%	35 5.4%	13 3.1%	3 2.0%	0 0.0%	231 4.8%
計	1,688	671	568	594	646	420	153	66	4,806

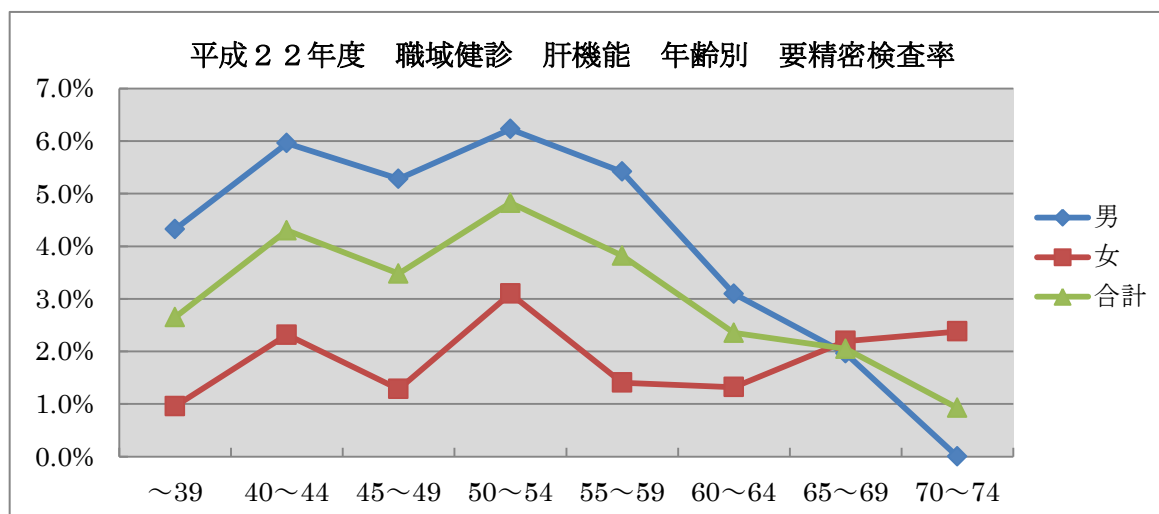
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,234 74.0%	393 70.1%	316 67.7%	292 60.3%	252 59.0%	173 57.1%	55 60.4%	27 64.3%	2,742 67.8%
ほぼ正常	318 19.1%	121 21.6%	122 26.1%	139 28.7%	139 32.6%	107 35.3%	27 29.7%	9 21.4%	982 24.3%
要経過観察	100 6.0%	34 6.1%	23 4.9%	38 7.9%	30 7.0%	19 6.3%	7 7.7%	5 11.9%	256 6.3%
要精密検査	16 1.0%	13 2.3%	6 1.3%	15 3.1%	6 1.4%	4 1.3%	2 2.2%	1 2.4%	63 1.6%
計	1,668	561	467	484	427	303	91	42	4,043

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,139 63.7%	726 58.9%	577 55.7%	589 54.6%	623 58.1%	413 57.1%	158 64.8%	66 61.1%	5,291 59.8%
ほぼ正常	813 24.2%	312 25.3%	296 231.0%	327 30.3%	313 29.2%	224 31.0%	63 25.8%	31 28.7%	2,379 26.9%
要経過観察	315 9.4%	141 11.4%	126 12.2%	110 10.2%	96 8.9%	69 9.5%	18 7.4%	10 9.3%	885 10.0%
要精密検査	89 2.7%	53 4.3%	36 3.5%	52 4.8%	41 3.8%	17 2.4%	5 2.0%	1 0.9%	294 3.3%
計	3,356	1,232	1,035	1,078	1,073	723	244	108	8,849

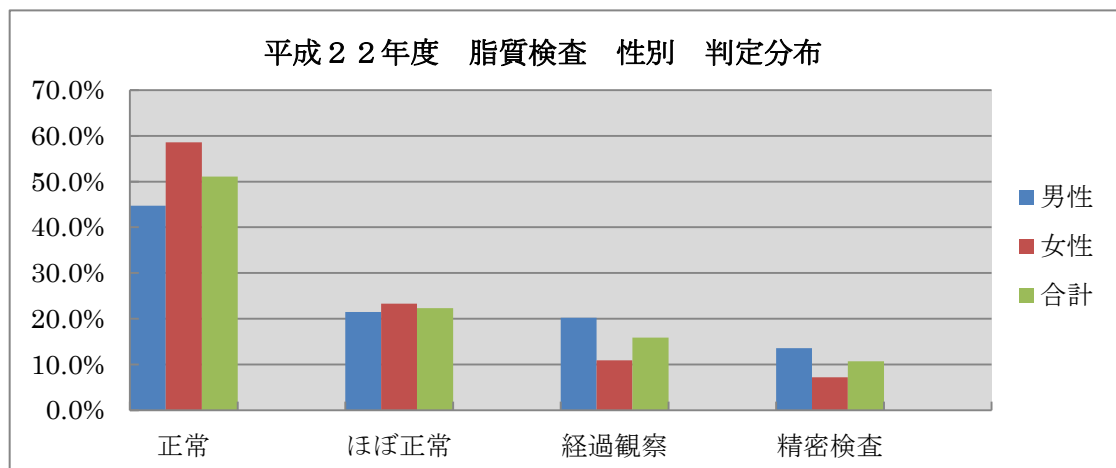
1. 肝機能検査の要精密検査率は、男性は59歳まで5%以上を示し、その後年齢とともに低下した。女性は加齢による変化は少なく2%前後を示した。65歳以上は人数が少なく参考データである。



⑧ 脂質検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	44.7%	21.5%	20.2%	13.6%
女性	58.6%	23.3%	10.9%	7.2%
合計	51.1%	22.3%	15.9%	10.7%

1. 脂質検査の要精密検査率は、全体 10.7%、男性 13.6%、女性 7.2%であり、女性に比べ男性が2倍近く高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	839 50.9%	252 37.8%	220 38.7%	254 42.8%	275 42.8%	181 43.3%	74 49.0%	31 47.0%	2,126 44.7%
ほぼ正常	355 21.5%	135 20.3%	126 22.1%	120 20.2%	139 21.7%	99 23.7%	33 21.9%	16 24.2%	1,023 21.5%
要経過観察	279 16.9%	165 24.8%	108 19.0%	133 22.4%	139 21.7%	98 23.4%	29 19.2%	9 13.6%	960 20.2%
要精密検査	176 10.7%	114 17.1%	115 20.2%	87 14.6%	89 13.9%	40 9.6%	15 9.9%	10 15.2%	646 13.6%
計	1,649	666	569	594	642	418	151	66	4,755

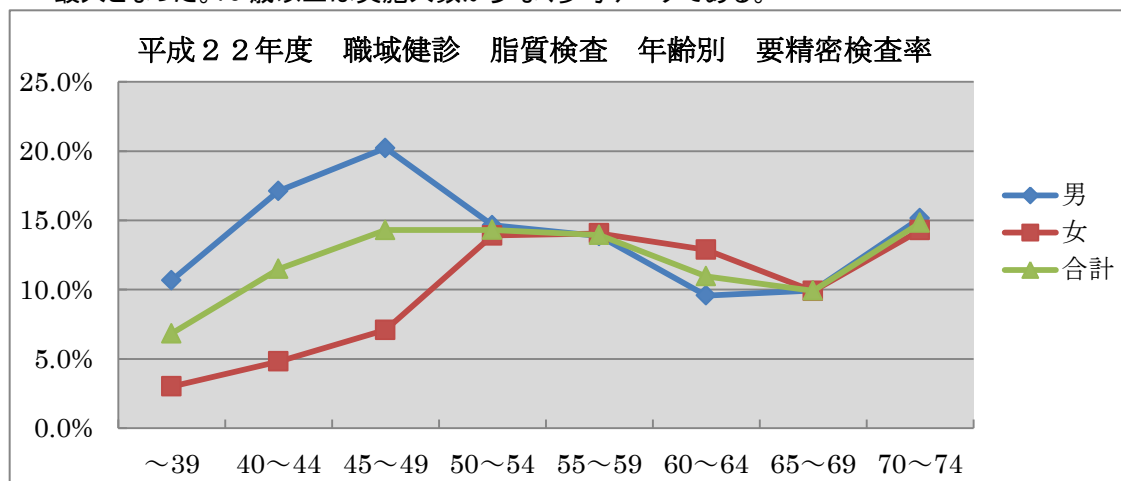
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,090 65.6%	356 63.5%	273 58.6%	239 49.6%	198 46.4%	143 47.2%	44 48.4%	21 50.0%	2,364 58.6%
ほぼ正常	436 26.2%	126 22.5%	102 21.9%	98 20.3%	87 20.4%	64 21.1%	20 22.0%	6 14.3%	939 23.3%
要経過観察	85 5.1%	52 9.3%	58 12.4%	78 16.2%	82 19.2%	57 18.8%	18 19.8%	9 21.4%	439 10.9%
要精密検査	50 3.0%	27 4.8%	33 7.1%	67 13.9%	60 14.1%	39 12.9%	9 9.9%	6 14.3%	291 7.2%
計	1,661	561	466	482	427	303	91	42	4,033

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,929 58.3%	608 49.6%	493 47.6%	493 45.8%	473 44.2%	324 44.9%	118 48.8%	52 48.1%	4,490 63.9%
ほぼ正常	791 23.9%	261 21.3%	228 23.0%	218 20.3%	226 21.1%	163 22.6%	53 21.9%	22 20.4%	200 2.8%
要経過観察	364 11.0%	217 17.7%	166 16.0%	211 19.6%	221 20.7%	155 21.5%	47 19.4%	18 16.7%	1,399 19.9%
要精密検査	226 6.8%	141 11.5%	148 14.3%	154 14.3%	149 13.9%	79 11.0%	24 9.9%	16 14.8%	937 13.3%
計	3,310	1,227	1,035	1,076	1,069	721	242	108	7,026

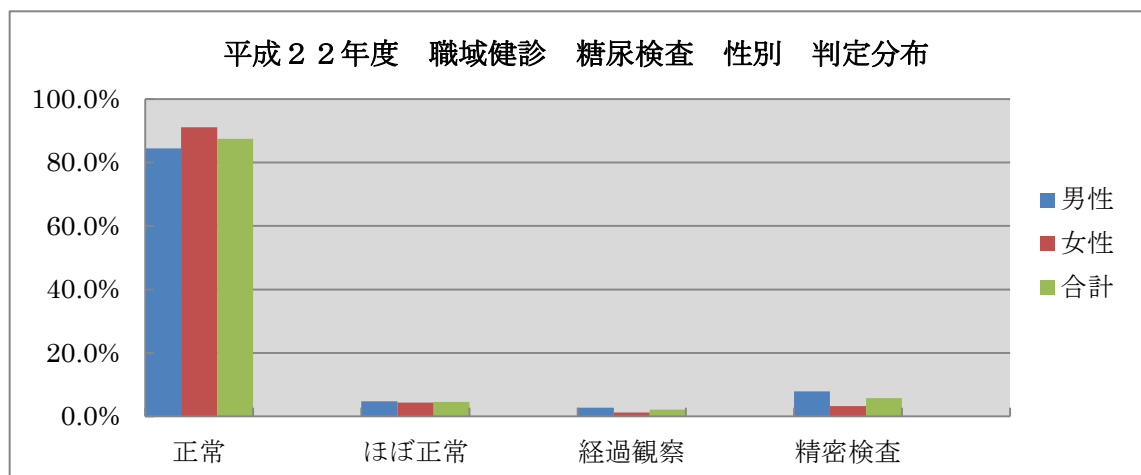
1. 脂質検査の要精密検査率は、男性は45歳～49歳で最大となり以後減少した。女性は50歳～54歳で最大となった。70歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑨ 糖尿検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	84.5%	4.8%	2.7%	7.9%
女性	91.1%	4.4%	1.2%	3.2%
合計	87.5%	4.6%	2.1%	5.8%

1. 糖尿検査の要精密検査率は、全体 5.8%、男性 7.9%、女性 3.2%であった。女性に比べて男性が 2 倍以上高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,498 92.4%	585 88.6%	476 84.0%	484 81.5%	496 77.7%	301 72.0%	101 66.9%	44 66.7%	3,985 84.5%
ほぼ正常	69 4.3%	34 5.2%	20 3.5%	25 4.2%	47 7.4%	19 4.5%	12 7.9%	2 3.0%	228 4.8%
要経過観察	21 1.3%	6 0.9%	21 3.7%	17 2.9%	27 4.2%	23 5.5%	6 4.0%	8 12.1%	129 2.7%
要精密検査	34 2.1%	35 5.3%	50 8.8%	68 11.4%	68 10.7%	75 17.9%	32 21.2%	12 18.2%	374 7.9%
計	1,622	660	567	594	638	418	151	66	4,716

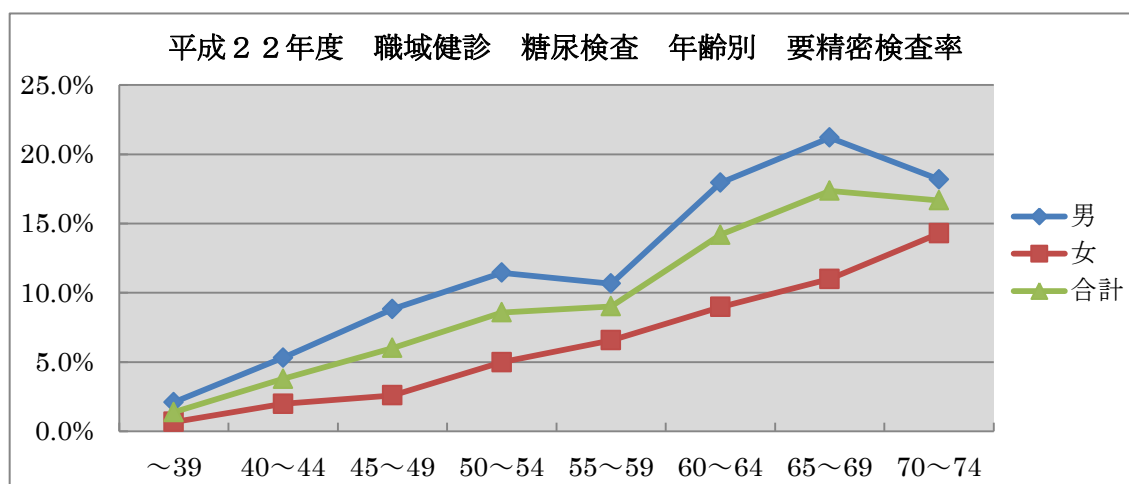
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,536 93.3%	527 94.6%	431 92.9%	429 89.0%	371 87.1%	254 84.4%	77 84.6%	28 66.7%	3,653 91.1%
ほぼ正常	91 5.5%	16 2.9%	19 4.1%	20 4.1%	14 3.3%	11 3.7%	3 3.3%	3 7.1%	177 4.4%
要経過観察	8 0.5%	3 1.0%	2 0.4%	9 1.9%	13 3.1%	9 3.0%	1 1.1%	5 11.9%	50 1.2%
要精密検査	11 0.7%	11 2.0%	12 2.6%	24 5.0%	28 6.6%	27 9.0%	10 11.0%	6 14.3%	129 3.2%
計	1,646	557	464	482	426	301	91	42	4,009

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	3,034 92.8%	1,112 91.4%	907 88.0%	910 84.8%	867 81.5%	555 77.2%	178 73.6%	72 66.7%	7,635 87.5%
ほぼ正常	160 4.9%	50 4.1%	39 3.8%	45 4.2%	61 5.7%	30 4.2%	15 6.2%	5 4.6%	405 4.6%
要経過観察	29 0.9%	9 0.7%	23 2.2%	26 2.4%	40 3.8%	32 4.5%	7 2.9%	13 12.0%	179 2.1%
要精密検査	45 1.4%	46 3.8%	62 6.0%	92 8.6%	96 9.0%	102 14.2%	42 17.4%	18 16.7%	503 5.8%
計	3,268	1,217	1,031	1,073	1,064	719	242	108	8,722

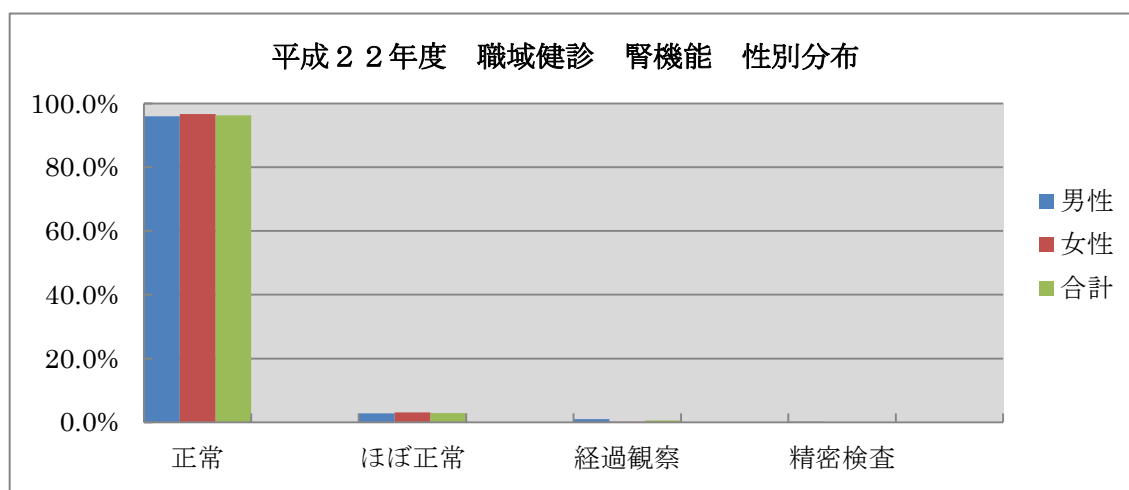
1. 糖尿検査の精密検査率は年齢とともに上昇した。70歳以上は人数が少なく参考データである。



⑩ 腎機能検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	96.0%	2.8%	1.0%	0.2%
女性	96.7%	3.1%	0.2%	0.0%
合計	96.3%	2.9%	0.6%	0.1%

1. 腎機能検査の精密検査率は、男性が女性に比べ2倍ほど高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	893 98.6%	353 97.8%	291 96.4%	311 95.1%	325 92.6%	143 89.9%	43 89.6%	33 86.8%	2,392 96.0%
ほぼ正常	11 1.2%	6 1.7%	6 2.0%	11 3.4%	21 6.0%	10 6.3%	2 4.2%	3 7.9%	70 2.8%
要経過観察	2 0.2%	2 0.6%	5 1.7%	4 1.2%	4 1.1%	5 3.1%	2 4.2%	0 0.0%	24 1.0%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.6%	1 2.1%	2 5.3%	6 0.2%
計	906	361	302	327	351	159	48	38	2,492

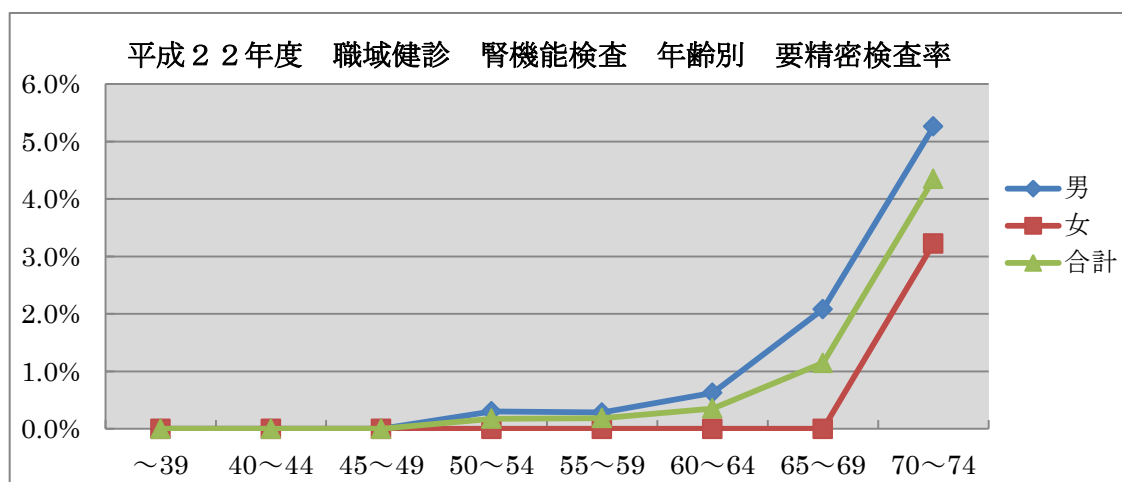
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,008 98.3%	309 98.4%	226 95.4%	226 93.0%	171 94.5%	117 95.9%	34 87.2%	28 90.3%	2,119 96.7%
ほぼ正常	16 1.6%	5 1.6%	10 4.2%	17 7.0%	9 5.0%	5 4.1%	5 12.8%	1 3.2%	68 3.1%
要経過観察	1 0.1%	0 1.0%	1 0.4%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%	4 0.2%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%	1 0.0%
計	1,025	314	237	243	181	122	39	31	2,192

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,901 98.4%	662 98.1%	517 95.9%	537 94.2%	496 93.2%	260 92.5%	77 88.5%	61 88.4%	4,511 96.3%
ほぼ正常	27 1.4%	11 1.6%	16 3.1%	28 4.9%	30 5.6%	15 5.3%	7 8.0%	4 5.8%	138 2.9%
要経過観察	3 0.2%	2 0.3%	6 1.1%	4 0.7%	5 0.9%	5 1.8%	2 2.3%	1 1.4%	28 0.6%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%	1 0.4%	1 1.1%	3 4.3%	7 0.1%
計	1,931	675	539	570	532	281	87	69	4,684

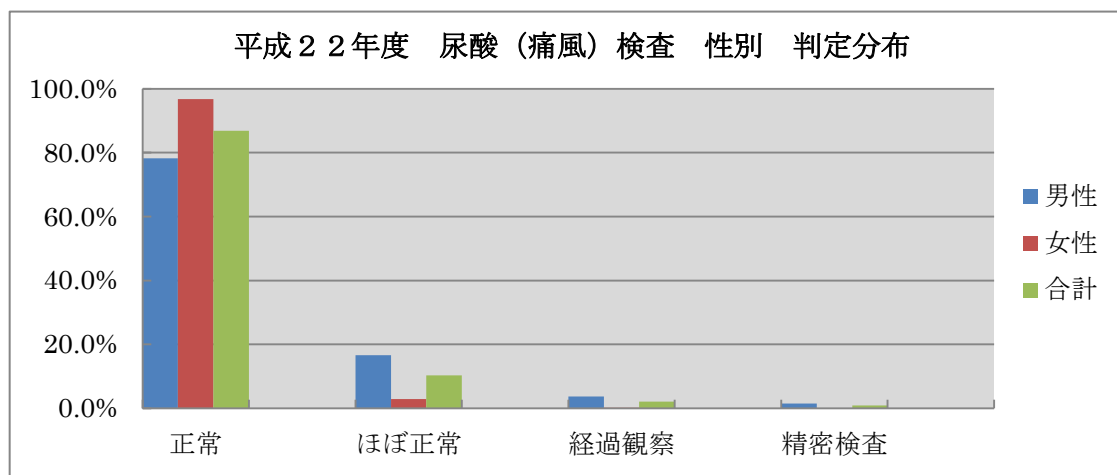
1. 腎機能検査の精密検査率は、女性に比べて男性の方が高かった。65歳以上は人数が少なく参考データである。



⑪ 尿酸（痛風）検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	78.2%	16.6%	3.7%	1.5%
女性	96.8%	2.9%	0.2%	0.1%
合計	86.8%	10.3%	2.1%	0.9%

1. 尿酸の要精密検査率は、全体0.9%、男性1.5%、女性0.1%であり、男性が女性に比べ10倍以上高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	800 78.6%	307 74.3%	280 78.4%	313 81.7%	309 76.3%	152 78.4%	54 90.0%	28 71.8%	2,243 78.2%
ほぼ正常	159 15.6%	83 20.1%	59 16.5%	51 13.3%	76 18.8%	35 18.0%	4 6.7%	10 25.6%	477 16.6%
要経過観察	42 4.1%	14 3.4%	13 3.6%	16 4.2%	16 4.0%	3 1.5%	1 1.7%	1 2.6%	106 3.7%
要精密検査	17 1.7%	9 2.2%	5 1.4%	3 0.8%	4 1.0%	4 2.1%	1 1.7%	0 0.0%	43 1.5%
計	1,018	413	357	383	405	194	60	39	2,869

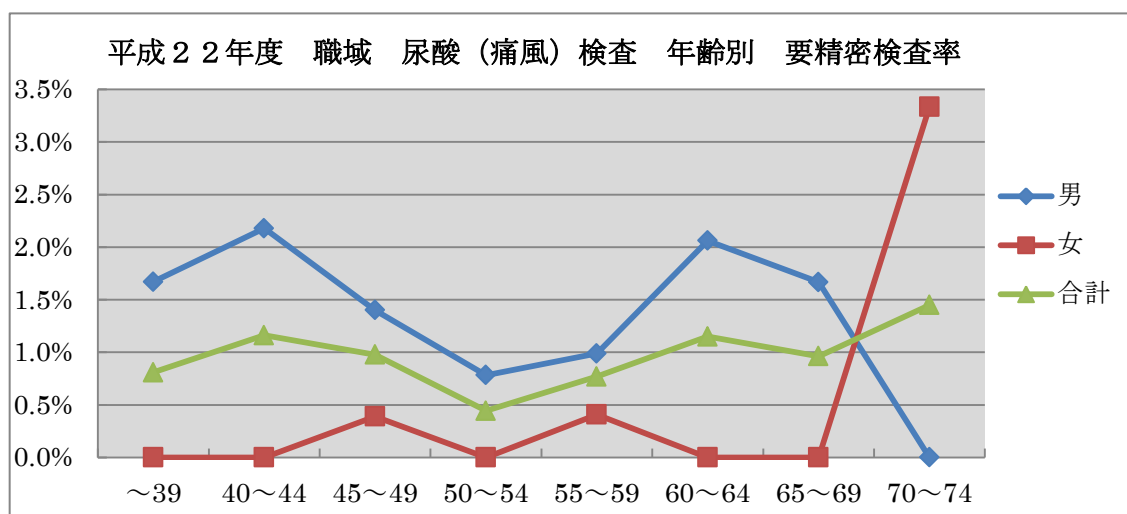
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,054 97.3%	348 96.1%	246 95.7%	281 95.9%	238 97.1%	150 97.4%	43 97.7%	28 93.3%	2,388 96.8%
ほぼ正常	28 2.6%	14 3.9%	9 3.5%	11 3.8%	5 2.0%	4 2.6%	0 0.0%	1 3.3%	72 2.9%
要経過観察	1 0.1%	0 1.0%	1 0.4%	1 0.3%	1 0.4%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	5 0.2%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	3 0.1%
計	1,083	362	257	293	245	154	44	30	2,468

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,854 88.2%	655 84.5%	526 85.7%	594 87.9%	547 84.2%	302 86.8%	97 93.3%	56 81.2%	4,631 86.8%
ほぼ正常	187 8.9%	97 12.5%	68 231.0%	62 9.2%	81 12.5%	39 11.2%	4 3.8%	11 15.9%	549 10.3%
要経過観察	43 2.0%	14 1.8%	14 2.3%	17 2.5%	17 2.6%	3 0.9%	2 1.9%	1 1.4%	111 2.1%
要精密検査	17 0.8%	9 1.2%	6 1.0%	3 0.4%	5 0.8%	4 1.1%	1 1.0%	1 1.4%	46 0.9%
計	2,101	775	614	676	650	348	104	69	5,337

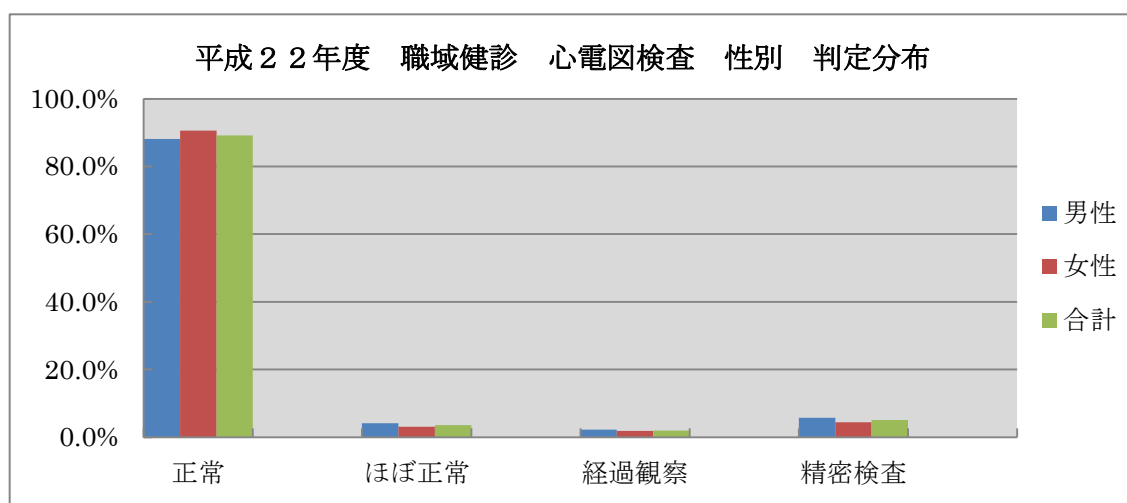
- 尿酸の要精密検査率は、常に女性よりも男性が数倍傾向であった。70歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑫ 心電図検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	88.1%	4.1%	2.2%	5.7%
女性	90.6%	3.1%	1.9%	4.4%
合計	89.2%	3.6%	2.0%	5.1%

- 心電図の要精密検査率は、全体 5.1%、男性 5.7%、女性 4.4%と女性に比べて男性が高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,128 94.9%	561 91.1%	502 91.4%	494 86.8%	525 84.4%	290 73.6%	112 78.3%	31 56.4%	3,643 88.1%
ほぼ正常	27 2.3%	23 3.7%	18 3.3%	32 5.6%	36 5.8%	21 5.3%	8 5.6%	5 9.1%	170 4.1%
要経過観察	13 1.1%	11 1.8%	7 1.3%	12 2.1%	16 2.6%	19 4.8%	7 4.9%	4 7.3%	89 2.2%
要精密検査	21 1.8%	21 3.4%	22 4.0%	31 5.4%	45 7.2%	64 16.2%	16 11.2%	15 27.3%	235 5.7%
計	1,189	616	549	569	622	394	143	55	4,137

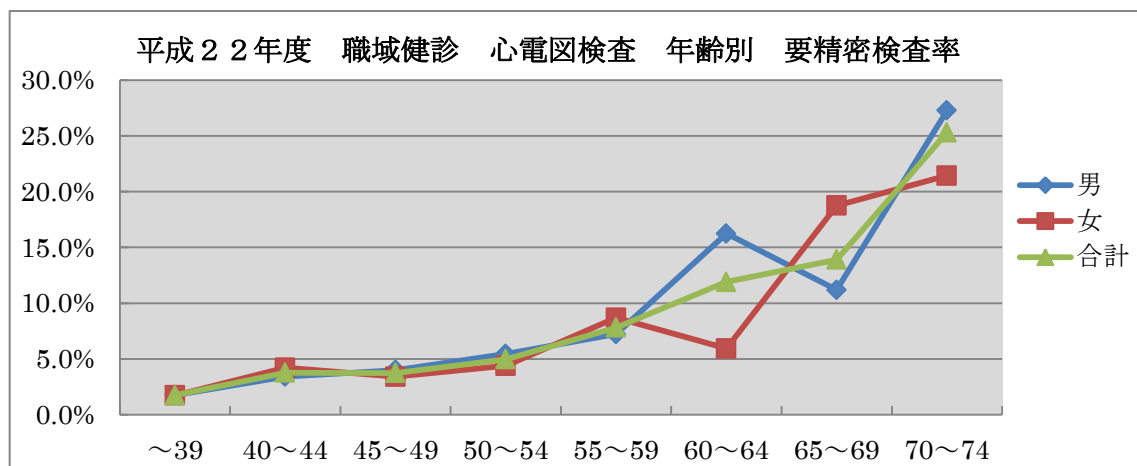
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,137 93.9%	481 92.1%	399 90.7%	416 91.4%	359 86.7%	246 86.0%	55 68.8%	20 71.4%	3,113 90.6%
ほぼ正常	33 2.7%	14 2.7%	16 3.6%	13 2.9%	15 3.6%	11 3.8%	3 3.8%	1 3.6%	106 3.1%
要経過観察	20 1.7%	5 1.0%	10 2.3%	6 1.3%	4 1.0%	12 4.2%	7 8.8%	1 3.6%	65 1.9%
要精密検査	21 1.7%	22 4.2%	15 3.4%	20 4.4%	36 8.7%	17 5.9%	15 18.8%	6 21.4%	152 4.4%
計	1,211	522	440	455	414	286	80	28	3,436

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,265 94.4%	1,042 91.6%	901 91.1%	910 88.9%	884 85.3%	536 78.8%	167 74.9%	51 61.4%	6,756 89.2%
ほぼ正常	60 2.5%	37 3.3%	34 3.4%	45 4.4%	51 4.9%	32 4.7%	11 4.9%	6 7.2%	276 3.6%
要経過観察	33 1.4%	16 1.4%	17 1.7%	18 1.8%	20 1.9%	31 4.6%	14 6.3%	5 6.0%	154 2.0%
要精密検査	42 1.8%	43 3.8%	37 3.7%	51 5.0%	81 7.8%	81 11.9%	31 13.9%	21 25.3%	387 5.1%
計	2,400	1,138	989	1,024	1,036	680	223	83	7,573

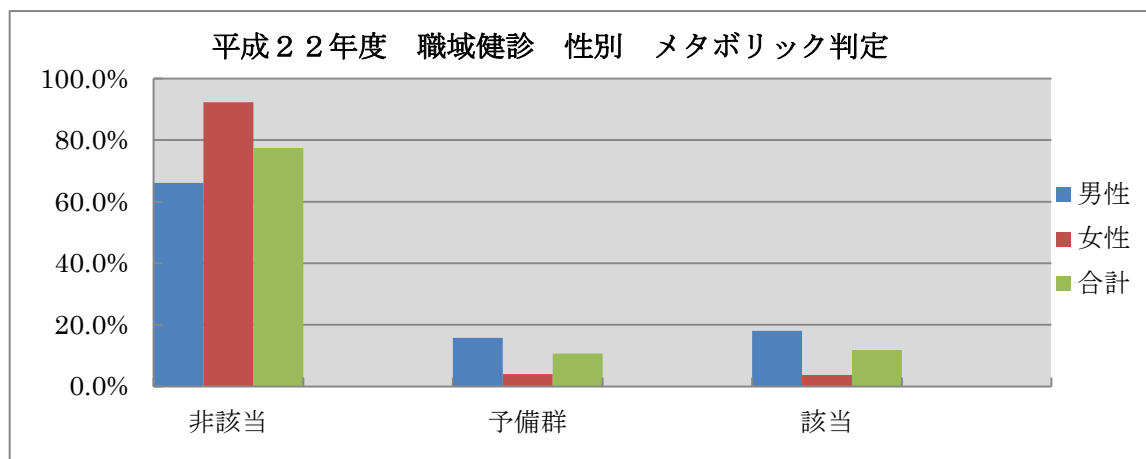
1. 心電図の要精密検査率は、男女ともに年齢とともに上昇していた。65歳以上は実施人数が少なく参考データである



⑬ メタボリックシンドローム

	非該当	予備群	該当
男性	66.1%	15.8%	18.1%
女性	92.3%	4.0%	3.7%
合計	77.4%	10.7%	11.8%

1. メタボリックシンドロームの該当率は、全体 11.8%、男性 18.1%、女性 3.7%と女性に比べて男性が5倍高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
非該当	657 72.8%	412 65.2%	369 67.0%	358 62.5%	394 62.9%	255 63.0%	91 61.5%	41 66.1%	2,577 66.1%
予備群	138 15.3%	111 17.6%	90 16.3%	96 16.8%	92 14.7%	59 14.6%	23 15.5%	9 14.5%	618 15.8%
該当	108 12.0%	109 17.2%	92 16.7%	119 20.8%	140 22.4%	91 22.5%	34 23.0%	12 19.4%	705 18.1%
計	903	632	551	573	626	405	148	62	3,900

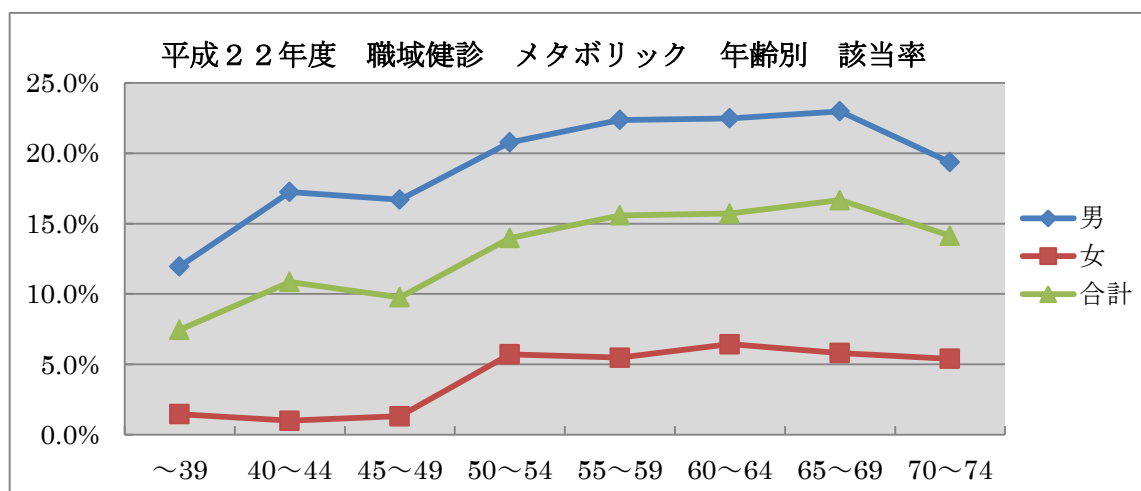
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	652 96.0%	487 92.1%	433 95.8%	416 88.1%	374 89.0%	269 91.2%	76 88.4%	34 91.9%	2,741 92.3%
ほぼ正常	17 2.5%	25 4.7%	13 2.9%	29 6.1%	23 5.5%	7 2.4%	5 5.8%	1 2.7%	120 4.0%
要経過観察	10 1.5%	17 1.0%	6 1.3%	27 5.7%	23 5.5%	19 6.4%	5 5.8%	2 5.4%	109 3.7%
計	679	529	452	472	420	295	86	37	2,970

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,309 82.7%	899 77.4%	802 80.0%	774 74.1%	768 73.4%	524 74.9%	167 71.4%	75 75.8%	5,318 77.4%
ほぼ正常	155 9.8%	136 11.7%	103 231.0%	125 12.0%	115 11.0%	66 9.4%	28 12.0%	10 10.1%	738 10.7%
要経過観察	118 7.5%	126 10.9%	98 9.8%	146 14.0%	163 15.6%	110 15.7%	39 16.7%	14 14.1%	814 11.8%
計	1,582	1,161	1,003	1,045	1,046	700	234	99	6,870

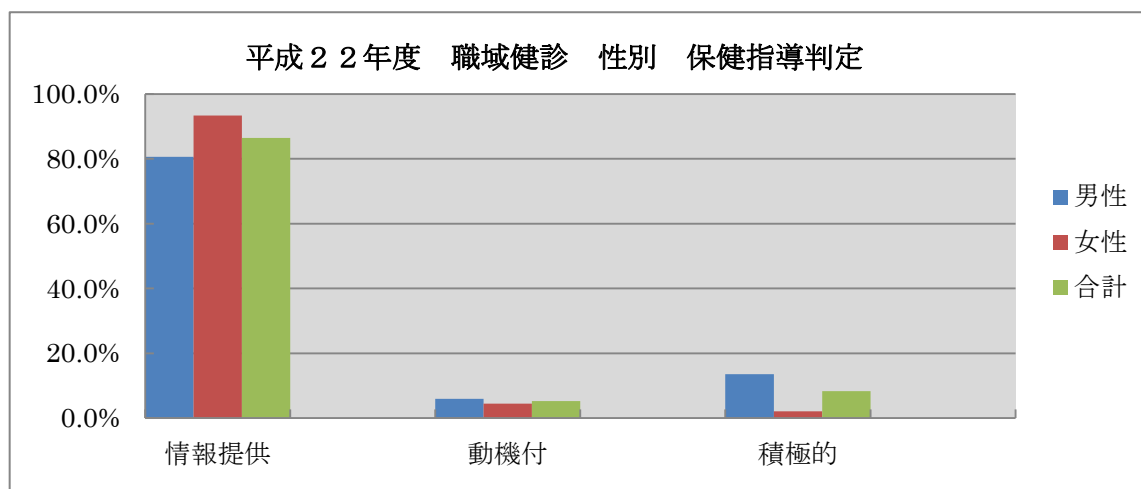
1. メタボリックシンドロームの該当率は、男女とも年齢とともに上昇していた。65歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑭ 保健指導

	情報提供	動機付	積極的
男性	80.6%	5.9%	13.5%
女性	93.4%	4.5%	2.1%
合計	86.5%	5.2%	8.3%

1. 保健指導の積極的指導率は、全体 8.3%、男性 13.5%、女性 2.1%と女性に比べて男性が6倍以上高かった。



男性

年齢	~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	合計
情報提供	1,923 88.3%	483 70.9%	395 69.8%	454 75.2%	515 78.0%	378 81.5%	137 81.1%	69 87.3%	4,354 80.6%
動機付	67 3.1%	54 7.9%	46 8.1%	33 5.5%	47 7.1%	27 5.8%	32 18.9%	10 12.7%	316 5.9%
積極的	188 8.6%	144 21.1%	125 22.1%	117 19.4%	98 14.8%	59 12.7%	0 0.0%	0 0.0%	731 13.5%
計	2,178	681	566	604	660	464	169	79	5,401

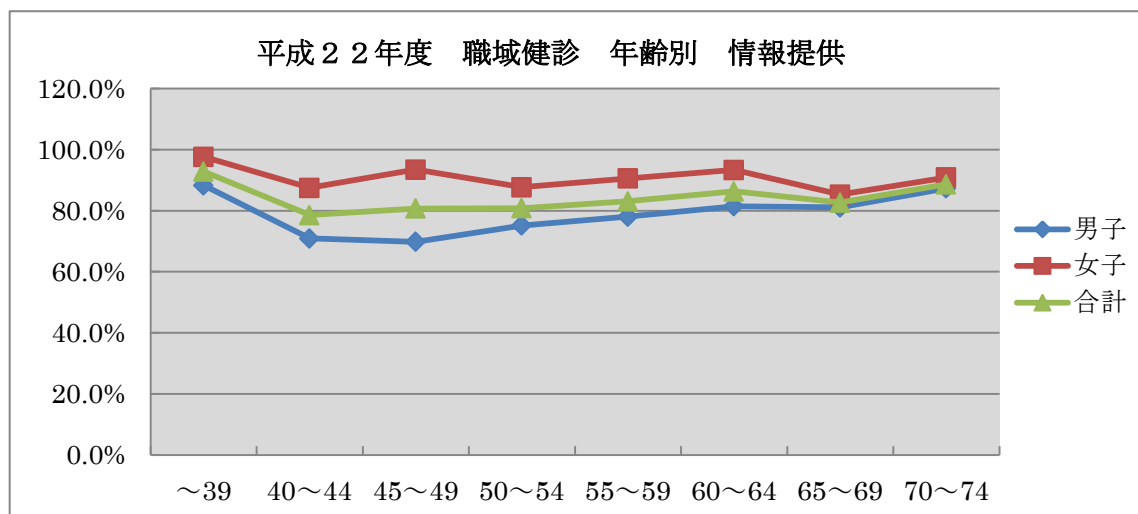
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
情報提供	1,989 97.6%	510 87.5%	455 93.4%	435 87.7%	403 90.6%	296 93.4%	87 85.3%	40 90.9%	4,215 93.4%
動機付	31 1.5%	48 8.2%	23 4.7%	42 8.5%	26 5.8%	13 4.1%	15 14.7%	4 9.1%	202 4.5%
積極的	17 0.8%	25 4.3%	9 1.8%	19 3.8%	16 3.6%	8 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	94 2.1%
計	2,037	583	487	496	445	317	102	44	4,511

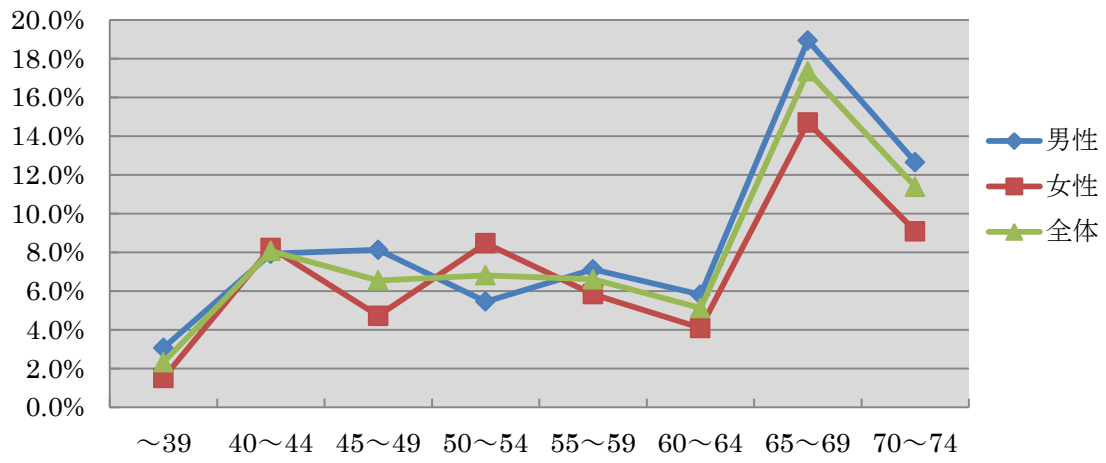
合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
情報提供	3,912 92.8%	993 78.6%	850 80.7%	889 80.8%	918 83.1%	674 86.3%	224 82.7%	109 88.6%	8,569 86.5%
動機付	98 2.3%	102 8.1%	69 6.6%	75 6.8%	73 6.6%	40 5.1%	47 17.3%	14 11.4%	518 5.2%
積極的	205 4.9%	169 13.4%	134 12.7%	136 12.4%	114 10.3%	67 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	825 8.3%
計	4,215	1,264	1,053	1,100	1,105	781	271	123	9,912

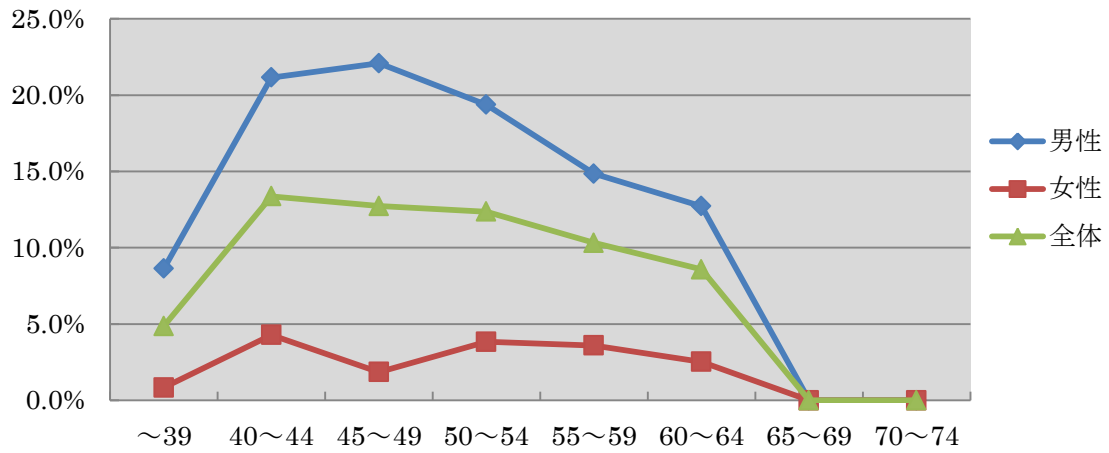
1. 情報提供と動機付支援は大きな男女差は認められなかった。しかし積極支援は、女性に比べて男性が 6倍以上高かった。
2. 年齢別にみると、情報提供と動機付支援は男女ともに大きな変化はないかった。積極的支援は男女とも 40-49 歳で最大となり以後低下していた。65 歳以上は実施人数が少なく参考データである。



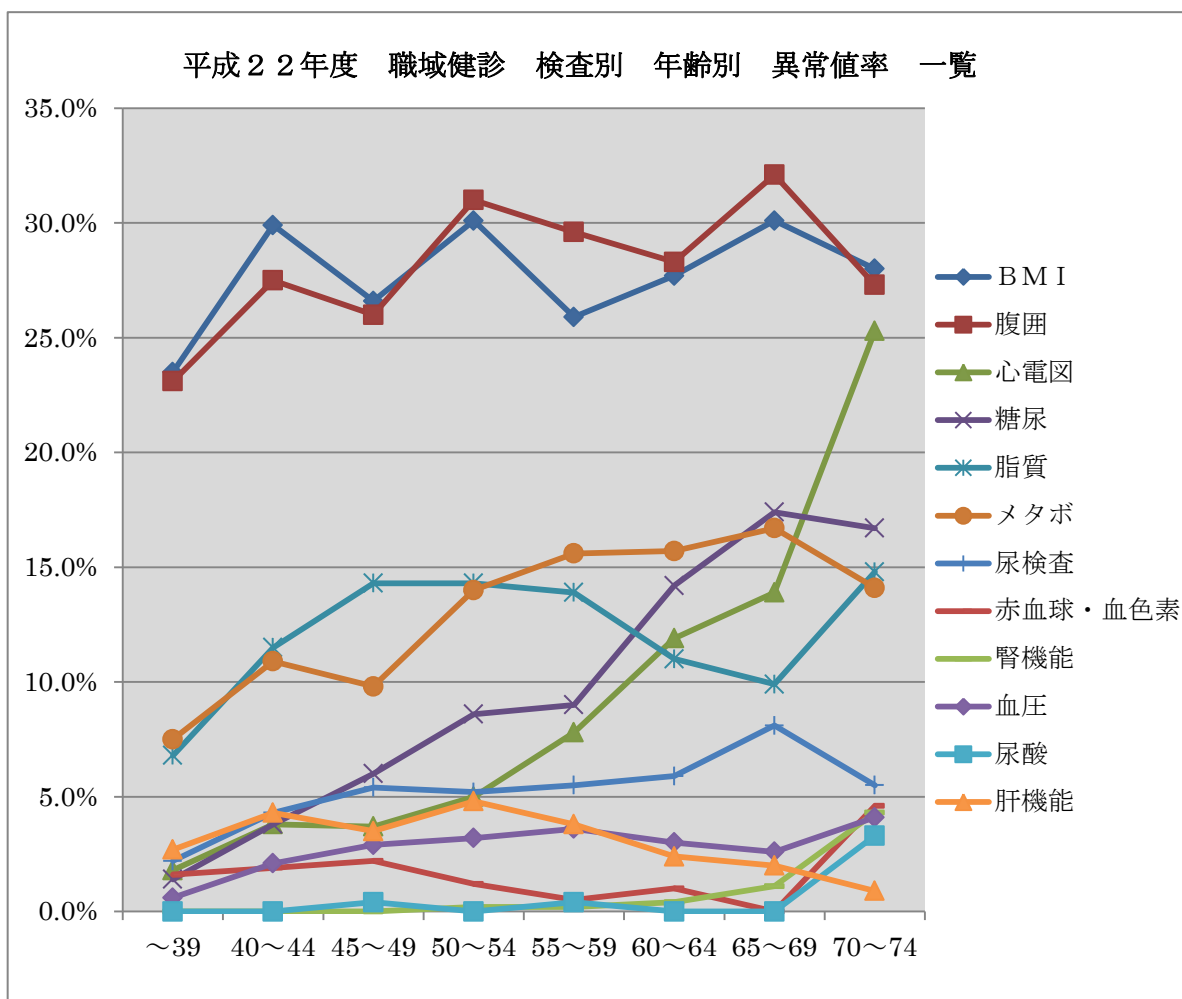
平成22年度 職域健診 年齢別 動機付支援



平成22年度 職域健診 年齢別 積極的支援



⑮ 職域健診 検査別 年齢別 異常値率・要精密検査率 一覧



1. 腹囲・BMI・メタボ判定・糖尿・尿検査は、65～69歳まで異常値率が上昇していた。
2. 血圧・脂質検査・肝機能検査は、50～59歳まで緩やかに上昇していた。
3. 赤血球数・血色素量は45～49歳をピークに下降していた。
4. 心電図検査は、年齢とともに上昇していた。
5. 腎機能検査・尿酸値は、異常値率が1%以下と低く、年齢による変化は少なかった。
6. 職域健診の性格上、60歳以上特に65歳以上の受診者が少なく、高齢者の結果は参考データであることに留意する必要がある。

V. 診断書発行健診

市立函館保健所より委託を受け、就職・進学・定期健康診断・雇入時健康診断を対象とした診断書発行健診を実施。

1. 受付方法： 予約不要 毎週木曜日 午後1時～4時まで受付

2. 診断内容：

- ・ 医師診察
- ・ 身体計測（身長、体重、視力、色覚、胸囲）
- ・ 腹囲計測
- ・ 血圧測定
- ・ 聴力検査
- ・ 胸部X線検査
- ・ 心電図検査
- ・ 尿一般検査（糖、蛋白、潜血、ウロビリノーゲン）
- ・ 貧血検査（赤血球数、白血球数、血色素量、ヘマトクリット値）
- ・ 肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GT）
- ・ 脂質検査（中性脂肪、HDL-Cコレステロール、LDL-Cコレステロール）
- ・ 血糖検査（空腹時）

※ 検査の内容は、就職・進学・定期健康診断など目的により内容が異なります。

3. 実績：

年度	上期		下期		全期	
	日数	件数	日数	件数	日数	件数
13年度	5	5	28	131	33	136
14年度	26	711	25	814	51	1,525
15年度	26	581	25	789	51	1,370
16年度	25	614	24	657	49	1,271
17年度	25	572	25	684	50	1,256
18年度	26	556	25	652	51	1,208
19年度	25	541	24	579	49	1,120
20年度	26	540	25	662	51	1,202
21年度	26	527	25	688	51	1,215
22年度	25	583	24	725	49	1,308

あとがき

この度、函館市医師会健診検査センター『平成22年度健康診断事業報告書』をお届けする運びとなりました。

皆様、ご存知のように函館市医師会は、平成23年4月より公益社団法人として運営されております。また、その数年前より国の一大プロジェクトの一つとして「特定健診」がスタートいたしました。函館市をはじめとする道南エリアの健診業務を幅広く展開している当センターとしては、これを機に、平成22年度の各健診データをまとめて、少しでも会員のためになる資料集の作成をとの思いからこの資料集が作成されました。

データだけの羅列ではなく、できるだけ、データの評価とコメントを併記して傾向が解りやすいようなスタイルにしてみました。

この場を借りて、莫大なデータをまとめて頂いた、健診検査センターのスタッフと、評価、コメントを付してくださいました、医師会健診検査運営委員学術部長 久保田先生にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。次年度もよろしく願いいたします・・・。

また、このような、事業報告書を作成、御供覧できるのも、ひとえに、沢山の先生方に御利用していただいたお陰であります。その事を肝に銘じ、今後も当健診検査センタースタッフ一同努力していく所存でありますので、どうぞ、お気軽にご要望をお申し付けくださり、ご指導、ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

最後になりますが、この『健康診断事業報告書』が皆様にとって少しでもお役立ちになり、「n」が増える事を願ってあとがきとさせていただきます。

平成24年3月

公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター
広報部長 平山繁樹

平成 2 2 年度 函館市医師会健診検査センター
健康診断事業報告書

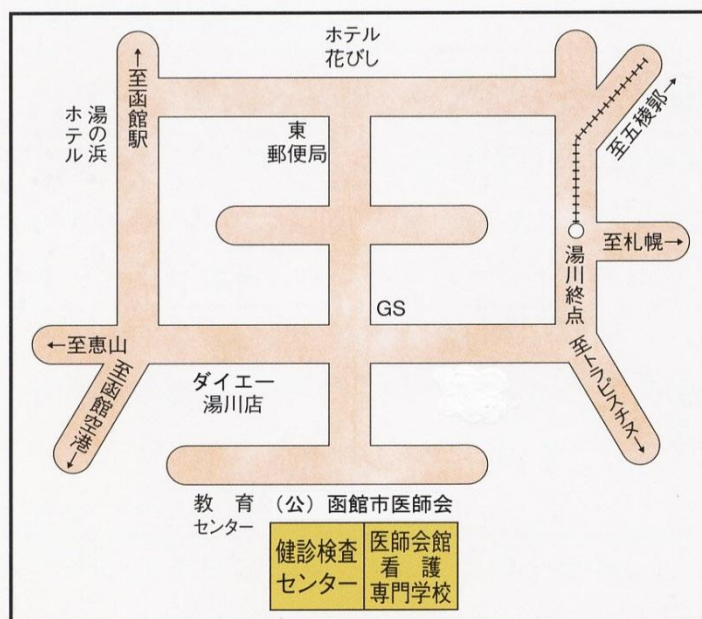
非売品

発行日 : 平成 2 4 年 3 月 1 5 日

発行者 : 公益社団法人函館市医師会
函館市医師会健診検査センター
〒042-0932 函館市湯川町 3 丁目 38 番 41 号
TEL 0138-57-6571 FAX 0138-57-6580

HP:<http://www5.ncv.ne.jp/~nanpo/index.html>

E-mail:hako-ken@sea.ncv.ne.jp



公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター

〒042-0932 函館市湯川町3丁目38番41号

TEL 0138-57-6571 FAX 0138-57-6580

HP : <http://www5.ncv.ne.jp/~nanpo/index.html>

E-mail : hako-ken@sea.ncv.ne.jp